

芦屋町の地域福祉に関する住民意識調査 集計結果報告書

令和5年7月
芦屋町

目 次

I 調査の概要.....	1
1 調査の目的.....	3
2 調査の対象と実施方法.....	3
3 報告書の見方.....	3
II 調査の結果.....	5
1 あなたのことについて.....	7
(1) 性別.....	7
(2) 年齢階級.....	8
(3) 在住の小学校区.....	9
(4) 職業.....	10
(5) 家族構成.....	11
(6) 在住歴.....	12
(7) 自治会への加入の有無.....	13
2 「福祉」について.....	14
(1) 福祉への関心.....	14
(2) 福祉のあり方はどのようにあるべきか.....	15
(3) 住民が福祉について理解を深めるためには、どのような機会が必要か.....	16
(4) 住民同士の助け合いや支え合いについてどう思うか.....	18
3 地域での生活について.....	19
(1) 会話や世間話をする頻度.....	19
(2) 近所づきあいの程度.....	20
(3) 近所づきあいが少ない(少ない)理由.....	22
(4) 地域での人と人との関わりに対する考え.....	23
(5) 地域の人にしてもらいたい支援.....	25
(6) 地域の人に対してできる支援.....	26
4 地域活動や福祉に関するボランティアについて.....	27
(1) 地域活動やボランティア活動への参加の有無.....	27
(2) 地域活動やボランティア活動の内容.....	28
(3) 地域活動やボランティア活動をしていない理由.....	29
(4) 地域活動やボランティア活動への参加意向.....	31
(5) 地域における支え合い、助け合い活動の活発化のために重要だと思うこと.....	32
5 福祉サービスについて.....	34
(1) 福祉サービス情報の入手先.....	34
6 地域福祉に関わる機関や団体について.....	36
(1) 芦屋町社会福祉協議会の活動の認知.....	36
(2) 民生委員・児童委員の活動の認知.....	37
(3) 居住地域の担当民生委員・児童委員の認知.....	38

7	災害時の避難について.....	39
	(1) 災害などの緊急事態発生時に適切に避難ができるか.....	39
	(2) 災害発生時に困ること.....	40
	(3) 災害発生時の備えとしてどのようなことが重要だと思うか.....	42
	(4) 居住地区の避難場所の認知.....	44
	(5) ハザードマップを確認しているか.....	45
8	生活困窮者の自立支援について.....	46
	(1) 自立相談支援事務所の行う生活困窮者への支援の認知.....	46
	(2) 生活状況が急変した場合の相談先.....	47
9	自殺対策について.....	49
	(1) 自殺対策は自分自身に関わることだと思うか.....	49
	(2) 自殺願望またはそれに近いことを考えた経験の有無.....	50
	(3) 自殺願望またはそれに近いことを考えた時期.....	51
	(4) 自殺願望またはそれに近いことを考えた原因.....	52
	(5) 自殺願望またはそれに近いことを考えた時の相談相手.....	54
	(6) 自殺願望またはそれに近いことを思いとどまった理由.....	56
10	再犯防止について.....	58
	(1) 過去に罪を犯した人の立ち直り支援についてどう思うか.....	58
	(2) 再犯防止を進めるためにできる支援.....	59
11	成年後見制度について.....	61
	(1) 成年後見制度の認知.....	61
	(2) 成年後見制度を利用したいか.....	62
	(3) 成年後見制度の利用促進のために効果的と思われる取り組み.....	63
12	これからの福祉のあり方について.....	65
	(1) 地域福祉推進のために重要なこと（現在の満足度・今後の重要度）.....	65
	(2) 地域福祉推進のためにどのようなことに力を入れるべきか.....	67
	(3) 「芦屋町らしさ」や「芦屋町らしい福祉サービス」について（自由記入）.....	69
	(4) 個人情報を提供してサービスを受けることに対する考え.....	70
	(5) 芦屋町に対する意見・要望（自由記入）.....	72
III	参考資料（調査票）.....	73

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、地域福祉の推進を目指して「芦屋町地域福祉計画」を令和5年度に策定するにあたり、町民の皆様が芦屋町の地域福祉についてどのように感じていらっしゃるか、また、今後どのような取組を希望されているかなどのご意見をおうかがいし、計画づくりの基礎資料とすることを目的に実施しました。

2 調査の対象と実施方法

- 調査地域：芦屋町全域
- 調査対象者：町内にお住まいの18歳以上の方（2,000人）
- 抽出方法：令和5年1月1日時点の住民基本台帳より無作為に抽出
- 調査時期：令和5年2月1日～2月28日
- 調査方法：郵送による調査票の配布・回収

調査票	調査対象者数 (配布数)	有効回答数	有効回答率
町内にお住まいの 18歳以上の方	2,000件	701件	35.1%

3 報告書の見方

- 調査結果の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表現しています。
- 図表中の「n」は、「Number of case」の略で、その設問に回答すべき対象者数を示しています。一部の人に回答を求めている設問などがあるため、nの値は設問によって異なります。
- 百分率による集計では、回答者数（該当質問においては該当者数）を100%として算出しています。本文及び図中の数字に関しては、全て小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記します。このため、全ての割合の合計が100%にならないことがあります。また、複数回答の設問では、全ての割合の合計が100%を超えることがあります。
- 図表中の「0.0」は四捨五入の結果又は回答者が皆無であることを表します。また、一部図表においては「0.0」の表記を省略しているものがあります。
- 属性別のクロス集計において、回答者数「n」が10未満の場合は、原則としてコメントしていません。

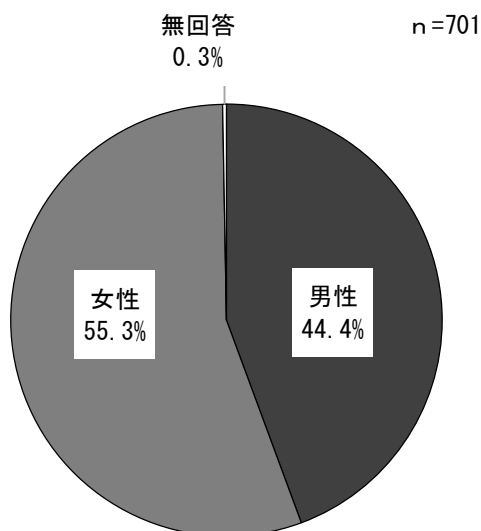
II 調査の結果

1 あなたのことについて

(1) 性別

F1 性別を教えてください。(いずれか1つに○)

回答者の性別については、「男性」が44.4%、「女性」が55.3%となっています。



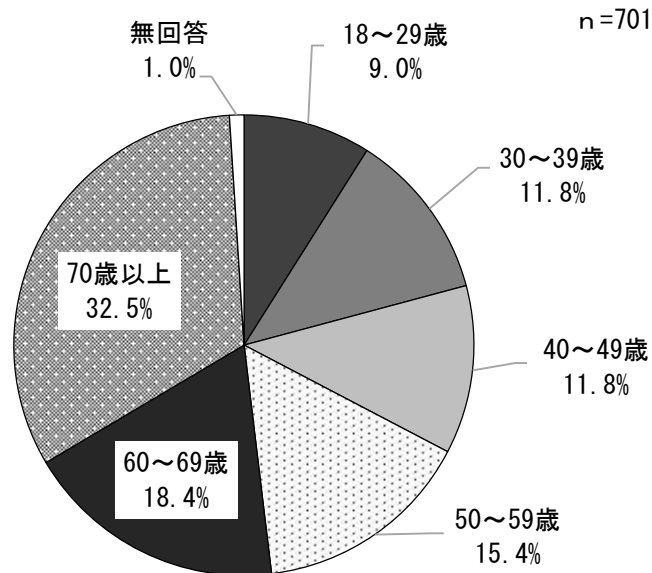
【性別（年齢階級別／在住の小学校区別）】

上段：人 下段：%		全体	男性	女性	無回答
全体		701 100.0%	311 44.4%	388 55.3%	2 0.3%
年齢階級	18～29歳	63 100.0%	29 46.0%	34 54.0%	0 0.0%
	30～39歳	83 100.0%	37 44.6%	46 55.4%	0 0.0%
	40～49歳	83 100.0%	30 36.1%	53 63.9%	0 0.0%
	50～59歳	108 100.0%	43 39.8%	65 60.2%	0 0.0%
	60～69歳	129 100.0%	67 51.9%	62 48.1%	0 0.0%
	70歳以上	228 100.0%	104 45.6%	124 54.4%	0 0.0%
	在住の小学校区	芦屋小学校区	192 100.0%	84 43.8%	108 56.3%
芦屋東小学校区		176 100.0%	78 44.3%	98 55.7%	0 0.0%
山鹿小学校区		303 100.0%	140 46.2%	163 53.8%	0 0.0%

(2) 年齢階級

F2 年齢を教えてください。(いずれか1つに○)

回答者の年齢については、「70歳以上」が32.5%と最も高く、次いで「60～69歳」が18.4%、「50～59歳」が15.4%、「40～49歳」が11.8%、「30～39歳」が11.8%、「18～29歳」が9.0%となっています。



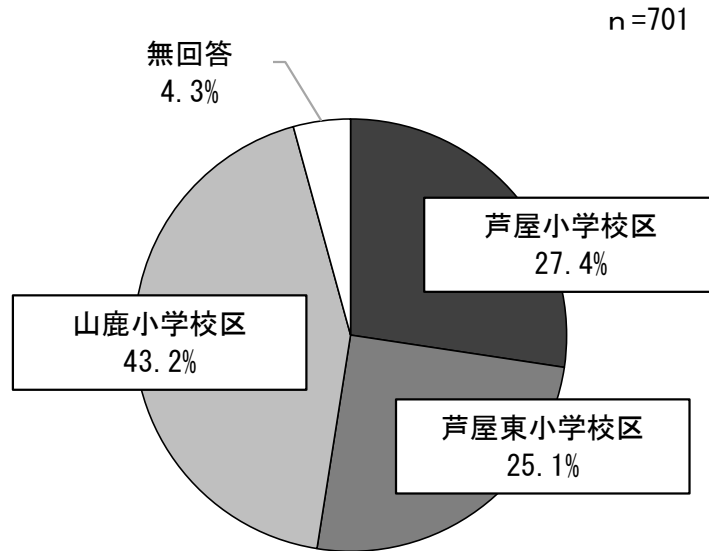
【年齢階級（性別／在住の小学校区別）】

上段：人 下段：%		全体	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答
全体		701 100.0%	63 9.0%	83 11.8%	83 11.8%	108 15.4%	129 18.4%	228 32.5%	7 1.0%
性別	男性	311 100.0%	29 9.3%	37 11.9%	30 9.6%	43 13.8%	67 21.5%	104 33.4%	1 0.3%
	女性	388 100.0%	34 8.8%	46 11.9%	53 13.7%	65 16.8%	62 16.0%	124 32.0%	4 1.0%
在住の小学校区	芦屋小学校区	192 100.0%	17 8.9%	25 13.0%	33 17.2%	28 14.6%	36 18.8%	53 27.6%	0 0.0%
	芦屋東小学校区	176 100.0%	11 6.3%	31 17.6%	25 14.2%	17 9.7%	26 14.8%	66 37.5%	0 0.0%
	山鹿小学校区	303 100.0%	35 11.6%	26 8.6%	23 7.6%	61 20.1%	56 18.5%	98 32.3%	4 1.3%

(3) 在住の小学校区

F3 住んでいる小学校区を教えてください。(いずれか1つに○)

回答者の住んでいる小学校区については、「山鹿小学校区」が43.2%と最も高く、次いで「芦屋小学校区」が27.4%、「芦屋東小学校区」が25.1%となっています。



【在住の小学校区（性別／年齢階級別）】

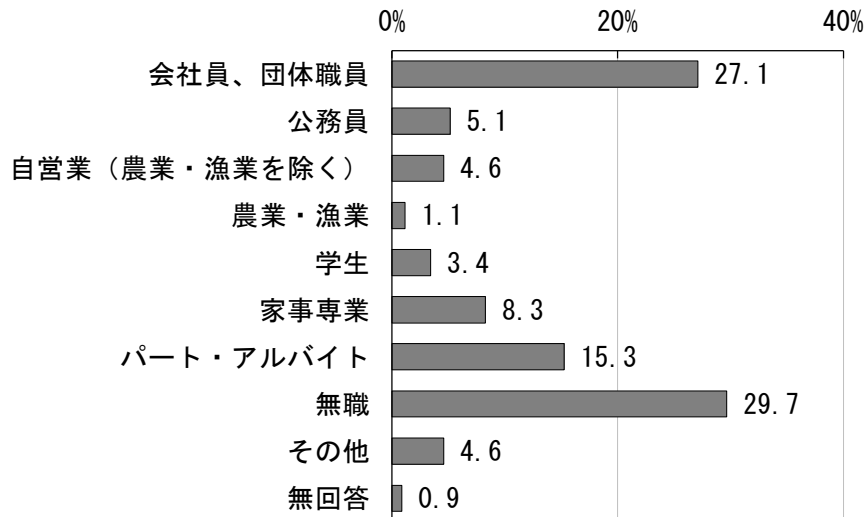
上段：人 下段：%		全体	芦屋小学 校区	芦屋東小 小学校区	山鹿小学 校区	無回答
全体		701 100.0%	192 27.4%	176 25.1%	303 43.2%	30 4.3%
性別	男性	311 100.0%	84 27.0%	78 25.1%	140 45.0%	9 2.9%
	女性	388 100.0%	108 27.8%	98 25.3%	163 42.0%	19 4.9%
年齢階級	18～29歳	63 100.0%	17 27.0%	11 17.5%	35 55.6%	0 0.0%
	30～39歳	83 100.0%	25 30.1%	31 37.3%	26 31.3%	1 1.2%
	40～49歳	83 100.0%	33 39.8%	25 30.1%	23 27.7%	2 2.4%
	50～59歳	108 100.0%	28 25.9%	17 15.7%	61 56.5%	2 1.9%
	60～69歳	129 100.0%	36 27.9%	26 20.2%	56 43.4%	11 8.5%
	70歳以上	228 100.0%	53 23.2%	66 28.9%	98 43.0%	11 4.8%

(4) 職業

F4 職業を教えてください。(いずれか1つに○)

回答者の職業については、「無職」が29.7%と最も高く、次いで「会社員、団体職員」が27.1%、「パート・アルバイト」が15.3%となっています。

n=701



○その他

派遣社員/フリーランス/主婦/就労支援施設 など

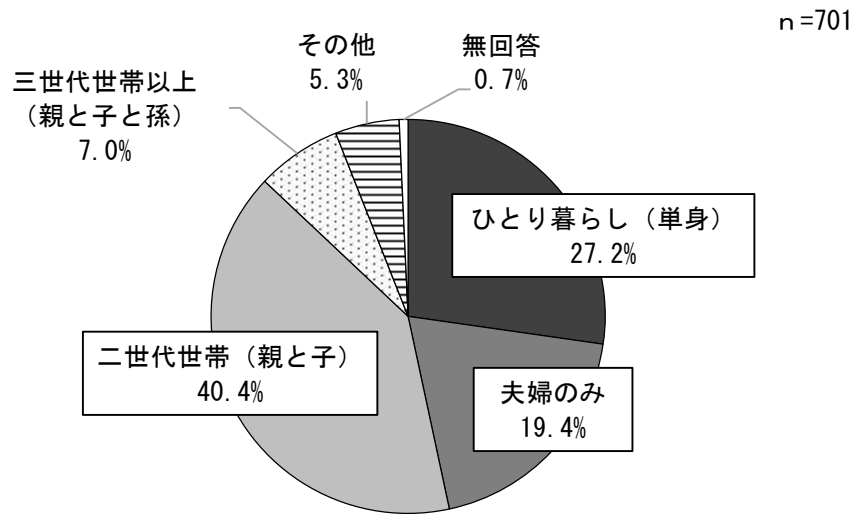
【職業 (性別/年齢階級別/在住の小学校区別)】

上段：人 下段：%		全体	会社員、 団体職員	公務員	自営業 (農業・ 漁業を除く)	農業・漁 業	学生	家事専業	パート・ アルバイト	無職	その他	無回答
全体		701	190	36	32	8	24	58	107	208	32	6
		100.0%	27.1%	5.1%	4.6%	1.1%	3.4%	8.3%	15.3%	29.7%	4.6%	0.9%
性別	男性	311	101	23	21	4	10	1	30	108	13	0
		100.0%	32.5%	7.4%	6.8%	1.3%	3.2%	0.3%	9.6%	34.7%	4.2%	0.0%
性別	女性	388	89	13	11	4	14	57	77	100	19	4
		100.0%	22.9%	3.4%	2.8%	1.0%	3.6%	14.7%	19.8%	25.8%	4.9%	1.0%
年齢階級	18~29歳	63	23	5	0	0	20	0	9	3	3	0
		100.0%	36.5%	7.9%	0.0%	0.0%	31.7%	0.0%	14.3%	4.8%	4.8%	0.0%
	30~39歳	83	44	11	1	1	0	5	13	7	1	0
		100.0%	53.0%	13.3%	1.2%	1.2%	0.0%	6.0%	15.7%	8.4%	1.2%	0.0%
	40~49歳	83	36	6	5	2	0	3	15	13	3	0
		100.0%	43.4%	7.2%	6.0%	2.4%	0.0%	3.6%	18.1%	15.7%	3.6%	0.0%
	50~59歳	108	47	10	2	2	0	14	14	12	7	0
	100.0%	43.5%	9.3%	1.9%	1.9%	0.0%	13.0%	13.0%	11.1%	6.5%	0.0%	
60~69歳	129	33	4	14	1	0	14	27	30	5	1	
	100.0%	25.6%	3.1%	10.9%	0.8%	0.0%	10.9%	20.9%	23.3%	3.9%	0.8%	
70歳以上	228	7	0	10	2	0	22	29	143	13	2	
	100.0%	3.1%	0.0%	4.4%	0.9%	0.0%	9.6%	12.7%	62.7%	5.7%	0.9%	
在住の小学校区	芦屋小学校区	192	52	11	7	1	7	12	34	57	11	0
		100.0%	27.1%	5.7%	3.6%	0.5%	3.6%	6.3%	17.7%	29.7%	5.7%	0.0%
	芦屋東小学校区	176	42	10	10	3	1	20	29	53	7	1
		100.0%	23.9%	5.7%	5.7%	1.7%	0.6%	11.4%	16.5%	30.1%	4.0%	0.6%
山鹿小学校区	303	90	15	13	4	16	23	41	87	13	1	
	100.0%	29.7%	5.0%	4.3%	1.3%	5.3%	7.6%	13.5%	28.7%	4.3%	0.3%	

(5) 家族構成

F5 家族構成を教えてください。(いずれか1つに○)

回答者の家族構成については、「二世世代世帯（親と子）」が40.4%と最も高く、次いで「ひとり暮らし（単身）」が27.2%、「夫婦のみ」が19.4%となっています。



○その他

きょうだいと二人／老人ホーム／両親、弟 など

【家族構成（性別／年齢階級別／在住の小学校区別）】

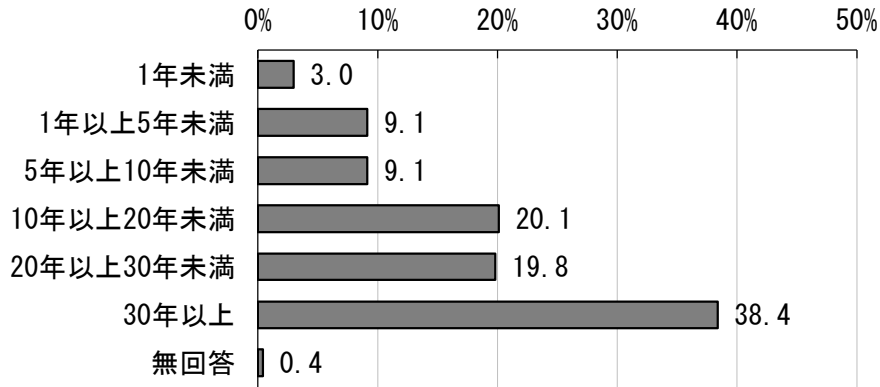
上段：人 下段：%		全体	ひとり暮らし（単身）	夫婦のみ	二世世代世帯（親と子）	三世代世帯以上（親と子と孫）	その他	無回答
全体		701 100.0%	191 27.2%	136 19.4%	283 40.4%	49 7.0%	37 5.3%	5 0.7%
性別	男性	311 100.0%	92 29.6%	77 24.8%	116 37.3%	12 3.9%	14 4.5%	0 0.0%
	女性	388 100.0%	99 25.5%	59 15.2%	167 43.0%	37 9.5%	23 5.9%	3 0.8%
年齢階級	18～29歳	63 100.0%	1 1.6%	0 0.0%	44 69.8%	14 22.2%	4 6.3%	0 0.0%
	30～39歳	83 100.0%	9 10.8%	3 3.6%	63 75.9%	7 8.4%	1 1.2%	0 0.0%
	40～49歳	83 100.0%	5 6.0%	2 2.4%	64 77.1%	9 10.8%	3 3.6%	0 0.0%
	50～59歳	108 100.0%	19 17.6%	25 23.1%	54 50.0%	4 3.7%	6 5.6%	0 0.0%
	60～69歳	129 100.0%	55 42.6%	42 32.6%	18 14.0%	6 4.7%	8 6.2%	0 0.0%
	70歳以上	228 100.0%	102 44.7%	64 28.1%	37 16.2%	9 3.9%	14 6.1%	2 0.9%
在住の小学校区	芦屋小学校区	192 100.0%	60 31.3%	29 15.1%	79 41.1%	12 6.3%	12 6.3%	0 0.0%
	芦屋東小学校区	176 100.0%	55 31.3%	27 15.3%	72 40.9%	14 8.0%	7 4.0%	1 0.6%
	山鹿小学校区	303 100.0%	65 21.5%	73 24.1%	127 41.9%	23 7.6%	14 4.6%	1 0.3%

(6) 在住歴

F6 あなたは、芦屋町に住んでどれくらいになりますか。(いずれか1つに○)

回答者の芦屋町の在住歴については、「30年以上」が38.4%と最も高く、次いで「10年以上20年未満」が20.1%、「20年以上30年未満」が19.8%、「5年以上10年未満」と「1年以上5年未満」が同率で9.1%、「1年未満」が3.0%となっています。

n=701



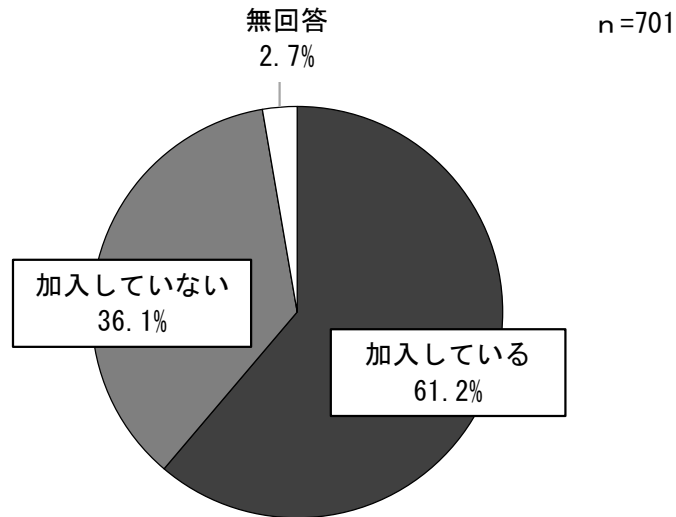
【在住歴（性別／年齢階級別／在住の小学校区別）】

上段：人 下段：%		全体	1年未満	1年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上20年未満	20年以上30年未満	30年以上	無回答
全体		701 100.0%	21 3.0%	64 9.1%	64 9.1%	141 20.1%	139 19.8%	269 38.4%	3 0.4%
性別	男性	311 100.0%	11 3.5%	28 9.0%	32 10.3%	60 19.3%	73 23.5%	107 34.4%	0 0.0%
	女性	388 100.0%	10 2.6%	36 9.3%	32 8.2%	81 20.9%	66 17.0%	162 41.8%	1 0.3%
年齢階級	18～29歳	63 100.0%	1 1.6%	0 0.0%	2 3.2%	24 38.1%	36 57.1%	0 0.0%	0 0.0%
	30～39歳	83 100.0%	6 7.2%	25 30.1%	15 18.1%	6 7.2%	2 2.4%	29 34.9%	0 0.0%
	40～49歳	83 100.0%	1 1.2%	1 1.2%	4 4.8%	3 3.6%	13 15.7%	61 73.5%	0 0.0%
	50～59歳	108 100.0%	4 3.7%	5 4.6%	3 2.8%	19 17.6%	30 27.8%	47 43.5%	0 0.0%
	60～69歳	129 100.0%	5 3.9%	21 16.3%	25 19.4%	34 26.4%	4 3.1%	40 31.0%	0 0.0%
	70歳以上	228 100.0%	4 1.8%	12 5.3%	15 6.6%	51 22.4%	54 23.7%	92 40.4%	0 0.0%
在住の小学校区	芦屋小学校区	192 100.0%	5 2.6%	14 7.3%	17 8.9%	37 19.3%	35 18.2%	84 43.8%	0 0.0%
	芦屋東小学校区	176 100.0%	7 4.0%	14 8.0%	22 12.5%	25 14.2%	26 14.8%	82 46.6%	0 0.0%
	山鹿小学校区	303 100.0%	7 2.3%	30 9.9%	24 7.9%	75 24.8%	72 23.8%	95 31.4%	0 0.0%

(7) 自治会への加入の有無

F7 あなたは、自治区に加入していますか。(いずれか1つに○)

回答者の自治区への加入の有無については「加入している」が61.2%、「加入していない」が36.1%となっています。



【自治会への加入の有無（性別／年齢階級別／在住の小学校区別）】

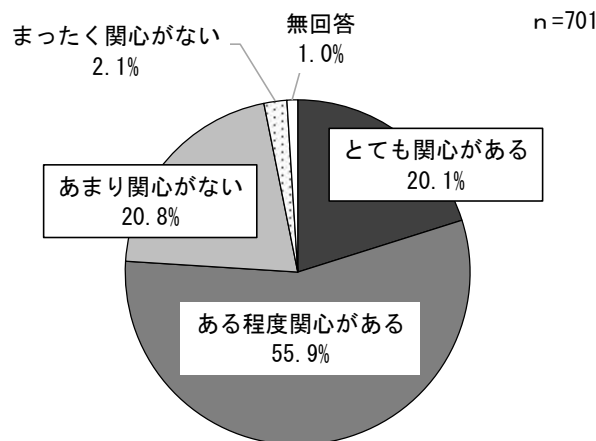
上段：人 下段：%		全体	加入して いる	加入して いない	無回答
全体		701 100.0%	429 61.2%	253 36.1%	19 2.7%
性別	男性	311 100.0%	181 58.2%	122 39.2%	8 2.6%
	女性	388 100.0%	248 63.9%	131 33.8%	9 2.3%
年齢階級	18～29歳	63 100.0%	35 55.6%	26 41.3%	2 3.2%
	30～39歳	83 100.0%	56 67.5%	25 30.1%	2 2.4%
	40～49歳	83 100.0%	49 59.0%	31 37.3%	3 3.6%
	50～59歳	108 100.0%	79 73.1%	28 25.9%	1 0.9%
	60～69歳	129 100.0%	73 56.6%	53 41.1%	3 2.3%
	70歳以上	228 100.0%	133 58.3%	90 39.5%	5 2.2%
在住の小学校区	芦屋小学校区	192 100.0%	121 63.0%	69 35.9%	2 1.0%
	芦屋東小学校区	176 100.0%	106 60.2%	67 38.1%	3 1.7%
	山鹿小学校区	303 100.0%	191 63.0%	104 34.3%	8 2.6%

2 「福祉」について

(1) 福祉への関心

問1 あなたは、「福祉」に関心をお持ちですか。(いずれか1つに○)

福祉への関心については、「ある程度関心がある」が55.9%と最も高く、次いで「あまり関心がない」が20.8%、「とても関心がある」が20.1%、「まったく関心がない」が2.1%となっています。



【福祉への関心（性別／年齢階級別／在住の小学校区別）】

性別にみると、男性は「あまり関心がない」の割合が25.1%で女性（17.5%）より7.6ポイント高くなっています。

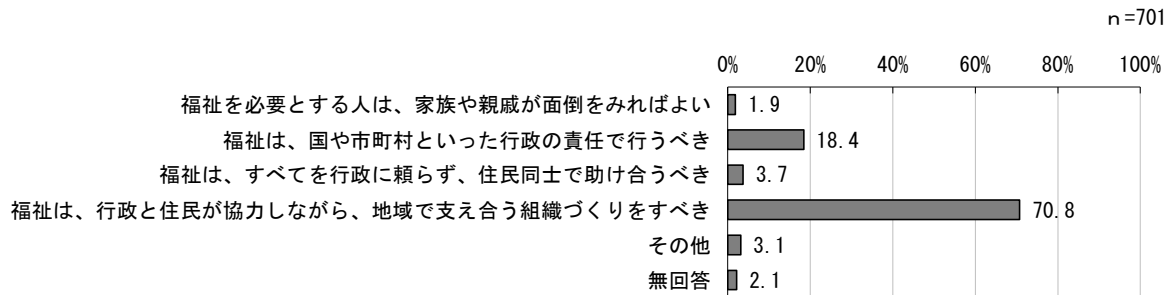
年齢階級別にみると、50～59歳までは年齢が上がるにつれて「ある程度関心がある」の割合も上がる傾向がみられますが、60～69歳で一度53.5%に下がり、その後70歳以上では61.4%に上がっています。

上段：人 下段：%		全体	とても関心がある	ある程度関心がある	あまり関心がない	まったく関心がない	無回答
全体		701 100.0%	141 20.1%	392 55.9%	146 20.8%	15 2.1%	7 1.0%
性別	男性	311 100.0%	59 19.0%	163 52.4%	78 25.1%	10 3.2%	1 0.3%
	女性	388 100.0%	82 21.1%	229 59.0%	68 17.5%	5 1.3%	4 1.0%
年齢階級	18～29歳	63 100.0%	10 15.9%	26 41.3%	22 34.9%	5 7.9%	0 0.0%
	30～39歳	83 100.0%	10 12.0%	37 44.6%	30 36.1%	5 6.0%	1 1.2%
	40～49歳	83 100.0%	9 10.8%	50 60.2%	22 26.5%	1 1.2%	1 1.2%
	50～59歳	108 100.0%	25 23.1%	65 60.2%	16 14.8%	1 0.9%	1 0.9%
	60～69歳	129 100.0%	33 25.6%	69 53.5%	26 20.2%	1 0.8%	0 0.0%
	70歳以上	228 100.0%	54 23.7%	140 61.4%	30 13.2%	2 0.9%	2 0.9%
在住の小学校区	芦屋小学校区	192 100.0%	42 21.9%	103 53.6%	42 21.9%	4 2.1%	1 0.5%
	芦屋東小学校区	176 100.0%	37 21.0%	103 58.5%	33 18.8%	3 1.7%	0 0.0%
	山鹿小学校区	303 100.0%	54 17.8%	175 57.8%	65 21.5%	7 2.3%	2 0.7%

(2) 福祉のあり方はどのようにあるべきか

問2 「福祉」のあり方は、どのようであるべきだと思いますか。(いずれか1つに○)

「福祉」のあり方はどのようにあるべきかについては、「福祉は、行政と住民が協力しながら地域で支え合う組織づくりをすべき」が70.8%と最も高く、次いで「福祉は、国や市町村といった行政の責任で行うべき」が18.4%、「福祉は、すべてを行政に頼らず、住民同士で助け合うべき」が3.7%、「福祉を必要とする人は、家族や親戚が面倒をみればよい」が1.9%となっています。



○その他

- ・支援を必要とする人の求める公的サービスを、可能な範囲で国や市町村が提供し、内容に応じて組合、法人、ボランティアと円滑に協力できるようにすべき。
- ・ケースバイケース。家族いなければ、行政に頼らざるを得ない。
- ・やりたい人がやればよい など

【「福祉」のあり方は、どのようにあるべきか（性別／年齢階級別／在住の小学校区別）】

性別にみると、女性は「福祉は、行政と住民が協力しながら地域で支え合う組織づくりをすべき」の割合が75.5%で男性（65.3%）より10.2ポイント高くなっています。

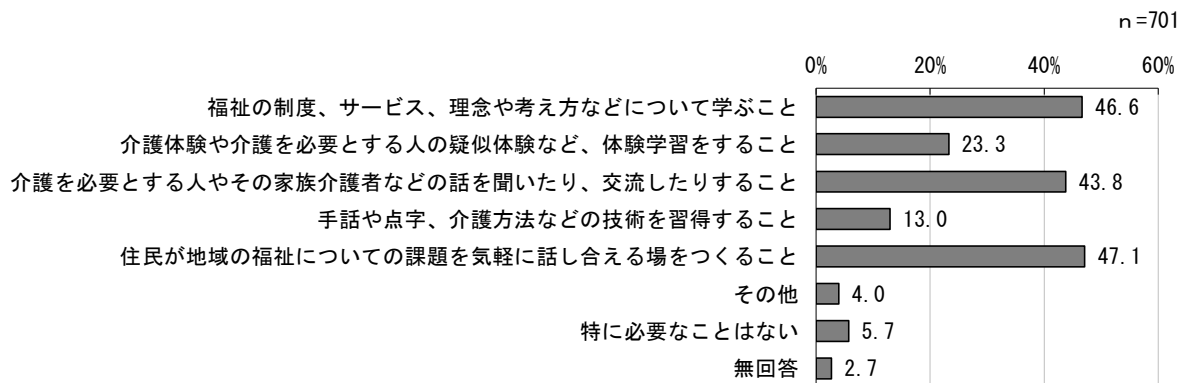
年齢階級別にみると、「福祉を必要とする人は、家族や親戚が面倒をみればよい」の割合は30～39歳が4.8%で最も高くなっています。

	全体	福祉のあり方					
		福祉を必要とする人は、家族や親戚が面倒をみればよい	福祉は、国や市町村といった行政の責任で行うべき	福祉は、すべてを行政に頼らず、住民同士で助け合うべき	福祉は、行政と住民が協力しながら、地域で支え合う組織づくりをすべき	その他	無回答
上段：人 下段：%	701	13	129	26	496	22	15
	100.0%	1.9%	18.4%	3.7%	70.8%	3.1%	2.1%
性別	男性	5	74	12	203	15	2
	100.0%	1.6%	23.8%	3.9%	65.3%	4.8%	0.6%
性別	女性	8	55	14	293	7	11
	100.0%	2.1%	14.2%	3.6%	75.5%	1.8%	2.8%
年齢階級	18～29歳	2	13	6	39	3	0
	100.0%	3.2%	20.6%	9.5%	61.9%	4.8%	0.0%
	30～39歳	4	13	3	60	1	2
	100.0%	4.8%	15.7%	3.6%	72.3%	1.2%	2.4%
	40～49歳	2	13	2	57	9	0
	100.0%	2.4%	15.7%	2.4%	68.7%	10.8%	0.0%
	50～59歳	2	19	1	85	0	1
100.0%	1.9%	17.6%	0.9%	78.7%	0.0%	0.9%	
年齢階級	60～69歳	1	31	5	84	5	3
	100.0%	0.8%	24.0%	3.9%	65.1%	3.9%	2.3%
	70歳以上	2	39	9	167	4	7
100.0%	0.9%	17.1%	3.9%	73.2%	1.8%	3.1%	
在住の小学校区	芦屋小学校区	1	36	8	137	8	2
	100.0%	0.5%	18.8%	4.2%	71.4%	4.2%	1.0%
	芦屋東小学校区	9	30	5	122	7	3
100.0%	5.1%	17.0%	2.8%	69.3%	4.0%	1.7%	
在住の小学校区	山鹿小学校区	3	58	12	218	7	5
	100.0%	1.0%	19.1%	4.0%	71.9%	2.3%	1.7%

(3) 住民が福祉について理解を深めるためには、どのような機会が必要か

問3 あなたは、住民が福祉について理解を深めるためには、どのような機会が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

住民が福祉について理解を深めるためには、どのような機会が必要かについては、「住民が地域の福祉についての課題を気軽に話し合える場をつくること」が47.1%と最も高く、次いで「福祉の制度、サービス、理念や考え方などについて学ぶこと」が46.6%、「介護を必要とする人やその家族介護者などの話を聞いたり、交流したりすること」が43.8%となっています。



○その他

- ・住民が福祉について、国、市町村と話し合える場を作る。
- ・疾患・障害・様々なマイノリティへの理解が深まること。
- ・介護や福祉を必要とする人が、相談しやすい窓口と、親切な説明
- ・SNSを活用し比較的若い層にも理解しやすい方法をとること
- ・子供の教育
- ・わからない など

【住民が福祉について理解を深めるためには、どのような機会が必要か（性別／年齢階級別／在住の小学校区別）】

性別にみると、女性は「介護を必要とする人やその家族介護者などの話を聞いたり、交流したりすること」の割合が48.2%で男性（38.6%）より9.6ポイント高くなっています。

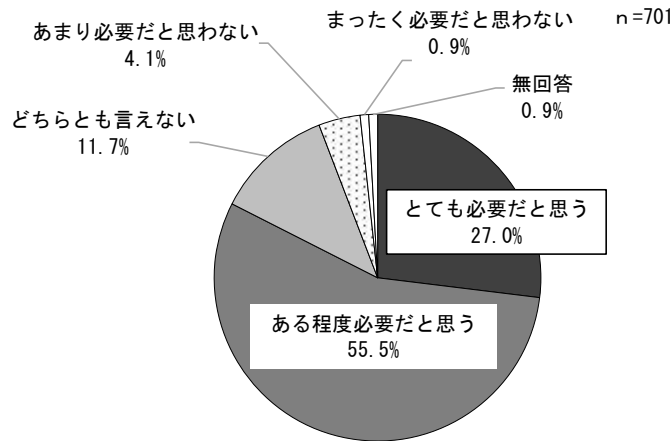
年齢階級別にみると、「住民が地域の福祉についての課題を気軽に話し合える場をつくること」の割合は70歳以上が50.0%で最も高くなっています。

上段：人 下段：%		全体	福祉の制 度、サー ビス、理 念や考え 方などに ついて学 ぶこと	介護体験 や介護を 必要とす る人の疑 似体験な ど、体験 学習をす ること	介護を必 要とする 人やその 家族介護 者などの 話を聞い たり、交 流したり すること	手話や点 字、介護 方法など の技術を 習得す ること	住民が地 域の福祉 についての 課題を 気軽に話 し合える 場をつ くること	その他	特に必要 なことは ない	無回答
全体		701 100.0%	327 46.6%	163 23.3%	307 43.8%	91 13.0%	330 47.1%	28 4.0%	40 5.7%	19 2.7%
性別	男性	311 100.0%	144 46.3%	67 21.5%	120 38.6%	33 10.6%	140 45.0%	13 4.2%	22 7.1%	6 1.9%
	女性	388 100.0%	183 47.2%	96 24.7%	187 48.2%	58 14.9%	190 49.0%	15 3.9%	18 4.6%	11 2.8%
年齢階級	18～29歳	63 100.0%	30 47.6%	14 22.2%	24 38.1%	16 25.4%	28 44.4%	3 4.8%	2 3.2%	0 0.0%
	30～39歳	83 100.0%	41 49.4%	19 22.9%	41 49.4%	12 14.5%	39 47.0%	2 2.4%	4 4.8%	2 2.4%
	40～49歳	83 100.0%	45 54.2%	22 26.5%	37 44.6%	14 16.9%	34 41.0%	4 4.8%	4 4.8%	2 2.4%
	50～59歳	108 100.0%	58 53.7%	33 30.6%	50 46.3%	16 14.8%	51 47.2%	5 4.6%	4 3.7%	1 0.9%
	60～69歳	129 100.0%	64 49.6%	34 26.4%	53 41.1%	16 12.4%	61 47.3%	9 7.0%	9 7.0%	2 1.6%
	70歳以上	228 100.0%	86 37.7%	40 17.5%	100 43.9%	17 7.5%	114 50.0%	5 2.2%	17 7.5%	10 4.4%
	在住の小中学校区	芦屋小学校区	192 100.0%	90 46.9%	39 20.3%	93 48.4%	27 14.1%	89 46.4%	10 5.2%	8 4.2%
	芦屋東小学校区	176 100.0%	78 44.3%	48 27.3%	81 46.0%	26 14.8%	86 48.9%	6 3.4%	13 7.4%	3 1.7%
	山鹿小学校区	303 100.0%	148 48.8%	71 23.4%	122 40.3%	37 12.2%	142 46.9%	11 3.6%	17 5.6%	8 2.6%

(4) 住民同士の助け合いや支え合いについてどう思うか

問4 あなたは、地域の一人ひとりが抱える生活課題に対する、住民同士の助け合いや支えあいの必要性についてどう思いますか。(いずれか1つに○)

住民同士の助け合いや支え合いの必要性についてどう思うかについては、「ある程度必要だと思う」が55.5%と最も高く、次いで「とても必要だと思う」が27.0%、「どちらとも言えない」が11.7%、「あまり必要だと思わない」が4.1%、「まったく必要だと思わない」が0.9%となっています。



【住民同士の助け合いや支え合いについてどう思うか（性別／年齢階級別／在住の小学校区別）】

性別にみると、男性は「とても必要だと思う」の割合が31.8%で女性（23.2%）より8.6ポイント高くなっています。

年齢階級別にみると、「あまり必要だと思わない」の割合は18～29歳が11.1%で最も高く、最も低い割合を示している30～39歳の2.4%より8.7ポイント高くなっています。

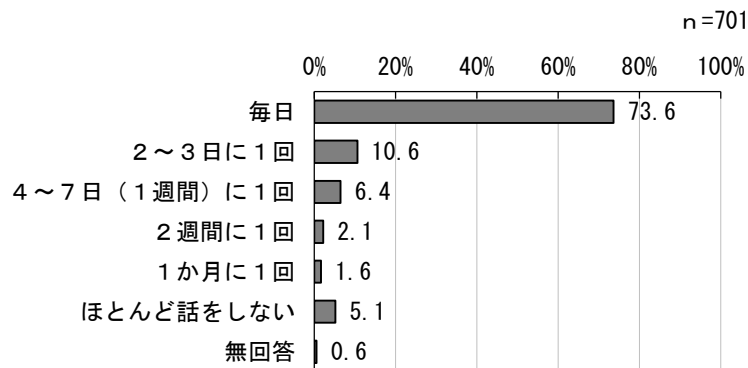
	上段：人 下段：%	全体	とても必要だと思 う	ある程度 必要だと思 う	どちらと も言えな い	あまり必 要だと思 わない	まったく 必要だと思 わない	無回答
全体		701	189	389	82	29	6	6
		100.0%	27.0%	55.5%	11.7%	4.1%	0.9%	0.9%
性別	男性	311	99	169	30	9	3	1
		100.0%	31.8%	54.3%	9.6%	2.9%	1.0%	0.3%
性別	女性	388	90	220	52	20	3	3
		100.0%	23.2%	56.7%	13.4%	5.2%	0.8%	0.8%
年齢階級	18～29歳	63	18	33	5	7	0	0
		100.0%	28.6%	52.4%	7.9%	11.1%	0.0%	0.0%
	30～39歳	83	32	41	6	2	2	0
		100.0%	38.6%	49.4%	7.2%	2.4%	2.4%	0.0%
	40～49歳	83	16	50	10	5	2	0
		100.0%	19.3%	60.2%	12.0%	6.0%	2.4%	0.0%
	50～59歳	108	18	71	16	3	0	0
	100.0%	16.7%	65.7%	14.8%	2.8%	0.0%	0.0%	
年齢階級	60～69歳	129	35	75	12	4	2	1
		100.0%	27.1%	58.1%	9.3%	3.1%	1.6%	0.8%
	70歳以上	228	68	116	33	8	0	3
	100.0%	29.8%	50.9%	14.5%	3.5%	0.0%	1.3%	
在住の小学校区	芦屋小学校区	192	56	100	27	8	1	0
		100.0%	29.2%	52.1%	14.1%	4.2%	0.5%	0.0%
	芦屋東小学校区	176	50	95	20	8	2	1
		100.0%	28.4%	54.0%	11.4%	4.5%	1.1%	0.6%
在住の小学校区	山鹿小学校区	303	77	177	32	13	3	1
		100.0%	25.4%	58.4%	10.6%	4.3%	1.0%	0.3%

3 地域での生活について

(1) 会話や世間話をする頻度

問5 あなたは、ふだんの程度、人と会話や世間話をしますか。(家族との会話や電話でのあいさつ程度の会話を含みます。)(いずれか1つに○)

会話や世間話をする頻度については、「毎日」が73.6%と最も高く、次いで「2～3日に1回」が10.6%、「4～7日(1週間)に1回」が6.4%、「ほとんど話をしない」が5.1%、「2週間に1回」が2.1%、「1か月に1回」が1.6%となっています。



【会話や世間話をする頻度(性別/年齢階級別/在住の小学校区別)】

年齢階級別にみると、「ほとんど会話をしない」の割合は60～69歳が10.1%で最も高く、他の年齢階級より高い割合を示しています。

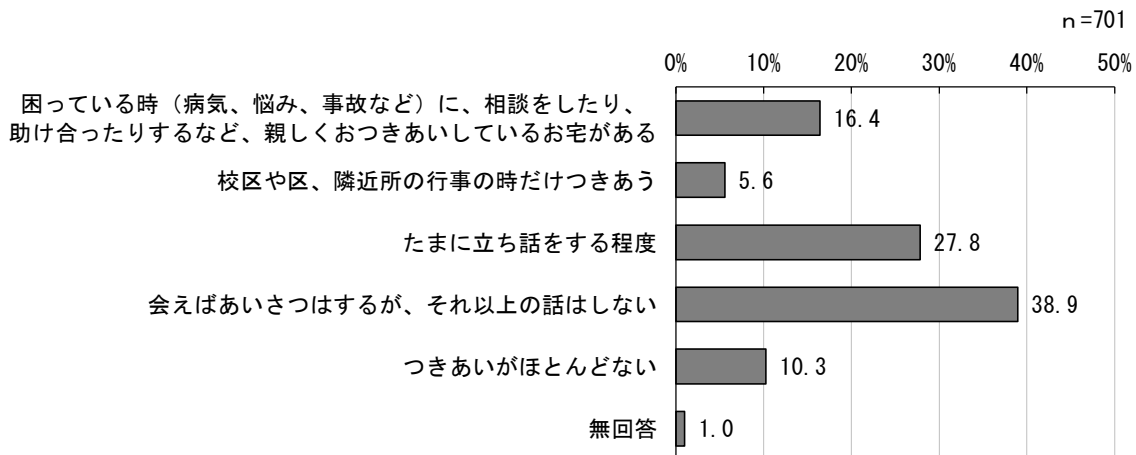
在住の小学校区別にみると、「2～3日に1回」の割合は山鹿小学校区で8.9%と最も低くなっています。

上段：人 下段：%		全体	毎日	2～3日 に1回	4～7日 (1週間) に1 回	2週間に 1回	1か月に 1回	ほとんど 話をしな い	無回答
全体		701 100.0%	516 73.6%	74 10.6%	45 6.4%	15 2.1%	11 1.6%	36 5.1%	4 0.6%
性別	男性	311 100.0%	222 71.4%	30 9.6%	21 6.8%	8 2.6%	9 2.9%	21 6.8%	0 0.0%
	女性	388 100.0%	294 75.8%	44 11.3%	24 6.2%	7 1.8%	2 0.5%	15 3.9%	2 0.5%
年齢階級	18～29歳	63 100.0%	56 88.9%	1 1.6%	1 1.6%	1 1.6%	0 0.0%	4 6.3%	0 0.0%
	30～39歳	83 100.0%	76 91.6%	5 6.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.4%	0 0.0%
	40～49歳	83 100.0%	67 80.7%	4 4.8%	4 4.8%	2 2.4%	0 0.0%	6 7.2%	0 0.0%
	50～59歳	108 100.0%	99 91.7%	2 1.9%	1 0.9%	3 2.8%	0 0.0%	3 2.8%	0 0.0%
	60～69歳	129 100.0%	82 63.6%	18 14.0%	12 9.3%	2 1.6%	2 1.6%	13 10.1%	0 0.0%
	70歳以上	228 100.0%	131 57.5%	44 19.3%	27 11.8%	7 3.1%	9 3.9%	8 3.5%	2 0.9%
在住の小学校区	芦屋小学校区	192 100.0%	141 73.4%	24 12.5%	12 6.3%	2 1.0%	3 1.6%	10 5.2%	0 0.0%
	芦屋東小学校区	176 100.0%	133 75.6%	22 12.5%	10 5.7%	4 2.3%	3 1.7%	4 2.3%	0 0.0%
	山鹿小学校区	303 100.0%	224 73.9%	27 8.9%	19 6.3%	6 2.0%	5 1.7%	20 6.6%	2 0.7%

(2) 近所づきあいの程度

問6 あなたは、ふだん近所の人とどの程度のつきあいをされていますか。(いずれか1つに○)

近所づきあいの程度については、「会えばあいさつはするが、それ以上の話はしない」が38.9%と最も高く、次いで「たまに立ち話をする程度」が27.8%、「困っている時（病気、悩み、事故など）に、相談をしたり、助け合ったりするなど親しくおつきあいしているお宅がある」が16.4%、「校区や区、隣近所の行事の時だけつきあう」が5.6%、「つきあいがほとんどない」が10.3%となっています。



【近所づきあいの程度（性別／年齢階級別／在住の小学校区別）】

年齢階級別にみると、「困っている時（病気、悩み、事故など）に、相談をしたり、助け合ったりするなど、親しくおつきあいしているお宅がある」の割合は70歳以上が25.9%で最も高く、最も低い割合を示している18～29歳(7.9%)よりも18ポイント高くなっています。

在住の小学校区別にみると、「会えばあいさつはするが、それ以上の話はしない」の割合は芦屋小学校区と山鹿小学校区で4割を超えているのに対し、芦屋東小学校区では3割を下回っています。

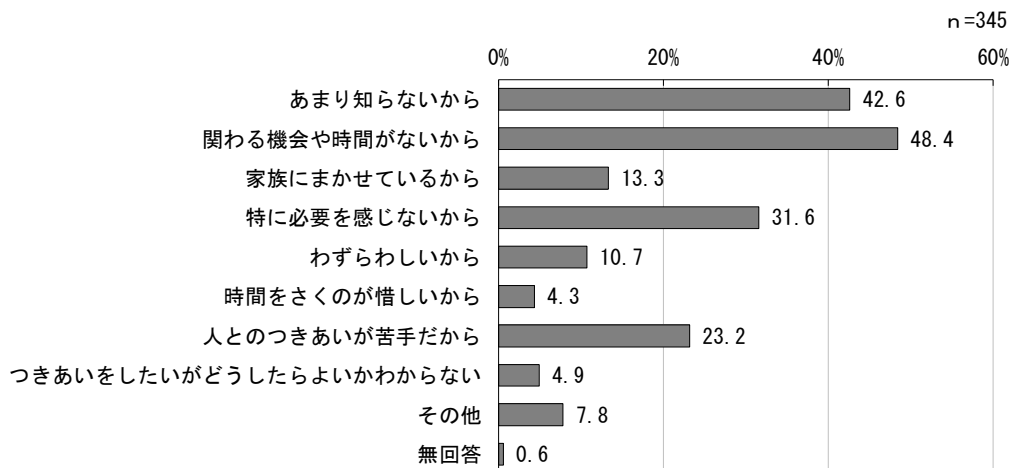
上段：人 下段：%		全体	困っている時（病気、悩み、事故など）に、相談をしたり、助け合ったりするなど、親しくおつきあいしているお宅がある	校区や区、隣近所の行事の時だけつきあう	たまに立ち話をする程度	会えばあいさつはするが、それ以上の話はしない	つきあいがほとんどない	無回答
全体		701 100.0%	115 16.4%	39 5.6%	195 27.8%	273 38.9%	72 10.3%	7 1.0%
性別	男性	311 100.0%	39 12.5%	18 5.8%	93 29.9%	121 38.9%	39 12.5%	1 0.3%
	女性	388 100.0%	76 19.6%	21 5.4%	102 26.3%	152 39.2%	33 8.5%	4 1.0%
年齢階級	18～29歳	63 100.0%	5 7.9%	0 0.0%	11 17.5%	35 55.6%	12 19.0%	0 0.0%
	30～39歳	83 100.0%	12 14.5%	1 1.2%	22 26.5%	35 42.2%	13 15.7%	0 0.0%
	40～49歳	83 100.0%	7 8.4%	5 6.0%	20 24.1%	39 47.0%	12 14.5%	0 0.0%
	50～59歳	108 100.0%	17 15.7%	10 9.3%	32 29.6%	40 37.0%	7 6.5%	2 1.9%
	60～69歳	129 100.0%	15 11.6%	9 7.0%	38 29.5%	53 41.1%	13 10.1%	1 0.8%
	70歳以上	228 100.0%	59 25.9%	14 6.1%	70 30.7%	68 29.8%	15 6.6%	2 0.9%
在住の小中学校区	芦屋小学校区	192 100.0%	30 15.6%	10 5.2%	49 25.5%	81 42.2%	20 10.4%	2 1.0%
	芦屋東小学校区	176 100.0%	40 22.7%	12 6.8%	54 30.7%	51 29.0%	19 10.8%	0 0.0%
	山鹿小学校区	303 100.0%	43 14.2%	15 5.0%	83 27.4%	132 43.6%	28 9.2%	2 0.7%

(3) 近所つきあいがない(少ない)理由

問6で「4. 会えばあいさつはするが、それ以上の話はしない」「5. つきあいがほとんどない」と回答した方におうかがいします。

問6-1 つきあいがほとんどないのはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)

近所つきあいがない(少ない)理由については、「関わる機会や時間がないから」が48.4%と最も高く、次いで「あまり知らないから」が42.6%、「特に必要を感じないから」が31.6%、「人とのつきあいが苦手だから」が23.2%となっています。



○その他

相手があまり話し掛けてこないから／姿を見ない／周りに民家が少ない／住んでまだ1年たたない／入院中 など

【近所つきあいがない(少ない)理由(性別/年齢階級別/在住の小学校区別)】

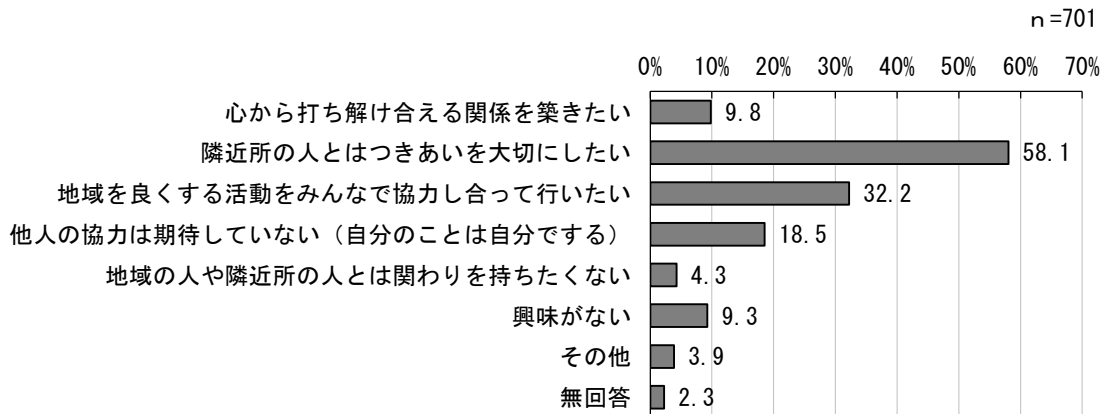
「家族にまかせているから」の割合をみると、年齢階級別では、18~29歳と40~49歳で3割近い割合となっています。在住の小学校区別では、芦屋小学校区が17.8%で最も高く、最も低い割合の芦屋東小学校区(10.0%)よりも7.8ポイント高くなっています。

		全体	あまり知らないから	関わる機会や時間がないから	家族にまかせているから	特に必要を感じないから	わずらわしいから	時間をさくのが惜しいから	人とのつきあいが苦手だから	つきあいをしたいがどうしたらよいかわからない	その他	無回答
上段：人 下段：%												
全体		345	147	167	46	109	37	15	80	17	27	2
		100.0%	42.6%	48.4%	13.3%	31.6%	10.7%	4.3%	23.2%	4.9%	7.8%	0.6%
性別	男性	160	65	73	24	54	18	5	35	8	9	1
		100.0%	40.6%	45.6%	15.0%	33.8%	11.3%	3.1%	21.9%	5.0%	5.6%	0.6%
性別	女性	185	82	94	22	55	19	10	45	9	18	1
		100.0%	44.3%	50.8%	11.9%	29.7%	10.3%	5.4%	24.3%	4.9%	9.7%	0.5%
年齢階級	18~29歳	47	19	28	13	17	3	6	15	1	2	1
		100.0%	40.4%	59.6%	27.7%	36.2%	6.4%	12.8%	31.9%	2.1%	4.3%	2.1%
	30~39歳	48	18	27	3	16	5	2	9	3	5	0
		100.0%	37.5%	56.3%	6.3%	33.3%	10.4%	4.2%	18.8%	6.3%	10.4%	0.0%
	40~49歳	51	18	29	14	14	10	3	16	3	4	0
		100.0%	35.3%	56.9%	27.5%	27.5%	19.6%	5.9%	31.4%	5.9%	7.8%	0.0%
	50~59歳	47	19	25	3	9	6	2	12	2	2	0
	100.0%	40.4%	53.2%	6.4%	19.1%	12.8%	4.3%	25.5%	4.3%	4.3%	0.0%	
年齢階級	60~69歳	66	33	33	3	21	9	1	12	2	6	0
		100.0%	50.0%	50.0%	4.5%	31.8%	13.6%	1.5%	18.2%	3.0%	9.1%	0.0%
年齢階級	70歳以上	83	40	22	10	31	4	1	16	6	8	1
		100.0%	48.2%	26.5%	12.0%	37.3%	4.8%	1.2%	19.3%	7.2%	9.6%	1.2%
在住の小学校区	芦屋小学校区	101	43	48	18	26	8	5	27	8	10	0
		100.0%	42.6%	47.5%	17.8%	25.7%	7.9%	5.0%	26.7%	7.9%	9.9%	0.0%
	芦屋東小学校区	70	26	35	7	26	11	4	16	1	6	0
		100.0%	37.1%	50.0%	10.0%	37.1%	15.7%	5.7%	22.9%	1.4%	8.6%	0.0%
在住の小学校区	山鹿小学校区	160	69	80	19	53	17	6	35	8	9	2
		100.0%	43.1%	50.0%	11.9%	33.1%	10.6%	3.8%	21.9%	5.0%	5.6%	1.3%

(4) 地域での人と人との関わりに対する考え

問7 地域での人と人との関わりについて、あなたのお考えに近いものをお選びください。(あてはまるものすべてに○)

地域での人と人との関わりに対する考えについては、「隣近所の人とはつきあいを大切にしたい」が58.1%と最も高く、次いで「地域をよくする活動をみんなで協力し合って行いたい」が32.2%、「他人の協力は期待していない(自分のことは自分です)」が18.5%となっています。



○その他

- ・必要以上の干渉しすぎる人が多すぎるので、あまり関りたくない。
- ・良い人間関係を築ける人とは関わっていきたいが、残念ながら、そうでない人もいる。
- ・ふだんは適度な距離を保ち、いざという時に手助けし合えるように。
- ・普段はあいさつ程度だが災害時など困っている人にはできる範囲の支援を行いたい。近所の人と積極的に関わりたい人、そうでない人どちらも住みやすい地域が理想。
- ・防犯程度の付き合い など

【地域での人と人との関わりに対する考え(性別/年齢階級別/在住の小学校区別)】

性別にみると、「地域をよくする活動をみんなで協力し合って行いたい」の割合は女性では29.4%であるのに対し、男性では36.0%で、6.6ポイント高くなっています。

年齢階級別にみると、「隣近所の人とはつきあいを大切にしたい」の割合は、50歳からは6割を超えています。また、「地域をよくする活動をみんなで協力し合って行いたい」の割合は50～59歳で47.2%と、他の年齢階級より高い割合を示しています。

在住の小学校区別にみると、「心から打ち解け合える関係を築きたい」の割合は芦屋小学校区で13.5%と最も高く、最も低い割合を示している山鹿小学校区(6.9%)より6.6ポイント高くなっています。

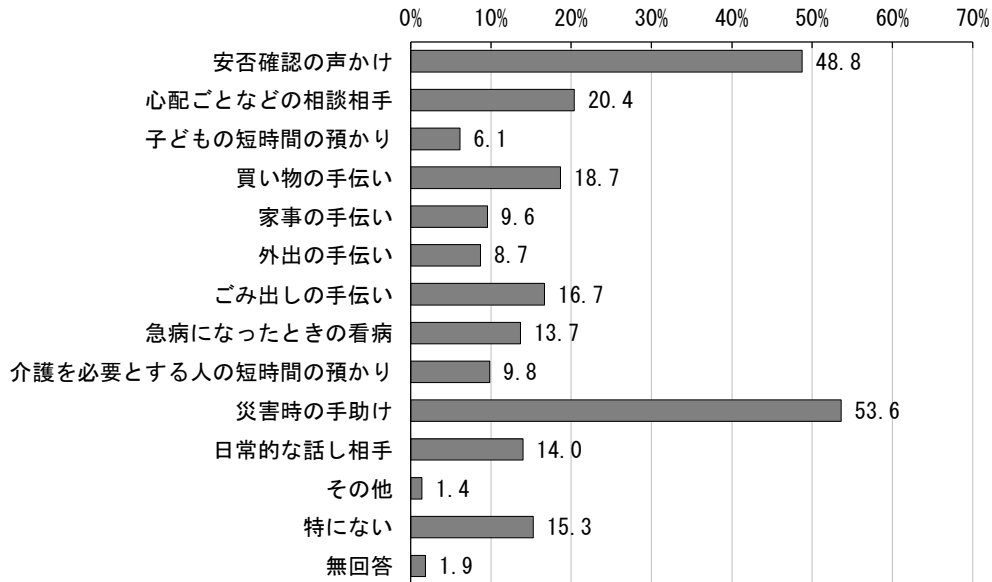
上段：人 下段：%		全体	心から打ち解け合える関係を築きたい	隣近所の人とはつきあいを大切にしたい	地域を良くする活動をみんなで行いたい	他人の協力は期待していない（自分のことは自分でする）	地域の人や隣近所の人とは関わりを持ちたくない	興味がない	その他	無回答
全体		701 100.0%	69 9.8%	407 58.1%	226 32.2%	130 18.5%	30 4.3%	65 9.3%	27 3.9%	16 2.3%
性別	男性	311 100.0%	38 12.2%	169 54.3%	112 36.0%	68 21.9%	12 3.9%	30 9.6%	13 4.2%	3 1.0%
	女性	388 100.0%	31 8.0%	238 61.3%	114 29.4%	62 16.0%	18 4.6%	35 9.0%	14 3.6%	11 2.8%
年齢階級	18～29歳	63 100.0%	8 12.7%	29 46.0%	17 27.0%	16 25.4%	2 3.2%	17 27.0%	2 3.2%	1 1.6%
	30～39歳	83 100.0%	6 7.2%	43 51.8%	24 28.9%	17 20.5%	2 2.4%	10 12.0%	1 1.2%	1 1.2%
	40～49歳	83 100.0%	7 8.4%	37 44.6%	18 21.7%	23 27.7%	7 8.4%	16 19.3%	5 6.0%	1 1.2%
	50～59歳	108 100.0%	8 7.4%	65 60.2%	51 47.2%	11 10.2%	8 7.4%	8 7.4%	3 2.8%	2 1.9%
	60～69歳	129 100.0%	10 7.8%	78 60.5%	40 31.0%	25 19.4%	4 3.1%	7 5.4%	9 7.0%	3 2.3%
	70歳以上	228 100.0%	30 13.2%	151 66.2%	74 32.5%	38 16.7%	7 3.1%	7 3.1%	7 3.1%	6 2.6%
在住の小学校区	芦屋小学校区	192 100.0%	26 13.5%	116 60.4%	59 30.7%	39 20.3%	7 3.6%	17 8.9%	8 4.2%	5 2.6%
	芦屋東小学校区	176 100.0%	21 11.9%	103 58.5%	64 36.4%	33 18.8%	4 2.3%	17 9.7%	9 5.1%	2 1.1%
	山鹿小学校区	303 100.0%	21 6.9%	174 57.4%	97 32.0%	53 17.5%	19 6.3%	30 9.9%	8 2.6%	5 1.7%

(5) 地域の人にしてもらいたい支援

問8 あなた自身やご家族に日常生活上の支援が必要になったとき、地域の人にどのような支援をしてほしいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

地域の人にしてもらいたい支援については、「災害時の手助け」が53.6%と最も高く、次いで「安否確認の声かけ」が48.8%、「心配ごとなどの相談相手」が20.4%となっています。

n=701



○その他

入院や役場への手続き／庭の草むしり、高い所のそうじなど高齢者に難しいこと／今のところ良くわからない など

【地域の人にしてもらいたい支援（性別／年齢階級別／在住の小学校区別）】

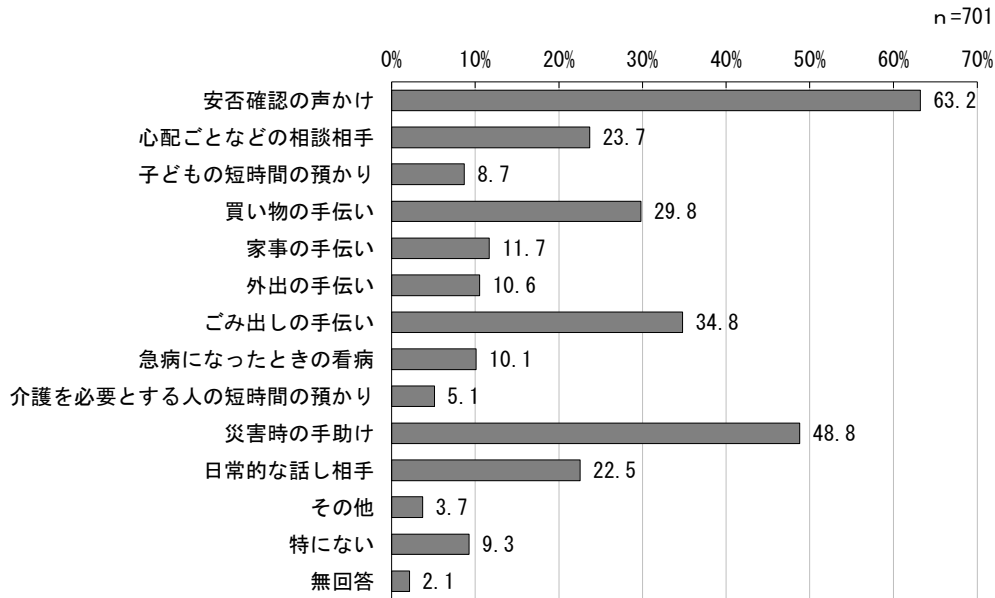
性別にみると、男性は「心配ごとなどの相談相手」と「日常的な話し相手」の割合が女性より3ポイント以上高く、女性は「ごみ出しの手伝い」、「介護を必要とする人の短時間の預かり」、「災害時の手助け」の割合が男性より3ポイント以上高くなっています。

上段：人 下段：%	全体	安否確認 の声かけ	心配ごと などの相 談相手	子どもの 短時間の 預かり	買い物の 手伝い	家事の手 伝い	外出の手 伝い	ごみ出し の手伝い	急病に なったと きの看病	介護を必 要とする 人の短時 間の預か り	災害時の 手助け	日常的な 話し相手	その他	特にない	無回答
全体	701 100.0%	342 48.8%	143 20.4%	43 6.1%	131 18.7%	67 9.6%	61 8.7%	117 16.7%	96 13.7%	69 9.8%	376 53.6%	98 14.0%	10 1.4%	107 15.3%	13 1.9%
性別															
男性	311 100.0%	149 47.9%	69 22.2%	15 4.8%	56 18.0%	33 10.6%	26 8.4%	44 14.1%	43 13.8%	24 7.7%	159 51.1%	49 15.8%	3 1.0%	59 19.0%	2 0.6%
女性	388 100.0%	193 49.7%	74 19.1%	28 7.2%	75 19.3%	34 8.8%	35 9.0%	73 18.8%	53 13.7%	45 11.6%	217 55.9%	49 12.6%	7 1.8%	48 12.4%	9 2.3%
年齢階級															
18～29歳	63 100.0%	34 54.0%	14 22.2%	6 9.5%	7 11.1%	7 11.1%	8 12.7%	12 19.0%	9 14.3%	9 14.3%	36 57.1%	15 23.8%	1 1.6%	14 22.2%	0 0.0%
30～39歳	83 100.0%	40 48.2%	24 28.9%	24 28.9%	14 16.9%	9 10.8%	6 7.2%	11 13.3%	14 16.9%	9 10.8%	52 62.7%	12 14.5%	0 0.0%	8 9.6%	1 1.2%
40～49歳	83 100.0%	38 45.8%	16 19.3%	2 2.4%	18 21.7%	11 13.3%	12 14.5%	12 14.5%	12 14.5%	15 18.1%	47 56.6%	9 10.8%	1 1.2%	17 20.5%	0 0.0%
50～59歳	108 100.0%	59 54.6%	25 23.1%	5 4.6%	21 19.4%	7 6.5%	9 8.3%	19 17.6%	11 10.2%	15 13.9%	68 63.0%	8 7.4%	1 0.9%	14 13.0%	1 0.9%
60～69歳	129 100.0%	61 47.3%	24 18.6%	1 0.8%	27 20.9%	12 9.3%	8 6.2%	22 17.1%	14 10.9%	8 6.2%	73 56.6%	17 13.2%	4 3.1%	20 15.5%	1 0.8%
70歳以上	228 100.0%	106 46.5%	40 17.5%	4 1.8%	42 18.4%	20 8.8%	17 7.5%	41 18.0%	35 15.4%	12 5.3%	98 43.0%	37 16.2%	3 1.3%	34 14.9%	8 3.5%
在住の小学校区															
芦屋小学校区	192 100.0%	104 54.2%	37 19.3%	11 5.7%	37 19.3%	17 8.9%	21 10.9%	34 17.7%	25 13.0%	16 8.3%	103 53.6%	25 13.0%	3 1.6%	27 14.1%	2 1.0%
芦屋東小学校区	176 100.0%	87 49.4%	46 26.1%	13 7.4%	34 19.3%	24 13.6%	19 10.8%	41 23.3%	30 17.0%	20 11.4%	88 50.0%	28 15.9%	1 1.7%	25 14.2%	4 2.3%
山鹿小学校区	303 100.0%	141 46.5%	52 17.2%	19 6.3%	56 18.5%	25 8.3%	20 6.6%	41 13.5%	34 11.2%	30 9.9%	176 58.1%	41 13.5%	2 0.7%	50 16.5%	4 1.3%

(6) 地域の人に対してできる支援

問9 あなたの身近なところで、日常生活上困っている人がいた場合、あなた自身はどのような支援ができると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

地域の人に対してできる支援については、「安否確認の声かけ」が63.2%と最も高く、次いで「災害時の手助け」が48.8%、「ごみ出しの手伝い」が34.8%となっています。「その他」については、「わからない」や「人の支援はできない」という趣旨の回答が多くみられました。



○その他

- ・状況の中で、自分が無理なくできること。
- ・自分に余裕があり、責任を問われず質が問われないのであればある程度何でも
- ・自分自身歩くのがやっとで人の支援などできない
- ・わからない など

【地域の人にしてもらいたい支援（性別／年齢階級別／在住の小学校区別）】

年齢階級別にみると、「心配ごとなどの相談相手」の割合は40～49歳で14.5%と最も低く、最も高い割合を示している18～29歳(30.2%)より15.7ポイント低くなっています。

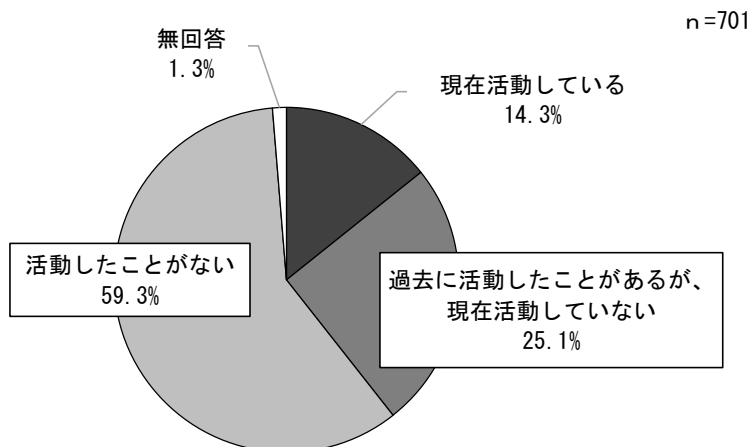
上段：人 下段：%	全体	安否確認 の声かけ	心配ごと などの相 談相手	子どもの 短時間の 預かり	買い物 の手伝い	家事の手 伝い	外出の手 伝い	ごみ出し の手伝い	急病に なったと きの看病	介護を必 要とする 人の短時 間の預か り	災害時の 手助け	日常的な 話し相手	その他	特にな い	無回答	
全体	701 100.0%	443 63.2%	166 23.7%	61 8.7%	209 29.8%	82 11.7%	74 10.6%	244 34.8%	71 10.1%	36 5.1%	342 48.8%	158 22.5%	26 3.7%	65 9.3%	15 2.1%	
性別	男性	311 100.0%	179 57.6%	69 22.2%	21 6.8%	77 24.8%	31 10.0%	40 12.9%	99 31.8%	31 10.0%	10 3.2%	160 51.4%	66 21.2%	12 3.9%	34 10.9%	3 1.0%
	女性	388 100.0%	264 68.0%	97 25.0%	40 10.3%	132 34.0%	51 13.1%	34 8.8%	145 37.4%	40 10.3%	26 6.7%	182 46.9%	92 23.7%	14 3.6%	31 8.0%	10 2.6%
年齢階級	18～29歳	63 100.0%	41 65.1%	19 30.2%	6 9.5%	21 33.3%	8 12.7%	8 12.7%	23 36.5%	6 9.5%	4 6.3%	33 52.4%	18 28.6%	0 0.0%	7 11.1%	0 0.0%
	30～39歳	83 100.0%	51 61.4%	25 30.1%	15 18.1%	24 28.9%	7 8.4%	8 9.6%	23 27.7%	7 8.4%	4 4.8%	50 60.2%	23 27.7%	2 2.4%	6 7.2%	0 0.0%
	40～49歳	83 100.0%	48 57.8%	12 14.5%	8 9.6%	27 32.5%	10 12.0%	6 7.2%	26 31.3%	5 6.0%	7 8.4%	44 53.0%	16 19.3%	7 8.4%	11 13.3%	0 0.0%
	50～59歳	108 100.0%	82 75.9%	27 25.0%	12 11.1%	40 37.0%	12 11.1%	15 13.9%	38 35.2%	8 7.4%	5 4.6%	70 64.8%	19 17.6%	1 0.9%	6 5.6%	1 0.9%
	60～69歳	129 100.0%	82 63.6%	29 22.5%	6 4.7%	40 31.0%	17 13.2%	13 10.1%	49 38.0%	14 10.9%	7 5.4%	68 52.7%	24 18.6%	6 4.7%	12 9.3%	1 0.8%
	70歳以上	228 100.0%	136 59.6%	53 23.2%	14 6.1%	54 23.7%	26 11.4%	22 9.6%	81 35.5%	30 13.2%	9 3.9%	73 32.0%	57 25.0%	10 4.4%	23 10.1%	11 4.8%
在住の小学校区	芦屋小学校区	192 100.0%	120 62.5%	42 21.9%	17 8.9%	57 29.7%	26 13.5%	21 10.9%	63 32.8%	20 10.4%	14 7.3%	98 51.0%	45 23.4%	6 3.1%	15 7.8%	2 1.0%
	芦屋東小学校区	176 100.0%	116 65.9%	46 26.1%	18 10.2%	54 30.7%	24 13.6%	19 10.8%	72 40.9%	15 8.5%	7 4.0%	81 46.0%	41 23.3%	8 4.5%	19 10.8%	3 1.7%
	山鹿小学校区	303 100.0%	192 63.4%	70 23.1%	25 8.3%	88 29.0%	28 9.2%	32 10.6%	101 33.3%	29 9.6%	13 4.3%	154 50.8%	66 21.8%	11 3.6%	29 9.6%	5 1.7%

4 地域活動や福祉に関するボランティアについて

(1) 地域活動やボランティア活動への参加の有無

問 10 あなたは、現在、自治区や子ども会、老人クラブなどの地域活動やボランティア活動に参加していますか。(いずれか1つに○)

地域活動やボランティア活動への参加の有無については、「活動したことがない」が59.3%と最も高く、次いで「過去に活動したことがあるが、現在は活動していない」が25.1%、「現在活動している」が14.3%となっています。



【地域活動やボランティア活動への参加の有無（性別／年齢階級別／在住の小学校区別）】

年齢階級別にみると、「現在活動している」の割合は30～39歳で21.7%と最も高く、最も低い割合を示している18～29歳（4.8%）より16.9ポイント高くなっています。

上段：人 下段：%		全体	現在活動している	過去に活動したことがあるが、現在活動していない	活動したことがない	無回答
全体		701 100.0%	100 14.3%	176 25.1%	416 59.3%	9 1.3%
性別	男性	311 100.0%	46 14.8%	59 19.0%	204 65.6%	2 0.6%
	女性	388 100.0%	54 13.9%	117 30.2%	212 54.6%	5 1.3%
年齢階級	18～29歳	63 100.0%	3 4.8%	21 33.3%	39 61.9%	0 0.0%
	30～39歳	83 100.0%	18 21.7%	10 12.0%	55 66.3%	0 0.0%
	40～49歳	83 100.0%	8 9.6%	13 15.7%	62 74.7%	0 0.0%
	50～59歳	108 100.0%	22 20.4%	38 35.2%	46 42.6%	2 1.9%
	60～69歳	129 100.0%	12 9.3%	27 20.9%	89 69.0%	1 0.8%
	70歳以上	228 100.0%	37 16.2%	63 27.6%	124 54.4%	4 1.8%
在住の小学校区	芦屋小学校区	192 100.0%	28 14.6%	42 21.9%	121 63.0%	1 0.5%
	芦屋東小学校区	176 100.0%	32 18.2%	45 25.6%	98 55.7%	1 0.6%
	山鹿小学校区	303 100.0%	40 13.2%	81 26.7%	179 59.1%	3 1.0%

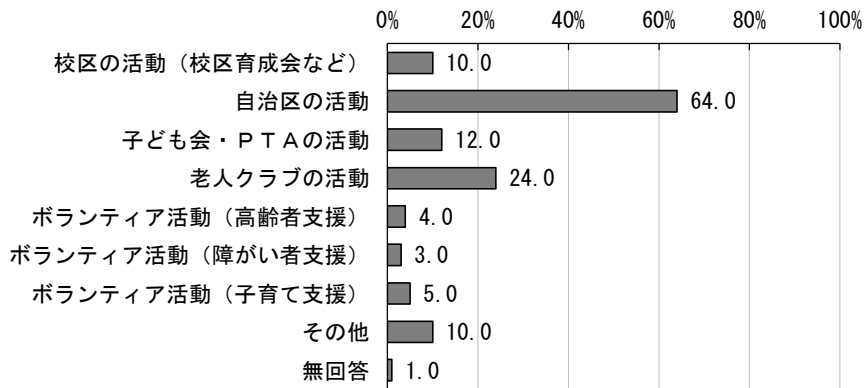
(2) 地域活動やボランティア活動の内容

問 10 で「1. 現在活動している」と回答した方におうかがいします。

問 10-1 どんな活動をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

地域活動やボランティア活動の内容については、「自治区の活動」が64.0%と最も高く、次いで「老人クラブの活動」が24.0%、「子ども会・PTAの活動」が12.0%となっています。

n=100



○その他

民間団体手伝い／消防団に在籍中／海岸清掃 (ビーチクリーン) など

【地域活動やボランティア活動の内容 (性別／年齢階級別／在住の小学校区別)】

「自治区の活動」の割合をみると、性別では女性が70.4%で、男性(56.5%)よりも13.9ポイント高くなっています。年齢階級別にみると、40歳から69歳で8割を超えています。在住の小学校区別でみると、芦屋小学校区が唯一8割を超えています。

「子ども会・PTAの活動」を在住の小学校区別にみると、芦屋東小学校区が31.3%で、他の小学校区より高い割合を示しています。

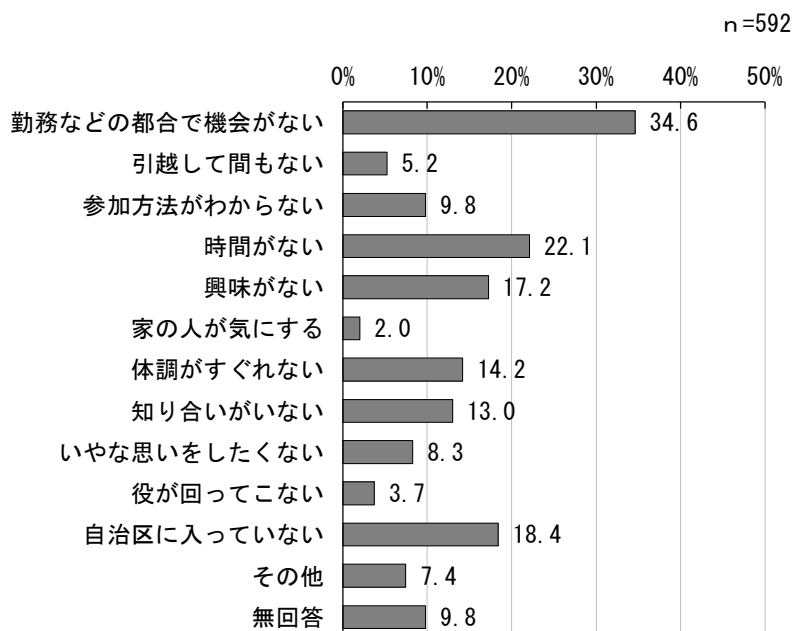
上段：人 下段：%		全体	校区の活動 (校区育成会など)	自治区の活動	子ども会・PTAの活動	老人クラブの活動	ボランティア活動 (高齢者支援)	ボランティア活動 (障がい者支援)	ボランティア活動 (子育て支援)	その他	無回答
全体		100 100.0%	10 10.0%	64 64.0%	12 12.0%	24 24.0%	4 4.0%	3 3.0%	5 5.0%	10 10.0%	1 1.0%
性別	男性	46 100.0%	5 10.9%	26 56.5%	5 10.9%	13 28.3%	2 4.3%	1 2.2%	0 0.0%	6 13.0%	1 2.2%
	女性	54 100.0%	5 9.3%	38 70.4%	7 13.0%	11 20.4%	2 3.7%	2 3.7%	5 9.3%	4 7.4%	0 0.0%
年齢階級	18~29歳	3 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%
	30~39歳	18 100.0%	0 0.0%	10 55.6%	8 44.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 16.7%	0 0.0%
	40~49歳	8 100.0%	1 12.5%	7 87.5%	2 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	50~59歳	22 100.0%	2 9.1%	18 81.8%	2 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.5%	2 9.1%	3 13.6%	0 0.0%
	60~69歳	12 100.0%	0 0.0%	10 83.3%	0 0.0%	1 8.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 8.3%	1 8.3%
	70歳以上	37 100.0%	6 16.2%	18 48.6%	0 0.0%	23 62.2%	4 10.8%	2 5.4%	2 5.4%	2 5.4%	0 0.0%
	在住の小学校区	芦屋小学校区	28 100.0%	2 7.1%	23 82.1%	1 3.6%	5 17.9%	3 10.7%	2 7.1%	3 10.7%	3 10.7%
	芦屋東小学校区	32 100.0%	4 12.5%	19 59.4%	10 31.3%	7 21.9%	1 3.1%	0 0.0%	2 6.3%	1 3.1%	0 0.0%
	山鹿小学校区	40 100.0%	4 10.0%	22 55.0%	1 2.5%	12 30.0%	0 0.0%	1 2.5%	0 0.0%	6 15.0%	1 2.5%

(3) 地域活動やボランティア活動をしていない理由

問 10 で「2. 過去に活動したことがあるが、現在活動していない」「3. 活動したことがない」と回答した方におうかがいします。

問 10-2 現在活動していない理由は何ですか。(あてはまるもの3つまでに○)

地域活動やボランティア活動をしていない理由については、「勤務などの都合で機会がない」が34.6%と最も高く、次いで「時間がない」が22.1%、「自治区に入っていない」が18.4%となっています。「その他」については、新型コロナウイルス感染症による団体の活動休止を理由にあげている方が多くみられました。



○その他

コロナのため活動休止中／子供が成長した為／高齢のため／足が悪い など

【地域活動やボランティア活動をしていない理由（性別／年齢階級別／在住の小学校区別）】

年齢階級別にみると、18～29歳では「勤務などの都合で機会がない」と「時間がない」の割合が同率の38.3%で最も高く、70歳以上では「体調がすぐれない」の割合が27.8%で最も高くなっています。

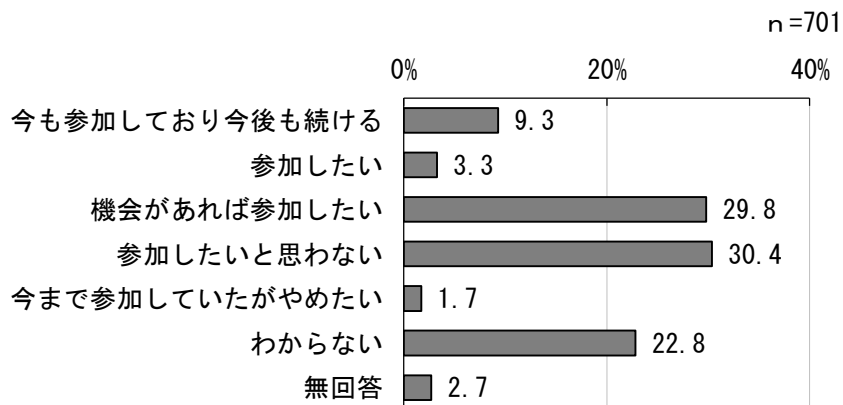
在住の小学校区別にみると、「勤務などの都合で機会がない」の割合は芦屋小学校区で41.7%と最も高く、最も低い割合を示している芦屋東小学校区（28.0%）より13.7ポイント高くなっています。

上段：人 下段：%		全体	勤務など の都合で 機会がな い	引越して 間もない	参加方法 がわから ない	時間がな い	興味がな い	家の人が 気にする	体調がす ぐれない	知り合い がいない	いやな思 いをした くない	役が回っ てこない	自治区に 入ってい ない	その他	無回答
全体		592 100.0%	205 34.6%	31 5.2%	58 9.8%	131 22.1%	102 17.2%	12 2.0%	84 14.2%	77 13.0%	49 8.3%	22 3.7%	109 18.4%	44 7.4%	58 9.8%
性別	男性	263 100.0%	92 35.0%	11 4.2%	31 11.8%	60 22.8%	57 21.7%	4 1.5%	39 14.8%	36 13.7%	18 6.8%	13 4.9%	40 15.2%	12 4.6%	22 8.4%
	女性	329 100.0%	113 34.3%	20 6.1%	27 8.2%	71 21.6%	45 13.7%	8 2.4%	45 13.7%	41 12.5%	31 9.4%	9 2.7%	69 21.0%	32 9.7%	36 10.9%
年齢階級	18～29歳	60 100.0%	23 38.3%	1 1.7%	6 10.0%	23 38.3%	18 30.0%	1 1.7%	2 3.3%	8 13.3%	2 3.3%	0 0.0%	9 15.0%	2 3.3%	4 6.7%
	30～39歳	65 100.0%	36 55.4%	1 1.5%	4 6.2%	15 23.1%	13 20.0%	0 0.0%	1 1.5%	7 10.8%	3 4.6%	2 3.1%	13 20.0%	1 1.5%	7 10.8%
	40～49歳	75 100.0%	34 45.3%	0 0.0%	6 8.0%	26 34.7%	24 32.0%	1 1.3%	9 12.0%	7 9.3%	11 14.7%	3 4.0%	14 18.7%	5 6.7%	5 6.7%
	50～59歳	84 100.0%	35 41.7%	3 3.6%	5 6.0%	21 25.0%	8 9.5%	3 3.6%	6 7.1%	6 7.1%	9 10.7%	7 8.3%	15 17.9%	7 8.3%	7 8.3%
	60～69歳	116 100.0%	48 41.4%	14 12.1%	17 14.7%	24 20.7%	14 12.1%	4 3.4%	14 12.1%	16 13.8%	6 5.2%	3 2.6%	23 19.8%	11 9.5%	8 6.9%
	70歳以上	187 100.0%	27 14.4%	12 6.4%	20 10.7%	19 10.2%	24 12.8%	3 1.6%	52 27.8%	33 17.6%	18 9.6%	7 3.7%	35 18.7%	18 9.6%	27 14.4%
	在住の小学校区	163 100.0%	68 41.7%	6 3.7%	18 11.0%	35 21.5%	24 14.7%	4 2.5%	24 14.7%	18 11.0%	15 9.2%	4 2.5%	30 18.4%	16 9.8%	11 6.7%
	芦屋小学校区	143 100.0%	40 28.0%	6 4.2%	10 7.0%	24 16.8%	26 18.2%	4 2.8%	27 18.9%	17 11.9%	13 9.1%	7 4.9%	34 23.8%	11 7.7%	15 10.5%
	山鹿小学校区	260 100.0%	88 33.8%	15 5.8%	29 11.2%	66 25.4%	48 18.5%	0 0.0%	30 11.5%	33 12.7%	19 7.3%	10 3.8%	40 15.4%	17 6.5%	30 11.5%

(4) 地域活動やボランティア活動への参加意向

問 11 あなたは、今後、自治区や子ども会、老人クラブなどの地域活動や福祉ボランティア活動に参加したいと思いますか。(いずれか1つに○)

地域活動やボランティア活動への参加意向については、「参加したいと思わない」が30.4%と最も高く、次いで「機会があれば参加したい」が29.8%、「わからない」が22.8%となっています。



【地域活動やボランティア活動への参加意向（性別／年齢階級別／在住の小学校区別）】

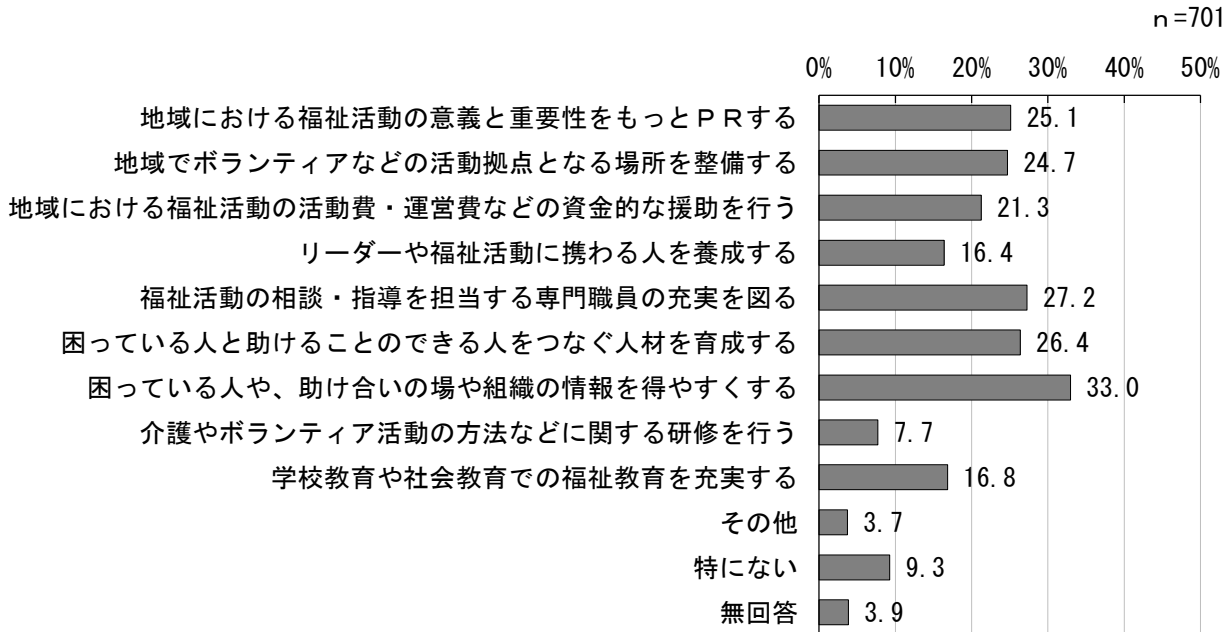
年齢階級別にみると、「機会があれば参加したい」の割合は30～39歳で41.0%と最も高くなっています。

上段：人 下段：%		全体	今も参加 しており 今後も続 ける	参加した い	機会があ れば参加 したい	参加した いと思わ ない	今まで参 加してい たがやめ たい	わから ない	無回答
全体		701 100.0%	65 9.3%	23 3.3%	209 29.8%	213 30.4%	12 1.7%	160 22.8%	19 2.7%
性別	男性	311 100.0%	27 8.7%	12 3.9%	91 29.3%	99 31.8%	4 1.3%	72 23.2%	6 1.9%
	女性	388 100.0%	38 9.8%	11 2.8%	118 30.4%	114 29.4%	8 2.1%	88 22.7%	11 2.8%
年齢階級	18～29歳	63 100.0%	3 4.8%	1 1.6%	18 28.6%	26 41.3%	0 0.0%	14 22.2%	1 1.6%
	30～39歳	83 100.0%	8 9.6%	4 4.8%	34 41.0%	18 21.7%	0 0.0%	18 21.7%	1 1.2%
	40～49歳	83 100.0%	4 4.8%	1 1.2%	21 25.3%	31 37.3%	3 3.6%	22 26.5%	1 1.2%
	50～59歳	108 100.0%	12 11.1%	2 1.9%	35 32.4%	31 28.7%	3 2.8%	22 20.4%	3 2.8%
	60～69歳	129 100.0%	6 4.7%	7 5.4%	44 34.1%	36 27.9%	0 0.0%	34 26.4%	2 1.6%
	70歳以上	228 100.0%	32 14.0%	8 3.5%	52 22.8%	71 31.1%	6 2.6%	50 21.9%	9 3.9%
在住の小学校区	芦屋小学校区	192 100.0%	15 7.8%	3 1.6%	57 29.7%	56 29.2%	5 2.6%	52 27.1%	4 2.1%
	芦屋東小学校区	176 100.0%	24 13.6%	7 4.0%	43 24.4%	59 33.5%	2 1.1%	39 22.2%	2 1.1%
	山鹿小学校区	303 100.0%	25 8.3%	12 4.0%	101 33.3%	91 30.0%	5 1.7%	60 19.8%	9 3.0%

(5) 地域における支え合い、助け合い活動の活発化のために重要だと思うこと

問 12 今後、地域における支え合い、助け合い活動を活発化することが重要になってきます。そのためには、どのようなことが重要だと思いますか。(あてはまるもの3つまでに○)

地域における支え合い、助け合い活動の活発化のために重要だと思うことについては、「困っている人や助け合いの場や組織の情報を得やすくする」が33.0%と最も高く、次いで「福祉活動の相談・指導を担当する専門職員の充実を図る」が27.2%、「困っている人と助けることのできる人をつなぐ人材を育成する」が26.4%となっています。



○その他

- ・生活の為に、あくせくと働いている者にとって、町の方から押しつけられると負担になる。ゆとりある暮らしをしている人にとっては、助け合いも可能でしょう。
- ・町がすること、住民ができることを明確にする。「今まではこうしていたから…」という考え方の払拭。
- ・手助けをする人・される人の正しい距離間を正しく学ぶ事。
- ・福祉、介護及び社会保障に関する、スクールを作る。※今は必要なくとも、先に不安がある人や、シングルマザー支援がほしい人等を対象に支援する側や受ける人が学べる環境を作る。
- ・なるべく地域の人と支え合わず、プロにお願いした方がもめごとがおきなくて良いような気がします。が、子供が福祉とは何かを学ぶことは賛成です。
- ・助けを求める人が、「助けを求めていることを周囲の人が知れる」仕組みをつくる。
- ・子供福祉の充実 など

【地域における支え合い、助け合い活動の活発化のために重要だと思うこと（性別／年齢階級別／在住の小学校区別）】

性別にみると、「地域における福祉活動の活動費・運営費などの資金的な援助を行う」の割合は、女性は17.0%であるのに対し、男性は26.7%で高くなっています。

年齢階級別にみると、「困っている人や、助け合いの場や組織の情報を得やすくする」の割合は50～59歳で40.7%と最も高くなっています。

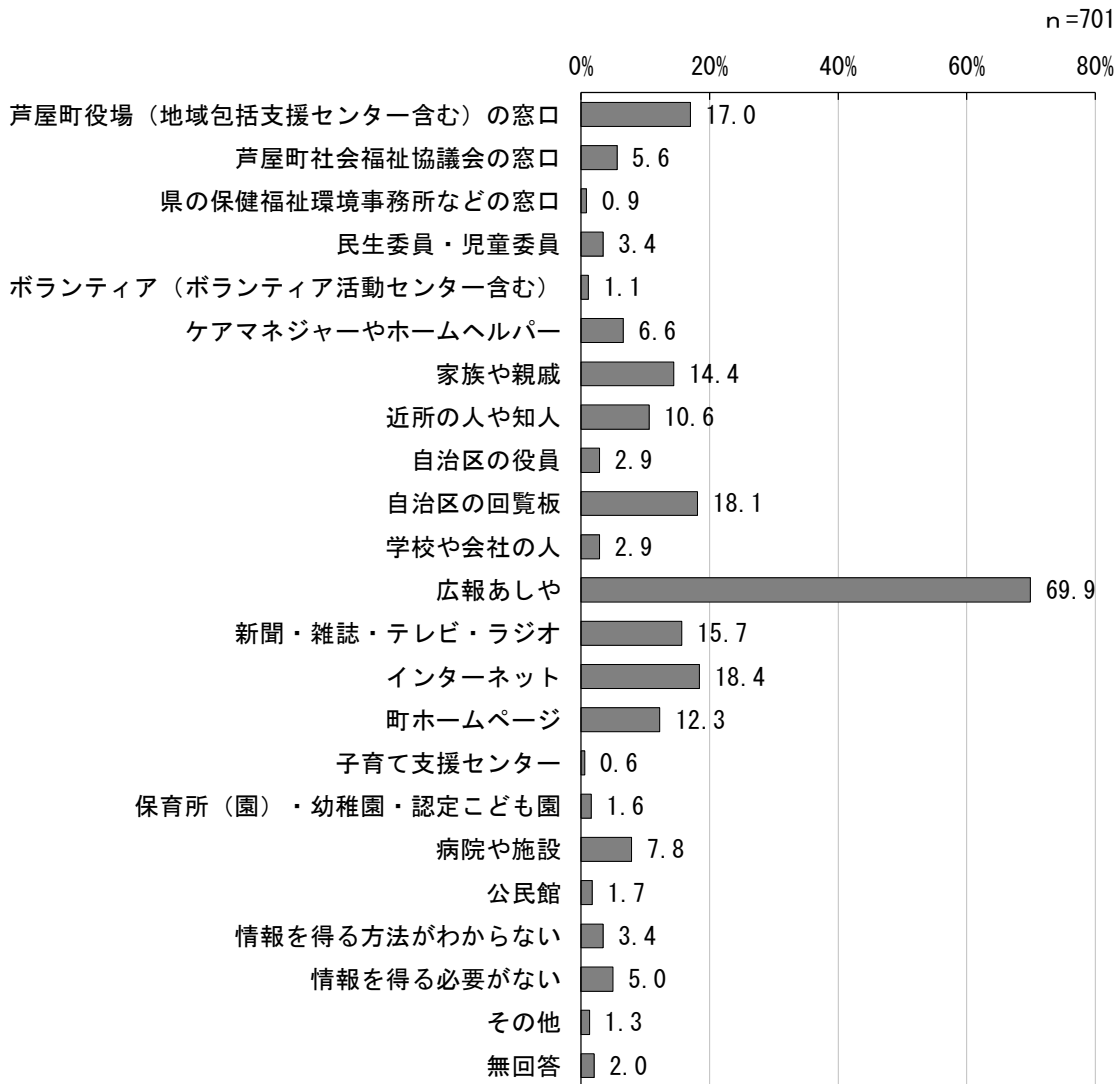
上段：人 下段：%		全体	地域における福祉活動の意義と重要性をもっとPRする	地域でボランティアなどの活動拠点となる場所を整備する	地域における福祉活動の活動費・運営費などの資金的な援助を行う	リーダーや福祉活動に携わる人を養成する	福祉活動の相談・指導を担当する専門職員の充実を図る	困っている人と助け合いのできる人をつなぐ人材を育成する	困っている人や、助け合いの場や組織の情報を得やすくする	介護やボランティア活動の方法などに関する研修を行う	学校教育や社会教育での福祉教育を充実する	その他	特になし	無回答
全体		701 100.0%	176 25.1%	173 24.7%	149 21.3%	115 16.4%	191 27.2%	185 26.4%	231 33.0%	54 7.7%	118 16.8%	26 3.7%	65 9.3%	27 3.9%
性別	男性	311 100.0%	93 29.9%	83 26.7%	83 26.7%	59 19.0%	80 25.7%	79 25.4%	94 30.2%	27 8.7%	49 15.8%	15 4.8%	30 9.6%	5 1.6%
	女性	388 100.0%	83 21.4%	90 23.2%	66 17.0%	56 14.4%	111 28.6%	106 27.3%	137 35.3%	27 7.0%	69 17.8%	11 2.8%	35 9.0%	20 5.2%
年齢階級	18～29歳	63 100.0%	12 19.0%	21 33.3%	17 27.0%	9 14.3%	16 25.4%	19 30.2%	16 25.4%	5 7.9%	18 28.6%	1 1.6%	3 4.8%	1 1.6%
	30～39歳	83 100.0%	13 15.7%	25 30.1%	24 28.9%	10 12.0%	16 19.3%	24 28.9%	28 33.7%	6 7.2%	25 30.1%	2 2.4%	7 8.4%	0 0.0%
	40～49歳	83 100.0%	18 21.7%	16 19.3%	23 27.7%	11 13.3%	33 39.8%	21 25.3%	31 37.3%	2 2.4%	11 13.3%	3 3.6%	11 13.3%	1 1.2%
	50～59歳	108 100.0%	24 22.2%	33 30.6%	21 19.4%	22 20.4%	32 29.6%	30 27.8%	44 40.7%	8 7.4%	21 19.4%	2 1.9%	9 8.3%	3 2.8%
	60～69歳	129 100.0%	42 32.6%	36 27.9%	30 23.3%	25 19.4%	45 34.9%	34 26.4%	37 28.7%	12 9.3%	15 11.6%	5 3.9%	11 8.5%	2 1.6%
	70歳以上	228 100.0%	65 28.5%	42 18.4%	33 14.5%	37 16.2%	48 21.1%	56 24.6%	72 31.6%	21 9.2%	26 11.4%	13 5.7%	24 10.5%	18 7.9%
	在住の小学校区	芦屋小学校区	192 100.0%	46 24.0%	51 26.6%	36 18.8%	38 19.8%	56 29.2%	55 28.6%	61 31.8%	14 7.3%	33 17.2%	7 3.6%	19 9.9%
芦屋東小学校区		176 100.0%	44 25.0%	41 23.3%	42 23.9%	27 15.3%	49 27.8%	42 23.9%	67 38.1%	16 9.1%	23 13.1%	7 4.0%	17 9.7%	3 1.7%
山鹿小学校区		303 100.0%	82 27.1%	76 25.1%	66 21.8%	66 21.8%	48 15.8%	75 24.8%	81 26.7%	24 7.9%	59 19.5%	11 3.6%	24 7.9%	10 3.3%

5 福祉サービスについて

(1) 福祉サービス情報の入手先

問 13 あなたは、現在「福祉サービス」に関する情報をどこから（どのようにして）入手していますか。（あてはまるものすべてに○）

福祉サービス情報の入手先については、「広報あしや」が69.9%と最も高く、次いで「インターネット」が18.4%、「自治区の見板」が18.1%となっています。



○その他

職場から／民間団体から／入手していない／情報を知らせてほしい など

【福祉サービス情報の入手先（性別／年齢階級別／在住の小学校区別）】

すべての属性において、「広報あしや」の割合が最も高くなっています。

性別にみると、「病院や施設」の割合は、男性は5.1%であるのに対し、女性は10.1%で5ポイント高くなっています。

在住の小学校区別にみると、「自治区の見聞板」の割合は芦屋小学校区で23.4%と最も高く、最も低い割合を示している芦屋東小学校区（11.9%）より11.5ポイント高くなっています。

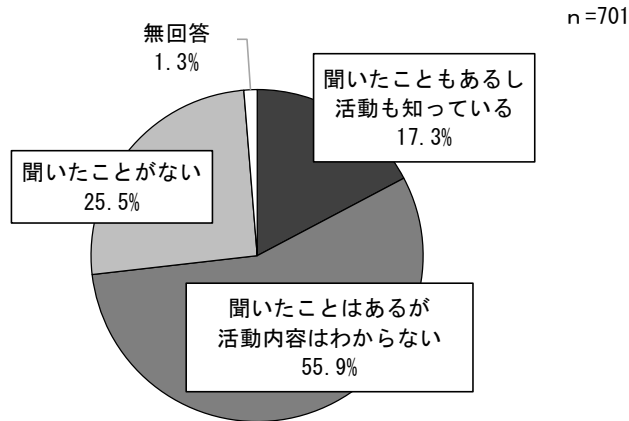
上段：人 下段：%		全体	芦屋町役場（地域包括支援センター含む）の窓口	芦屋町社会福祉協議会の窓口	県の保健福祉環境事務所などの窓口	民生委員・児童委員	ボランティア（ボランティア活動センター含む）	ケアマネジャーやホームヘルパー	家族や親戚	近所の人や知人	自治区の役員	自治区の見聞板	学校や会社の人	広報あしや
全体		701 100.0%	119 17.0%	39 5.6%	6 0.9%	24 3.4%	8 1.1%	46 6.6%	101 14.4%	74 10.6%	20 2.9%	127 18.1%	20 2.9%	490 69.9%
性別	男性	311 100.0%	51 16.4%	16 5.1%	4 1.3%	10 3.2%	3 1.0%	13 4.2%	49 15.8%	24 7.7%	8 2.6%	64 20.6%	5 1.6%	212 68.2%
	女性	388 100.0%	68 17.5%	23 5.9%	2 0.5%	14 3.6%	5 1.3%	33 8.5%	52 13.4%	50 12.9%	12 3.1%	63 16.2%	15 3.9%	278 71.6%
年齢階級	18～29歳	63 100.0%	4 6.3%	1 1.6%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.6%	0 0.0%	14 22.2%	1 1.6%	0 0.0%	2 3.2%	3 4.8%	29 46.0%
	30～39歳	83 100.0%	8 9.6%	1 1.2%	0 0.0%	2 2.4%	0 0.0%	2 2.4%	15 18.1%	10 12.0%	0 0.0%	11 13.3%	3 3.6%	61 73.5%
	40～49歳	83 100.0%	13 15.7%	4 4.8%	2 2.4%	2 2.4%	2 2.4%	7 8.4%	17 20.5%	7 8.4%	4 4.8%	11 13.3%	4 4.8%	52 62.7%
	50～59歳	108 100.0%	15 13.9%	2 1.9%	0 0.0%	3 2.8%	1 0.9%	13 12.0%	11 10.2%	12 11.1%	2 1.9%	24 22.2%	7 6.5%	77 71.3%
	60～69歳	129 100.0%	28 21.7%	7 5.4%	0 0.0%	4 3.1%	0 0.0%	7 5.4%	14 10.9%	12 9.3%	3 2.3%	24 18.6%	2 1.6%	95 73.6%
	70歳以上	228 100.0%	51 22.4%	24 10.5%	4 1.8%	13 5.7%	4 1.8%	17 7.5%	28 12.3%	32 14.0%	11 4.8%	54 23.7%	0 0.0%	173 75.9%
在住の小学校区	芦屋小学校区	192 100.0%	31 16.1%	11 5.7%	3 1.6%	10 5.2%	3 1.6%	9 4.7%	32 16.7%	25 13.0%	8 4.2%	45 23.4%	11 5.7%	136 70.8%
	芦屋東小学校区	176 100.0%	28 15.9%	11 6.3%	1 0.6%	6 3.4%	0 0.0%	16 9.1%	24 13.6%	21 11.9%	5 2.8%	21 11.9%	5 2.8%	122 69.3%
	山鹿小学校区	303 100.0%	54 17.8%	14 4.6%	2 0.7%	8 2.6%	5 1.7%	19 6.3%	44 14.5%	24 7.9%	6 2.0%	59 19.5%	4 1.3%	217 71.6%
上段：人 下段：%		全体	新聞・雑誌・テレビ・ラジオ	インターネット	町ホームページ	子育て支援センター	保育所（園）・幼稚園・認定こども園	病院や施設	公民館	情報を得る方法がわからない	情報を得る必要がない	その他	無回答	
全体		701 100.0%	110 15.7%	129 18.4%	86 12.3%	4 0.6%	11 1.6%	55 7.8%	12 1.7%	24 3.4%	35 5.0%	9 1.3%	14 2.0%	
性別	男性	311 100.0%	48 15.4%	57 18.3%	33 10.6%	2 0.6%	2 0.6%	16 5.1%	5 1.6%	14 4.5%	21 6.8%	2 0.6%	2 0.6%	
	女性	388 100.0%	62 16.0%	72 18.6%	53 13.7%	2 0.5%	9 2.3%	39 10.1%	7 1.8%	10 2.6%	14 3.6%	7 1.8%	10 2.6%	
年齢階級	18～29歳	63 100.0%	6 9.5%	22 34.9%	7 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	4 6.3%	0 0.0%	8 12.7%	7 11.1%	1 1.6%	0 0.0%	
	30～39歳	83 100.0%	7 8.4%	24 28.9%	21 25.3%	2 2.4%	10 12.0%	1 1.2%	0 0.0%	2 2.4%	6 7.2%	1 1.2%	1 1.2%	
	40～49歳	83 100.0%	10 12.0%	21 25.3%	11 13.3%	0 0.0%	0 0.0%	12 14.5%	2 2.4%	2 2.4%	9 10.8%	1 1.2%	0 0.0%	
	50～59歳	108 100.0%	15 13.9%	35 32.4%	24 22.2%	1 0.9%	1 0.9%	8 7.4%	0 0.0%	2 1.9%	2 1.9%	2 1.9%	2 1.9%	
	60～69歳	129 100.0%	19 14.7%	18 14.0%	12 9.3%	0 0.0%	0 0.0%	8 6.2%	1 0.8%	5 3.9%	5 3.9%	1 0.8%	1 0.8%	
	70歳以上	228 100.0%	51 22.4%	7 3.1%	9 3.9%	9 4.0%	1 0.4%	0 0.0%	20 8.8%	8 3.5%	5 2.2%	6 2.6%	3 1.3%	7 3.1%
在住の小学校区	芦屋小学校区	192 100.0%	32 16.7%	34 17.7%	24 12.5%	1 0.5%	4 2.1%	18 9.4%	4 2.1%	5 2.6%	12 6.3%	3 1.6%	1 0.5%	
	芦屋東小学校区	176 100.0%	26 14.8%	32 18.2%	19 10.8%	1 0.6%	3 1.7%	15 8.5%	3 1.7%	10 5.7%	5 2.8%	3 1.7%	3 1.7%	
	山鹿小学校区	303 100.0%	49 16.2%	59 19.5%	42 13.9%	2 0.7%	4 1.3%	20 6.6%	4 1.3%	8 2.6%	16 5.3%	3 1.0%	5 1.7%	

6 地域福祉に関わる機関や団体について

(1) 芦屋町社会福祉協議会の活動の認知

問 14 あなたは、芦屋町社会福祉協議会の活動についてご存知ですか。(いずれか1つに○)

芦屋町社会福祉協議会の活動の認知については、「聞いたことはあるが活動内容はわからない」が55.9%と最も高く、次いで「聞いたことがない」が25.5%、「聞いたこともあるし活動も知っている」が17.3%、「聞いたこともあるし活動も知っている」が17.3%となっています。



【芦屋町社会福祉協議会の活動の認知（性別／年齢階級別／在住の小学校区別）】

年齢階級別にみると、18～29歳と30～39歳では「聞いたことがない」の割合が最も高くなっています。

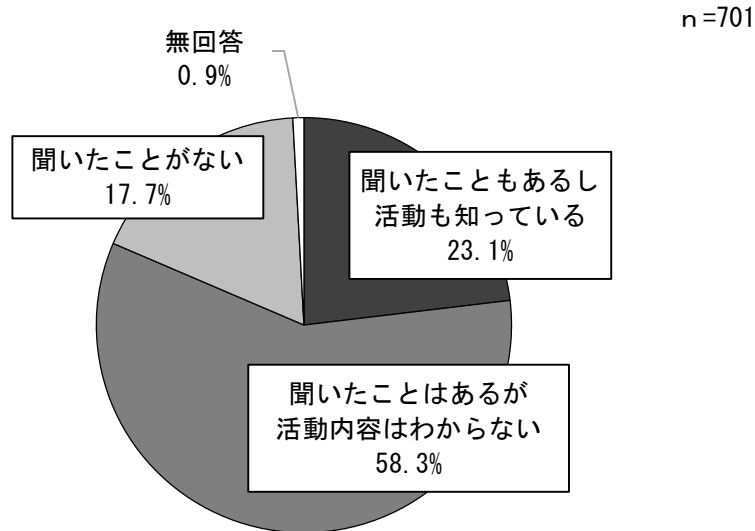
在住の小学校区別にみると、「聞いたこともあるし活動も知っている」の割合は芦屋小学校区で23.3%と最も高く、他の小学校区より高い割合を示しています。

上段：人 下段：%		全体	聞いたこともあるし活動も知っている	聞いたことはあるが活動内容はわからない	聞いたことがない	無回答
全体		701 100.0%	121 17.3%	392 55.9%	179 25.5%	9 1.3%
性別	男性	311 100.0%	55 17.7%	167 53.7%	87 28.0%	2 0.6%
	女性	388 100.0%	66 17.0%	225 58.0%	92 23.7%	5 1.3%
年齢階級	18～29歳	63 100.0%	5 7.9%	24 38.1%	34 54.0%	0 0.0%
	30～39歳	83 100.0%	7 8.4%	37 44.6%	39 47.0%	0 0.0%
	40～49歳	83 100.0%	9 10.8%	54 65.1%	20 24.1%	0 0.0%
	50～59歳	108 100.0%	22 20.4%	65 60.2%	20 18.5%	1 0.9%
	60～69歳	129 100.0%	14 10.9%	82 63.6%	33 25.6%	0 0.0%
	70歳以上	228 100.0%	64 28.1%	127 55.7%	31 13.6%	6 2.6%
在住の小学校区	芦屋小学校区	192 100.0%	30 15.6%	117 60.9%	43 22.4%	2 1.0%
	芦屋東小学校区	176 100.0%	41 23.3%	87 49.4%	47 26.7%	1 0.6%
	山鹿小学校区	303 100.0%	47 15.5%	174 57.4%	79 26.1%	3 1.0%

(2) 民生委員・児童委員の活動の認知

問 15 あなたは、民生委員・児童委員が行う活動についてご存知ですか。(いずれか1つに○)

民生委員・児童委員の活動の認知については、「聞いたことはあるが活動内容はわからない」が58.3%と最も高く、次いで「聞いたこともあるし活動も知っている」が23.1%、「聞いたことがない」が17.7%となっています。



【民生委員・児童委員の活動の認知（性別／年齢階級別／在住の小学校区別）】

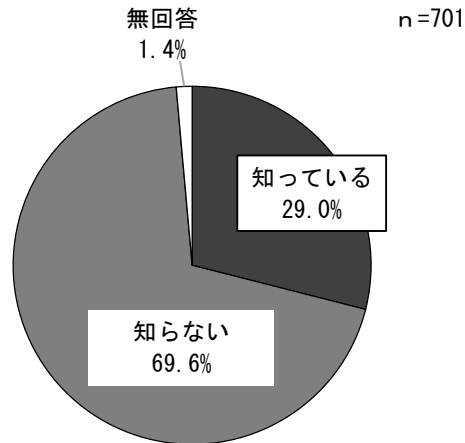
年齢階級別にみると、18～29歳では「聞いたことがない」の割合が47.6%で最も高くなっています。また、69歳までの年齢階級では、「聞いたことはあるが活動内容はわからない」の割合は年齢が上がるにつれて高くなる傾向がみられます。

上段：人 下段：%		全体	聞いたこ ともある し活動も 知っている	聞いたこ とはある が活動内 容はわか らない	聞いたこ とがない	無回答
全体		701 100.0%	162 23.1%	409 58.3%	124 17.7%	6 0.9%
性別	男性	311 100.0%	74 23.8%	167 53.7%	69 22.2%	1 0.3%
	女性	388 100.0%	88 22.7%	242 62.4%	55 14.2%	3 0.8%
年齢階級	18～29歳	63 100.0%	9 14.3%	24 38.1%	30 47.6%	0 0.0%
	30～39歳	83 100.0%	13 15.7%	37 44.6%	33 39.8%	0 0.0%
	40～49歳	83 100.0%	15 18.1%	57 68.7%	11 13.3%	0 0.0%
	50～59歳	108 100.0%	34 31.5%	65 60.2%	8 7.4%	1 0.9%
	60～69歳	129 100.0%	22 17.1%	88 68.2%	18 14.0%	1 0.8%
	70歳以上	228 100.0%	68 29.8%	135 59.2%	23 10.1%	2 0.9%
在住の小学校区	芦屋小学校区	192 100.0%	47 24.5%	112 58.3%	32 16.7%	1 0.5%
	芦屋東小学校区	176 100.0%	41 23.3%	100 56.8%	35 19.9%	0 0.0%
	山鹿小学校区	303 100.0%	66 21.8%	183 60.4%	51 16.8%	3 1.0%

(3) 居住地域の担当民生委員・児童委員の認知

問 16 あなたは、お住まいの地域の担当民生委員・児童委員をご存知ですか。(いずれか1つに○)

居住地域の担当民生委員・児童委員の認知については、「知らない」が 69.6%、「知っている」が 29.0%となっています。



【居住地域の民生委員・児童委員の認知（性別／年齢階級別／在住の小学校区別）】

年齢階級別にみると、59歳まででは年齢が上がるにつれて「知らない」の割合が低くなっていく傾向がみられます。

在住の小学校区別にみると、「知っている」の割合は山鹿小学校区で 25.1%と最も低く、最も高い割合を示している芦屋小学校区より 8.8ポイント低くなっています。

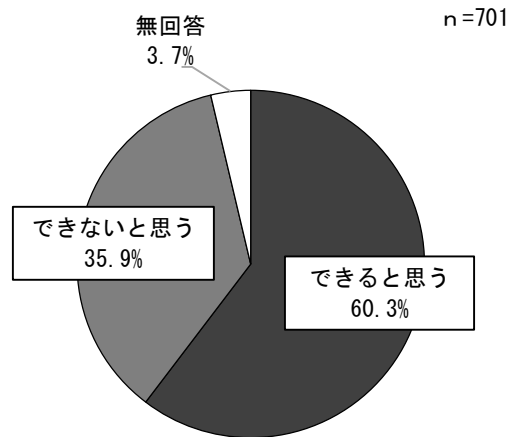
上段：人 下段：%		全体	知っている	知らない	無回答
全体		701 100.0%	203 29.0%	488 69.6%	10 1.4%
性別	男性	311 100.0%	78 25.1%	230 74.0%	3 1.0%
	女性	388 100.0%	125 32.2%	258 66.5%	5 1.3%
年齢階級	18～29歳	63 100.0%	6 9.5%	57 90.5%	0 0.0%
	30～39歳	83 100.0%	15 18.1%	68 81.9%	0 0.0%
	40～49歳	83 100.0%	21 25.3%	62 74.7%	0 0.0%
	50～59歳	108 100.0%	29 26.9%	78 72.2%	1 0.9%
	60～69歳	129 100.0%	29 22.5%	97 75.2%	3 2.3%
	70歳以上	228 100.0%	103 45.2%	121 53.1%	4 1.8%
在住の小学校区	芦屋小学校区	192 100.0%	65 33.9%	125 65.1%	2 1.0%
	芦屋東小学校区	176 100.0%	57 32.4%	119 67.6%	0 0.0%
	山鹿小学校区	303 100.0%	76 25.1%	221 72.9%	6 2.0%

7 災害時の避難について

(1) 災害などの緊急事態発生時に適切に避難ができるか

問 17 もし災害などの緊急事態が発生した場合、あなたは適切に避難できると思いますか。(いずれか1つに○)

災害などの緊急事態発生時に適切に避難ができるかについては、「できると思う」が60.3%、「出来ないと思う」が35.9%となっています。



【災害などの緊急事態発生時に適切に避難ができるか（性別／年齢階級別／在住の小学校区別）】

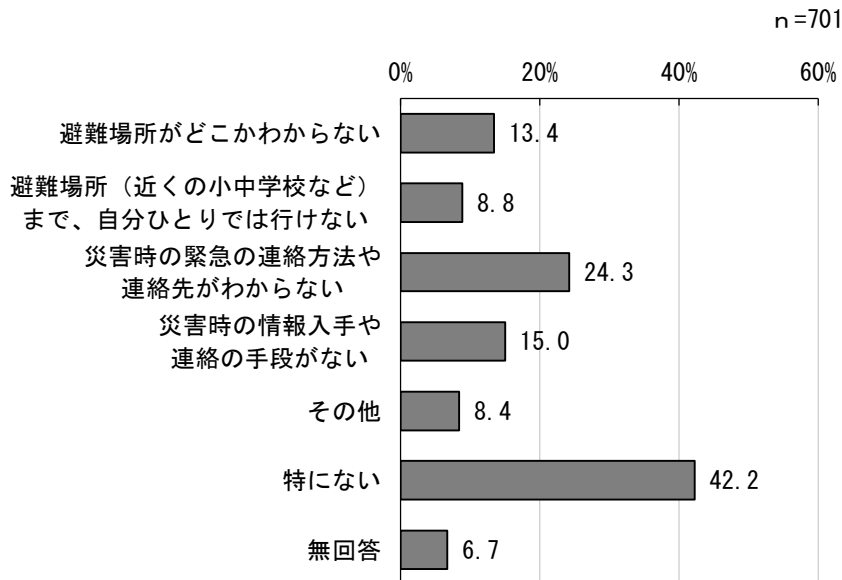
性別にみると、「出来ないと思う」の割合は女性（41.8%）が男性（28.9%）よりも高くなっています。

上段：人 下段：%		全体	できると思う	出来ないと思う	無回答
全体		701 100.0%	423 60.3%	252 35.9%	26 3.7%
性別	男性	311 100.0%	211 67.8%	90 28.9%	10 3.2%
	女性	388 100.0%	212 54.6%	162 41.8%	14 3.6%
年齢階級	18～29歳	63 100.0%	36 57.1%	26 41.3%	1 1.6%
	30～39歳	83 100.0%	53 63.9%	30 36.1%	0 0.0%
	40～49歳	83 100.0%	43 51.8%	37 44.6%	3 3.6%
	50～59歳	108 100.0%	68 63.0%	37 34.3%	3 2.8%
	60～69歳	129 100.0%	83 64.3%	42 32.6%	4 3.1%
	70歳以上	228 100.0%	137 60.1%	78 34.2%	13 5.7%
在住の小学校区	芦屋小学校区	192 100.0%	114 59.4%	75 39.1%	3 1.6%
	芦屋東小学校区	176 100.0%	102 58.0%	64 36.4%	10 5.7%
	山鹿小学校区	303 100.0%	193 63.7%	100 33.0%	10 3.3%

(2) 災害発生時に困ること

問 18 地震や台風などの災害発生時に、困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

災害発生時に困ることについては、「特にない」が42.2%と最も高く、次いで「災害時の緊急の連絡方法や連絡先がわからない」が24.3%、「災害時の情報入手や連絡の手段がない」が15.0%となっています。「その他」については、飼っているペットの心配をする回答が多くみられました。



○その他

- ・ ペットと一緒に避難できるか
- ・ 農家なので、農作物などへの悪影響
- ・ 高齢の母が居るため、その介助
- ・ 寝たきりの父親を連れて行く場所がない。
- ・ 1人で子ども達を連れて行くことができるか不安
- ・ 透析治療を受けられるか
- ・ 浸水しやすい地域に住んでおり、夜が不安
- ・ 家屋の損壊 など

【災害発生時に困ること（性別／年齢階級別／在住の小学校区別）】

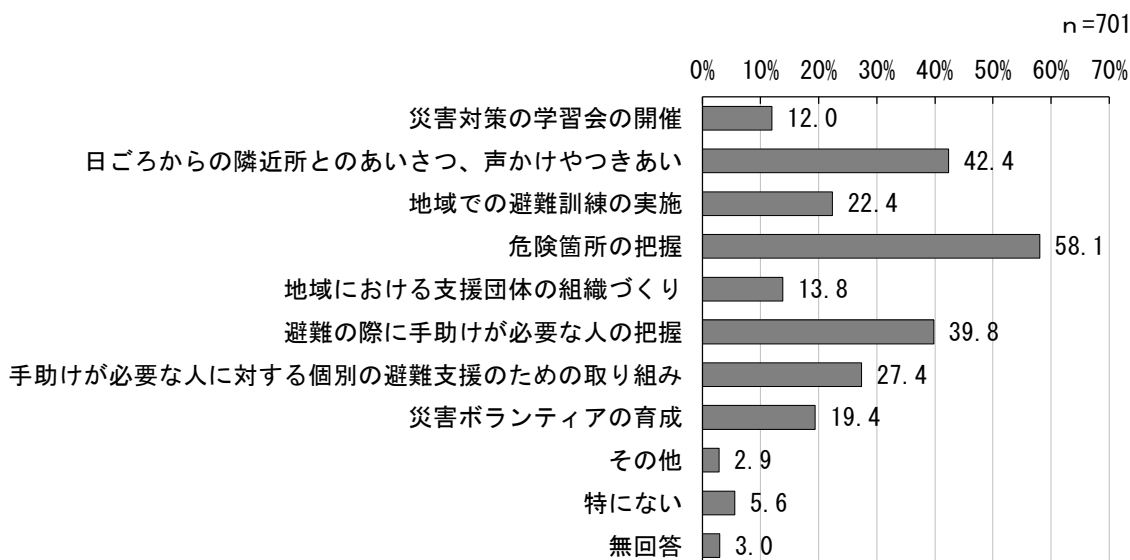
「避難場所（近くの小中学校など）まで、自分ひとりでは行けない」の割合を性別にみると、女性（11.1%）が男性（6.1%）より5ポイント高くなっています。年齢階級別にみると、70歳以上で18.0%と最も高くなっています。

上段：人 下段：%		全体	避難場所 がどこか わからない	避難場所 (近くの 小中学校 など)ま で、自分 ひとり では行 けない	災害時の 緊急の連 絡方法 や連絡先 がわから ない	災害時の 情報入手 や連絡の 手段がな い	その他	特にな い	無回答
全体		701 100.0%	94 13.4%	62 8.8%	170 24.3%	105 15.0%	59 8.4%	296 42.2%	47 6.7%
性別	男性	311 100.0%	38 12.2%	19 6.1%	79 25.4%	40 12.9%	28 9.0%	149 47.9%	12 3.9%
	女性	388 100.0%	56 14.4%	43 11.1%	91 23.5%	65 16.8%	31 8.0%	147 37.9%	33 8.5%
年齢階級	18～29歳	63 100.0%	10 15.9%	2 3.2%	13 20.6%	12 19.0%	7 11.1%	30 47.6%	1 1.6%
	30～39歳	83 100.0%	16 19.3%	4 4.8%	14 16.9%	11 13.3%	6 7.2%	46 55.4%	0 0.0%
	40～49歳	83 100.0%	10 12.0%	6 7.2%	24 28.9%	14 16.9%	13 15.7%	33 39.8%	5 6.0%
	50～59歳	108 100.0%	9 8.3%	7 6.5%	28 25.9%	13 12.0%	10 9.3%	54 50.0%	5 4.6%
	60～69歳	129 100.0%	17 13.2%	2 1.6%	45 34.9%	19 14.7%	11 8.5%	48 37.2%	5 3.9%
	70歳以上	228 100.0%	30 13.2%	41 18.0%	45 19.7%	35 15.4%	12 5.3%	83 36.4%	29 12.7%
在住の小学校区	芦屋小学校区	192 100.0%	30 15.6%	16 8.3%	46 24.0%	23 12.0%	19 9.9%	80 41.7%	11 5.7%
	芦屋東小学校区	176 100.0%	24 13.6%	18 10.2%	44 25.0%	30 17.0%	14 8.0%	77 43.8%	12 6.8%
	山鹿小学校区	303 100.0%	35 11.6%	26 8.6%	72 23.8%	48 15.8%	19 6.3%	134 44.2%	19 6.3%

(3) 災害発生時の備えとしてどのようなことが重要だと思うか

問 19 地震や台風などの災害発生時の備えとして、どのようなことが重要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

災害発生時の備えとしてどのようなことが重要だと思うかについては、「危険箇所の把握」が 58.1%と最も高く、次いで「日ごろからの隣近所とのあいさつ、声かけやつきあい」が 42.4%、「避難の際に手助けが必要な人の把握」が 39.8%となっています。「その他」については、水や非常食などの備蓄品や防災グッズの準備をあげている方が多くみられました。



○その他

- ・災害時の備蓄品（水や非常食）
- ・防災グッズを所持しておくこと、また入手困難の住民に向けて、防災グッズの貸出や配給など。
- ・災害時の対応マニュアル等の作成及び常備
- ・安全な場所、ルートの確保、知識 など

【災害発生時の備えとしてどのようなことが重要だと思うか（性別／年齢階級別／在住の小学校区別）】

性別にみると、「避難の際に手助けが必要な人の把握」の割合は男性 33.8%に対し女性が 44.8%で、11 ポイント高くなっています。

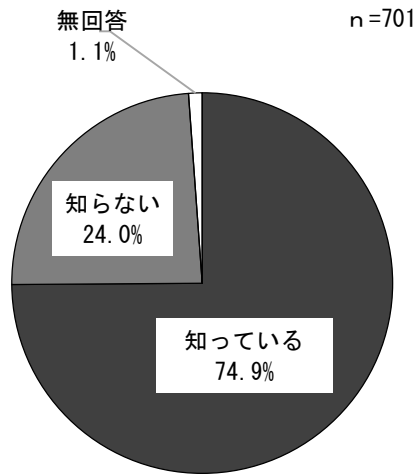
年齢階級別にみると、「日ごろからの隣近所とのあいさつ、声かけやつきあい」は 70 歳以上が 55.7%と最も高くなっています。

上段：人 下段：%		全体	災害対策 の学習会 の開催	日ごろか らの隣近 所とのあ いさつ、 声かけや つきあい	地域での 避難訓練 の実施	危険箇所 の把握	地域にお ける支援 団体の組 織づくり	避難の際 に手助け が必要な 人の把握	手助けが 必要な人 に対する 個別の避 難支援の ための取 り組み	災害ボラ ンティア の育成	その他	特にな い	無回答
全体		701 100.0%	84 12.0%	297 42.4%	157 22.4%	407 58.1%	97 13.8%	279 39.8%	192 27.4%	136 19.4%	20 2.9%	39 5.6%	21 3.0%
性別	男性	311 100.0%	37 11.9%	125 40.2%	64 20.6%	180 57.9%	52 16.7%	105 33.8%	69 22.2%	57 18.3%	15 4.8%	22 7.1%	7 2.3%
	女性	388 100.0%	47 12.1%	172 44.3%	93 24.0%	227 58.5%	45 11.6%	174 44.8%	123 31.7%	79 20.4%	5 1.3%	17 4.4%	12 3.1%
年齢階級	18～29歳	63 100.0%	11 17.5%	16 25.4%	16 25.4%	45 71.4%	9 14.3%	23 36.5%	13 20.6%	21 33.3%	4 6.3%	5 7.9%	0 0.0%
	30～39歳	83 100.0%	14 16.9%	35 42.2%	23 27.7%	57 68.7%	10 12.0%	33 39.8%	25 30.1%	17 20.5%	0 0.0%	4 4.8%	1 1.2%
	40～49歳	83 100.0%	7 8.4%	23 27.7%	19 22.9%	56 67.5%	16 19.3%	35 42.2%	24 28.9%	15 18.1%	6 7.2%	4 4.8%	2 2.4%
	50～59歳	108 100.0%	15 13.9%	41 38.0%	24 22.2%	73 67.6%	12 11.1%	55 50.9%	43 39.8%	25 23.1%	2 1.9%	5 4.6%	2 1.9%
	60～69歳	129 100.0%	13 10.1%	53 41.1%	25 19.4%	68 52.7%	22 17.1%	49 38.0%	35 27.1%	26 20.2%	4 3.1%	11 8.5%	3 2.3%
	70歳以上	228 100.0%	24 10.5%	127 55.7%	49 21.5%	103 45.2%	28 12.3%	83 36.4%	52 22.8%	31 13.6%	4 1.8%	10 4.4%	11 4.8%
	在住の小学校区	芦屋小学校区	192 100.0%	19 9.9%	79 41.1%	53 27.6%	106 55.2%	21 10.9%	77 40.1%	53 27.6%	38 19.8%	8 4.2%	11 5.7%
芦屋東小学校区		176 100.0%	26 14.8%	88 50.0%	40 22.7%	99 56.3%	29 16.5%	78 44.3%	42 23.9%	30 17.0%	3 1.7%	11 6.3%	5 2.8%
山鹿小学校区		303 100.0%	34 11.2%	116 38.3%	60 19.8%	186 61.4%	39 12.9%	117 38.6%	86 28.4%	65 21.5%	9 3.0%	17 5.6%	8 2.6%

(4) 居住地区の避難場所の認知

問 20 災害時のあなたの地区の避難場所を知っていますか。(いずれか1つに○)

居住地区の避難場所の認知については、「知っている」が74.9%、「知らない」が24.0%となっています。



【居住地区の避難場所の認知 (性別/年齢階級別/在住の小学校区別)】

年齢階級別にみると、「知らない」の割合は60～69歳で33.3%と最も高く、唯一3割を超えています。

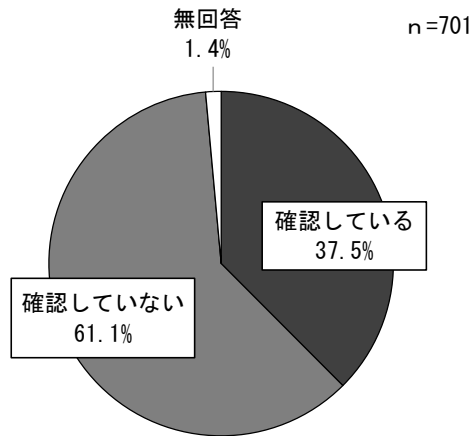
在住の小学校区別にみると、「知っている」の割合は山鹿小学校区で82.8%と最も高く、他の小学校区より高い割合を示しています。

上段：人 下段：%		全体	知っている	知らない	無回答
全体		701 100.0%	525 74.9%	168 24.0%	8 1.1%
性別	男性	311 100.0%	237 76.2%	72 23.2%	2 0.6%
	女性	388 100.0%	288 74.2%	96 24.7%	4 1.0%
年齢階級	18～29歳	63 100.0%	47 74.6%	15 23.8%	1 1.6%
	30～39歳	83 100.0%	64 77.1%	19 22.9%	0 0.0%
	40～49歳	83 100.0%	64 77.1%	19 22.9%	0 0.0%
	50～59歳	108 100.0%	90 83.3%	16 14.8%	2 1.9%
	60～69歳	129 100.0%	85 65.9%	43 33.3%	1 0.8%
	70歳以上	228 100.0%	172 75.4%	54 23.7%	2 0.9%
在住の小学校区	芦屋小学校区	192 100.0%	133 69.3%	57 29.7%	2 1.0%
	芦屋東小学校区	176 100.0%	123 69.9%	52 29.5%	1 0.6%
	山鹿小学校区	303 100.0%	251 82.8%	49 16.2%	3 1.0%

(5) ハザードマップを確認しているか

問 21 芦屋町では、各種災害に対応したハザードマップを作成・配付していますが、日ごろから見やすいところに置き、内容を確認していますか。(いずれか1つに○)

ハザードマップを確認しているかについては、「確認していない」が61.1%、「確認している」が37.5%となっています。



【ハザードマップを確認しているか（性別／年齢階級別／在住の小中学校区別）】

「確認している」の割合をみると、年齢階級別では、70歳以上で50.9%と他の年齢階級より高くなっています。在住の小中学校区別では、山鹿小中学校区で40.3%と最も高く、他の小中学校区より高い割合を示しています。

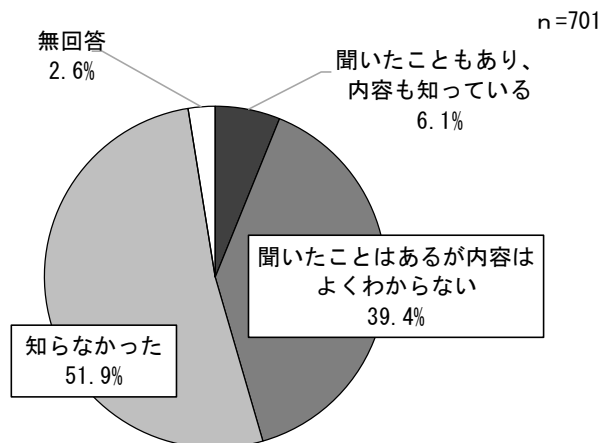
上段：人 下段：%		全体	確認して いる	確認して いない	無回答
全体		701 100.0%	263 37.5%	428 61.1%	10 1.4%
性別	男性	311 100.0%	128 41.2%	182 58.5%	1 0.3%
	女性	388 100.0%	135 34.8%	246 63.4%	7 1.8%
年齢階級	18～29歳	63 100.0%	11 17.5%	52 82.5%	0 0.0%
	30～39歳	83 100.0%	25 30.1%	58 69.9%	0 0.0%
	40～49歳	83 100.0%	19 22.9%	64 77.1%	0 0.0%
	50～59歳	108 100.0%	43 39.8%	63 58.3%	2 1.9%
	60～69歳	129 100.0%	48 37.2%	81 62.8%	0 0.0%
	70歳以上	228 100.0%	116 50.9%	106 46.5%	6 2.6%
在住の小中学校区	芦屋小中学校区	192 100.0%	65 33.9%	126 65.6%	1 0.5%
	芦屋東小中学校区	176 100.0%	68 38.6%	107 60.8%	1 0.6%
	山鹿小中学校区	303 100.0%	122 40.3%	176 58.1%	5 1.7%

8 生活困窮者の自立支援について

(1) 自立相談支援事務所の行う生活困窮者への支援の認知

問 22 自立相談支援事務所（困りごと相談室）の行う生活困窮者への支援について、あなたは知っていましたか。（いずれか1つに○）

自立相談支援事務所の行う生活困窮者への支援の認知については、「知らなかった」が51.9%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが内容はよくわからない」が39.4%、「聞いたこともあり、内容も知っている」が6.1%となっています。



【自立相談支援事務所の行う生活困窮者への支援の認知（性別／年齢階級別／在住の小学校区別）】

年齢階級別にみると、「聞いたことはあるが内容はよくわからない」の割合は、年齢が上がるにつれて高くなっていく傾向がみられます。

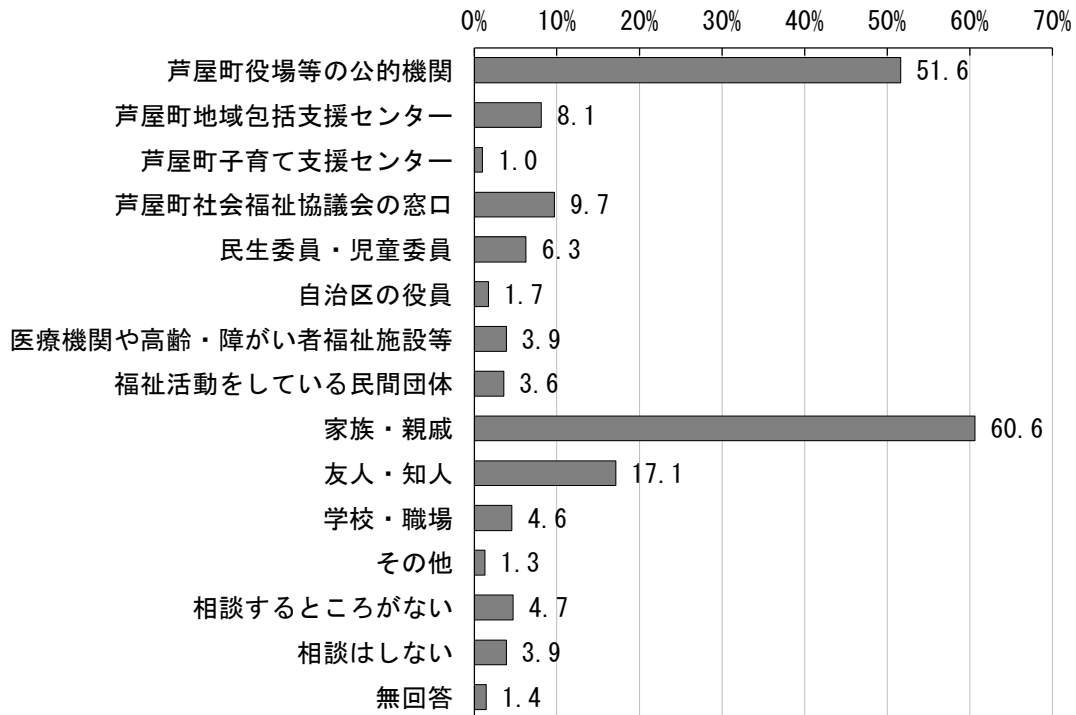
上段：人 下段：%		全体	聞いたこと もあり、内容 も知っている	聞いたこ とはある が内容は よくわか らない	知らな かった	無回答
全体		701 100.0%	43 6.1%	276 39.4%	364 51.9%	18 2.6%
性別	男性	311 100.0%	22 7.1%	120 38.6%	164 52.7%	5 1.6%
	女性	388 100.0%	21 5.4%	156 40.2%	200 51.5%	11 2.8%
年齢階級	18～29歳	63 100.0%	3 4.8%	12 19.0%	48 76.2%	0 0.0%
	30～39歳	83 100.0%	6 7.2%	25 30.1%	52 62.7%	0 0.0%
	40～49歳	83 100.0%	3 3.6%	25 30.1%	55 66.3%	0 0.0%
	50～59歳	108 100.0%	8 7.4%	43 39.8%	55 50.9%	2 1.9%
	60～69歳	129 100.0%	9 7.0%	58 45.0%	62 48.1%	0 0.0%
	70歳以上	228 100.0%	14 6.1%	113 49.6%	87 38.2%	14 6.1%
在住の小学校区	芦屋小学校区	192 100.0%	9 4.7%	71 37.0%	106 55.2%	6 3.1%
	芦屋東小学校区	176 100.0%	11 6.3%	69 39.2%	93 52.8%	3 1.7%
	山鹿小学校区	303 100.0%	20 6.6%	125 41.3%	154 50.8%	4 1.3%

(2) 生活状況が急変した場合の相談先

問 23 あなたの生活状況が急変し、生活費に困るようなことになったとき、どこ（誰）に相談しますか。（あてはまるものすべてに○）

生活状況が急変した場合の相談先については、「家族・親戚」が60.6%と最も高く、次いで「芦屋町役場等の公的機関」が51.6%、「友人・知人」が17.1%となっています。

n=701



○その他

自分の子／インターネット検索／どこにしていいいかわからない など

【生活状況が急変した場合の相談先（性別／年齢階級別／在住の小学校区別）】

年齢階級別にみると、「芦屋町役場等の公的機関」の割合は60～69歳で60.5%と最も高くなっています。

在住の小学校区別にみると、「芦屋町地域包括支援センター」の割合は芦屋東小学校区で10.2%と最も高く、唯一1割を超えています。

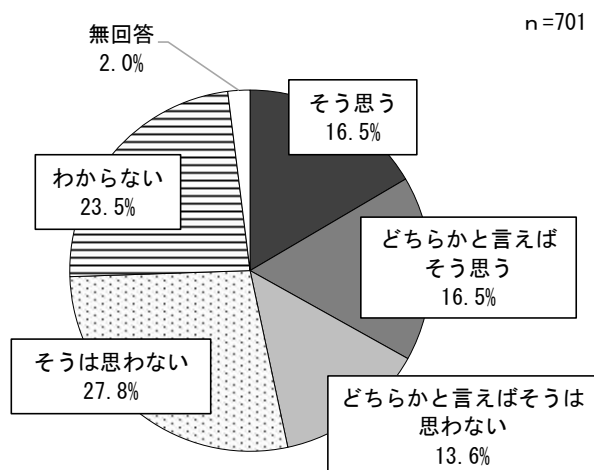
上段：人 下段：%		全体	芦屋町役場等の公的機関	芦屋町地域包括支援センター	芦屋町子育て支援センター	芦屋町社会福祉協議会の窓口	民生委員・児童委員	自治区の役員	医療機関や高齢・障がい者福祉施設等	福祉活動をしている民間団体
全体		701 100.0%	362 51.6%	57 8.1%	7 1.0%	68 9.7%	44 6.3%	12 1.7%	27 3.9%	25 3.6%
性別	男性	311 100.0%	155 49.8%	25 8.0%	3 1.0%	29 9.3%	16 5.1%	10 3.2%	10 3.2%	18 5.8%
	女性	388 100.0%	207 53.4%	32 8.2%	4 1.0%	39 10.1%	28 7.2%	2 0.5%	17 4.4%	7 1.8%
年齢階級	18～29歳	63 100.0%	24 38.1%	2 3.2%	0 0.0%	4 6.3%	2 3.2%	0 0.0%	2 3.2%	1 1.6%
	30～39歳	83 100.0%	44 53.0%	3 3.6%	3 3.6%	0 0.0%	1 1.2%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.4%
	40～49歳	83 100.0%	45 54.2%	7 8.4%	2 2.4%	8 9.6%	2 2.4%	1 1.2%	10 12.0%	5 6.0%
	50～59歳	108 100.0%	64 59.3%	7 6.5%	0 0.0%	4 3.7%	5 4.6%	2 1.9%	3 2.8%	3 2.8%
	60～69歳	129 100.0%	78 60.5%	14 10.9%	1 0.8%	14 10.9%	6 4.7%	3 2.3%	3 2.3%	6 4.7%
	70歳以上	228 100.0%	104 45.6%	24 10.5%	1 0.4%	37 16.2%	28 12.3%	6 2.6%	9 3.9%	8 3.5%
在住の小学校区	芦屋小学校区	192 100.0%	105 54.7%	13 6.8%	3 1.6%	17 8.9%	16 8.3%	4 2.1%	9 4.7%	8 4.2%
	芦屋東小学校区	176 100.0%	90 51.1%	18 10.2%	3 1.7%	21 11.9%	10 5.7%	4 2.3%	3 1.7%	7 4.0%
	山鹿小学校区	303 100.0%	154 50.8%	22 7.3%	1 0.3%	27 8.9%	17 5.6%	3 1.0%	13 4.3%	9 3.0%
上段：人 下段：%		全体	家族・親戚	友人・知人	学校・職場	その他	相談するところがない	相談はしない	無回答	
全体		701 100.0%	425 60.6%	120 17.1%	32 4.6%	9 1.3%	33 4.7%	27 3.9%	10 1.4%	
性別	男性	311 100.0%	177 56.9%	60 19.3%	10 3.2%	4 1.3%	21 6.8%	15 4.8%	2 0.6%	
	女性	388 100.0%	248 63.9%	60 15.5%	22 5.7%	5 1.3%	12 3.1%	12 3.1%	6 1.5%	
年齢階級	18～29歳	63 100.0%	49 77.8%	20 31.7%	8 12.7%	0 0.0%	3 4.8%	2 3.2%	0 0.0%	
	30～39歳	83 100.0%	60 72.3%	13 15.7%	10 12.0%	2 2.4%	2 2.4%	2 2.4%	0 0.0%	
	40～49歳	83 100.0%	53 63.9%	14 16.9%	7 8.4%	3 3.6%	5 6.0%	4 4.8%	0 0.0%	
	50～59歳	108 100.0%	68 63.0%	22 20.4%	3 2.8%	0 0.0%	5 4.6%	3 2.8%	1 0.9%	
	60～69歳	129 100.0%	63 48.8%	25 19.4%	1 0.8%	3 2.3%	7 5.4%	6 4.7%	0 0.0%	
	70歳以上	228 100.0%	127 55.7%	23 10.1%	1 0.4%	1 0.4%	11 4.8%	10 4.4%	7 3.1%	
在住の小学校区	芦屋小学校区	192 100.0%	111 57.8%	31 16.1%	8 4.2%	3 1.6%	12 6.3%	5 2.6%	2 1.0%	
	芦屋東小学校区	176 100.0%	107 60.8%	31 17.6%	7 4.0%	4 2.3%	1 0.6%	7 4.0%	1 0.6%	
	山鹿小学校区	303 100.0%	197 65.0%	55 18.2%	17 5.6%	2 0.7%	17 5.6%	12 4.0%	3 1.0%	

9 自殺対策について

(1) 自殺対策は自分自身に関わることだと思うか

問 24 自殺対策は自分自身に関わることだと思いますか。(いずれか1つに○)

自殺対策は自分自身に関わることだと思うかについては、「そうは思わない」が27.8%と最も高く、次いで「わからない」が23.5%、「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」が同率で16.5%、「どちらかと言えばそう思わない」が13.6%となっています。



【自殺対策は自分自身に関わることだと思うか（性別／年齢階級別／在住の小学校区別）】

性別にみると、「そう思う」の割合は女性が13.7%に対し男性が20.3%で、6.6ポイント高くなっています。

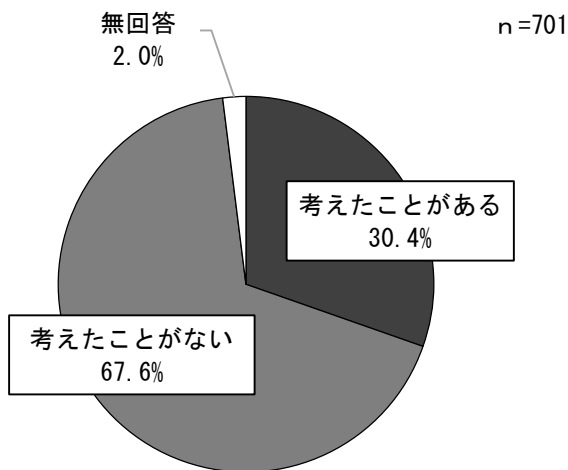
在住の小学校区別にみると、「どちらかと言えばそう思う」の割合は芦屋小学校区で20.3%と最も高くなっています。

上段：人 下段：%		全体	そう思う	どちらか と言えば そう思う	どちらか と言えば そうは思 わない	そうは思 わない	わからな い	無回答
全体		701	116	116	95	195	165	14
		100.0%	16.5%	16.5%	13.6%	27.8%	23.5%	2.0%
性別	男性	311	63	45	38	91	71	3
		100.0%	20.3%	14.5%	12.2%	29.3%	22.8%	1.0%
性別	女性	388	53	71	57	104	94	9
		100.0%	13.7%	18.3%	14.7%	26.8%	24.2%	2.3%
年齢階級	18～29歳	63	15	14	11	13	10	0
		100.0%	23.8%	22.2%	17.5%	20.6%	15.9%	0.0%
	30～39歳	83	13	14	13	23	20	0
		100.0%	15.7%	16.9%	15.7%	27.7%	24.1%	0.0%
	40～49歳	83	18	13	8	19	23	2
		100.0%	21.7%	15.7%	9.6%	22.9%	27.7%	2.4%
	50～59歳	108	17	16	16	37	21	1
	100.0%	15.7%	14.8%	14.8%	34.3%	19.4%	0.9%	
60～69歳	129	22	23	19	37	28	0	
		100.0%	17.1%	17.8%	14.7%	28.7%	21.7%	0.0%
	70歳以上	228	30	34	27	66	62	9
	100.0%	13.2%	14.9%	11.8%	28.9%	27.2%	3.9%	
在住の小学校区	芦屋小学校区	192	37	39	26	46	41	3
		100.0%	19.3%	20.3%	13.5%	24.0%	21.4%	1.6%
	芦屋東小学校区	176	29	22	24	59	40	2
		100.0%	16.5%	12.5%	13.6%	33.5%	22.7%	1.1%
山鹿小学校区	303	48	48	42	82	79	4	
	100.0%	15.8%	15.8%	13.9%	27.1%	26.1%	1.3%	

(2) 自殺願望またはそれに近いことを考えた経験の有無

問 25 あなたは、これまでの人生の中で、自殺したい、またはそれに近いことを考えたことがありますか。(いずれか1つに○)

自殺願望またはそれに近いことを考えた経験の有無については、「考えたことがない」が67.6%、「考えたことがある」が30.4%となっています。



【自殺願望またはそれに近いことを考えた経験の有無（性別／年齢階級別／在住の小学校区別）】

「考えたことがある」の割合をみると、年齢階級別では、40～49歳が42.2%と最も高くなっています。在住の小学校区別では、山鹿小学校区で34.3%と最も高くなっています。

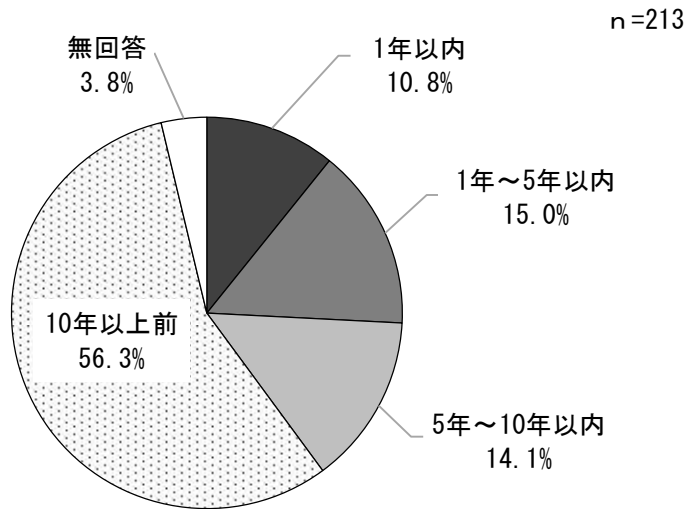
上段：人 下段：%		全体	考えたことがある	考えたことがない	無回答
全体		701 100.0%	213 30.4%	474 67.6%	14 2.0%
性別	男性	311 100.0%	88 28.3%	220 70.7%	3 1.0%
	女性	388 100.0%	125 32.2%	254 65.5%	9 2.3%
年齢階級	18～29歳	63 100.0%	18 28.6%	44 69.8%	1 1.6%
	30～39歳	83 100.0%	23 27.7%	60 72.3%	0 0.0%
	40～49歳	83 100.0%	35 42.2%	47 56.6%	1 1.2%
	50～59歳	108 100.0%	41 38.0%	66 61.1%	1 0.9%
	60～69歳	129 100.0%	43 33.3%	84 65.1%	2 1.6%
	70歳以上	228 100.0%	52 22.8%	169 74.1%	7 3.1%
在住の小学校区	芦屋小学校区	192 100.0%	50 26.0%	136 70.8%	6 3.1%
	芦屋東小学校区	176 100.0%	51 29.0%	124 70.5%	1 0.6%
	山鹿小学校区	303 100.0%	104 34.3%	195 64.4%	4 1.3%

(3) 自殺願望またはそれに近いことを考えた時期

問 25 で「1. 考えたことがある」と回答した方におうかがいします。

問 25-1 それはいつ頃ですか。(いずれか1つに○)

自殺願望またはそれに近いことを考えた時期については、「10年以上前」が56.3%と最も高く、次いで「1年～5年以内」が15.0%、「5年～10年以内」が14.1%、「1年以内」が10.8%となっています。



【自殺願望またはそれに近いことを考えた時期（性別／年齢階級別／在住の小学校区別）】

年齢階級別にみると、18～29歳では「1年以内」と「1年～5年以内」が同率の33.3%で最も高くなっています。

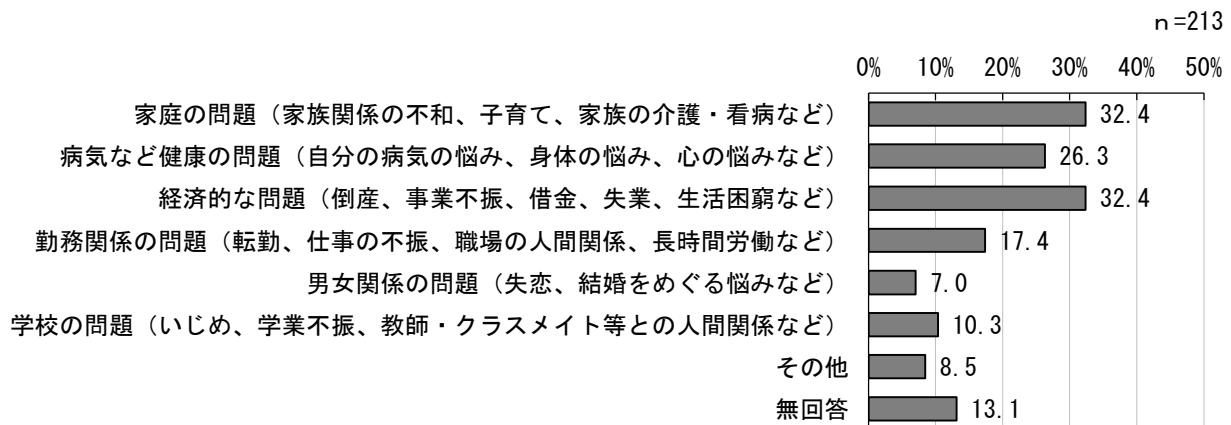
上段：人 下段：%		全体	1年以内	1年～5年以内	5年～10年以内	10年以上前	無回答
全体		213 100.0%	23 10.8%	32 15.0%	30 14.1%	120 56.3%	8 3.8%
性別	男性	88 100.0%	8 9.1%	17 19.3%	13 14.8%	47 53.4%	3 3.4%
	女性	125 100.0%	15 12.0%	15 12.0%	17 13.6%	73 58.4%	5 4.0%
年齢階級	18～29歳	18 100.0%	6 33.3%	6 33.3%	4 22.2%	2 11.1%	0 0.0%
	30～39歳	23 100.0%	3 13.0%	4 17.4%	4 17.4%	12 52.2%	0 0.0%
	40～49歳	35 100.0%	5 14.3%	6 17.1%	5 14.3%	18 51.4%	1 2.9%
	50～59歳	41 100.0%	2 4.9%	5 12.2%	5 12.2%	27 65.9%	2 4.9%
	60～69歳	43 100.0%	3 7.0%	4 9.3%	4 9.3%	29 67.4%	3 7.0%
	70歳以上	52 100.0%	4 7.7%	7 13.5%	8 15.4%	31 59.6%	2 3.8%
在住の小学校区	芦屋小学校区	50 100.0%	3 6.0%	11 22.0%	7 14.0%	28 56.0%	1 2.0%
	芦屋東小学校区	51 100.0%	4 7.8%	6 11.8%	9 17.6%	29 56.9%	3 5.9%
	山鹿小学校区	104 100.0%	15 14.4%	15 14.4%	13 12.5%	57 54.8%	4 3.8%

(4) 自殺願望またはそれに近いことを考えた原因

問 25 で「1. 考えたことがある」と回答した方におうかがいします。

問 25-2 自殺したい、またはそれに近いことを考えた理由や原因は、どのようなことでしたか。(あてはまるものすべてに○)

自殺願望またはそれに近いことを考えた原因については、「家庭の問題(家族関係の不和、子育て、家族の介護・看病など)」と「経済的な問題(倒産、事業不振、借金、失業、生活困窮など)」が同率で 32.4%と最も高く、次いで「病気など健康の問題(自分の病気の悩み、身体の悩み、心の悩みなど)」が 26.3%、「勤務関係の問題(転勤、仕事の不振、職場の人間関係、長時間労働など)」が 17.4%となっています。



○その他

不妊治療／人の目が怖い／パチンコで負けた時に／なんとなく など

【自殺願望またはそれに近いことを考えた原因 (性別／年齢階級別／在住の小学校区別)】

性別にみると、「家庭の問題(家族関係の不和、子育て、家族の介護・看病など)」は男性が 20.5%に対し女性は 40.8%で高くなっています。また「経済的な問題(倒産、事業不振、借金、失業、生活困窮など)」は女性が 25.6%に対し男性は 42.0%で高くなっています。

年齢階級別にみると、18～29 歳と 40～49 歳では「病気など健康の問題(自分の病気の悩み、身体の悩み、心の悩みなど)」が、30～39 歳と 50～59 歳では「家庭の問題(家族関係の不和、子育て、家族の介護・看病など)」が、60 歳からは「経済的な問題(倒産、事業不振、借金、失業、生活困窮など)」がそれぞれ最も高くなっています。

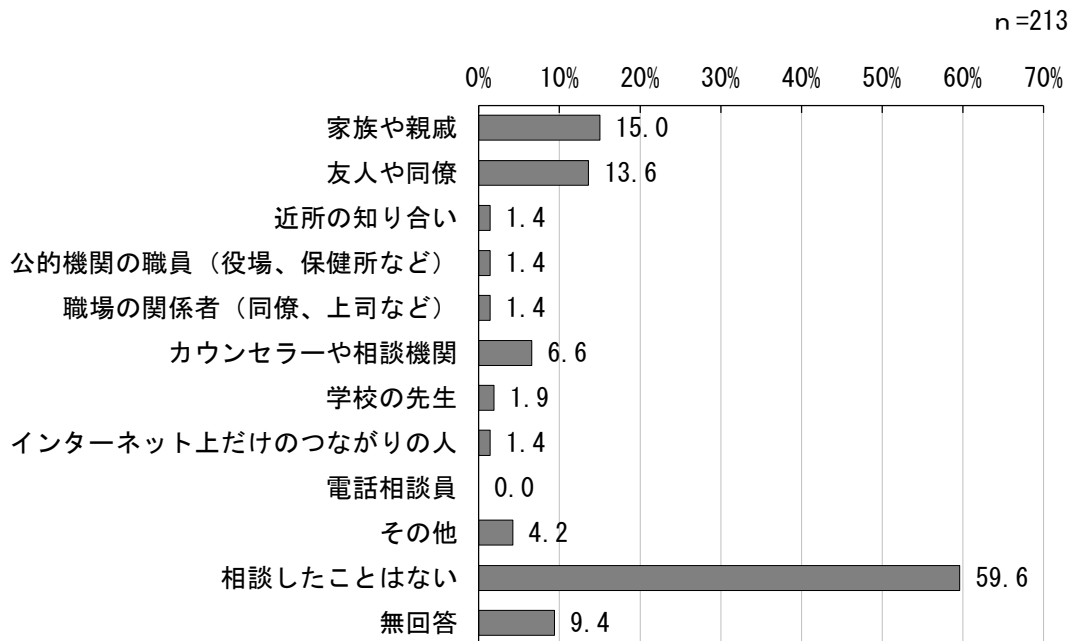
上段：人 下段：%		全体	家庭の問題 (家族関係の不 和、子育て、家族 の介護・看病な ど)	病気など 健康の問題 (自分の病気の 悩み、身体 の悩み、心の 悩みなど)	経済的な 問題(倒 産、事業 不振、借 金、失 業、生活 困窮な ど)	勤務関係 の問題 (転勤、 仕事の 不振、職 場の人間 関係、長 時間労働 など)	男女関係 の問題 (失恋、 結婚をめ ぐる悩み など)	学校の問 題(いじ め、学業 不振、教 師・クラ スメイト 等との人 間関係な ど)	その他	無回答
全体		213 100.0%	69 32.4%	56 26.3%	69 32.4%	37 17.4%	15 7.0%	22 10.3%	18 8.5%	28 13.1%
性別	男性	88 100.0%	18 20.5%	23 26.1%	37 42.0%	19 21.6%	6 6.8%	8 9.1%	4 4.5%	8 9.1%
	女性	125 100.0%	51 40.8%	33 26.4%	32 25.6%	18 14.4%	9 7.2%	14 11.2%	14 11.2%	20 16.0%
年齢階級	18～29歳	18 100.0%	7 38.9%	8 44.4%	5 27.8%	6 33.3%	1 5.6%	6 33.3%	2 11.1%	1 5.6%
	30～39歳	23 100.0%	8 34.8%	2 8.7%	3 13.0%	7 30.4%	2 8.7%	2 8.7%	2 8.7%	2 8.7%
	40～49歳	35 100.0%	11 31.4%	16 45.7%	9 25.7%	10 28.6%	5 14.3%	8 22.9%	6 17.1%	4 11.4%
	50～59歳	41 100.0%	16 39.0%	10 24.4%	12 29.3%	9 22.0%	3 7.3%	5 12.2%	2 4.9%	4 9.8%
	60～69歳	43 100.0%	12 27.9%	10 23.3%	19 44.2%	4 9.3%	3 7.0%	1 2.3%	3 7.0%	7 16.3%
	70歳以上	52 100.0%	15 28.8%	10 19.2%	21 40.4%	1 1.9%	0 0.0%	0 0.0%	3 5.8%	10 19.2%
	在住の小中学校区	芦屋小学校区	50 100.0%	19 38.0%	11 22.0%	17 34.0%	9 18.0%	5 10.0%	7 14.0%	6 12.0%
芦屋東小学校区		51 100.0%	18 35.3%	19 37.3%	17 33.3%	10 19.6%	4 7.8%	4 7.8%	6 11.8%	5 9.8%
山鹿小学校区		104 100.0%	28 26.9%	25 24.0%	33 31.7%	18 17.3%	4 3.8%	11 10.6%	6 5.8%	13 12.5%

(5) 自殺願望またはそれに近いことを考えた時の相談相手

問 25 で「1. 考えたことがある」と回答した方におうかがいします。

問 25-3 自殺したい、またはそれに近いことを考えた時に、誰に相談しましたか。(あてはまるものすべてに○)

自殺願望またはそれに近いことを考えた時の相談相手については、「相談したことはない」が 59.6%と最も高く、次いで「家族や親戚」が 15.0%、「友人や同僚」が 13.6%となっています。



○その他

パートナー／精神科 など

【自殺願望またはそれに近いことを考えた時の相談相手 (性別／年齢階級別／在住の小学校区別)】

年齢階級別にみると、18～29 歳では「カウンセラーや相談機関」が 27.8%と他の年齢階級より高くなっています。

在住の小学校区別にみると、「家族や親戚」の割合は山鹿小学校区で 18.3%と最も高くなっています。

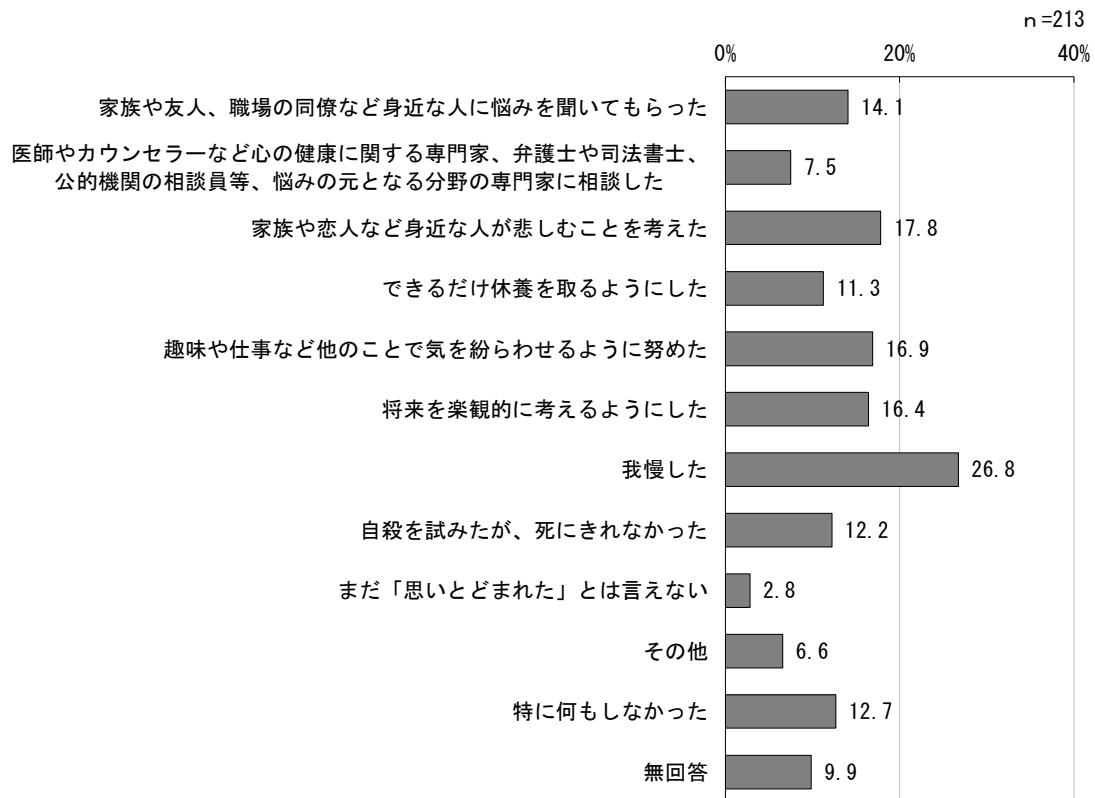
上段：人 下段：%		全体	家族や親戚	友人や同僚	近所の知り合い	公的機関の職員 (役場、保健所など)	職場の関係者 (同僚、上司など)	カウンセラーや相談機関	学校の先生	インターネット上だけのつながりの人	電話相談員	その他	相談したことはない	無回答
全体		213 100.0%	32 15.0%	29 13.6%	3 1.4%	3 1.4%	3 1.4%	14 6.6%	4 1.9%	3 1.4%	0 0.0%	9 4.2%	127 59.6%	20 9.4%
性別	男性	88 100.0%	13 14.8%	13 14.8%	1 1.1%	3 3.4%	2 2.3%	6 6.8%	2 2.3%	2 2.3%	0 0.0%	5 5.7%	61 69.3%	2 2.3%
	女性	125 100.0%	19 15.2%	16 12.8%	2 1.6%	0 0.0%	1 0.8%	8 6.4%	2 1.6%	1 0.8%	0 0.0%	4 3.2%	66 52.8%	18 14.4%
年齢階級	18～29歳	18 100.0%	7 38.9%	5 27.8%	1 5.6%	1 5.6%	1 5.6%	5 27.8%	2 11.1%	2 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	8 44.4%	0 0.0%
	30～39歳	23 100.0%	5 21.7%	6 26.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.3%	1 4.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	13 56.5%	0 0.0%
	40～49歳	35 100.0%	6 17.1%	2 5.7%	1 2.9%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.9%	1 2.9%	1 2.9%	0 0.0%	5 14.3%	18 51.4%	5 14.3%
	50～59歳	41 100.0%	6 14.6%	4 9.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.4%	3 7.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.4%	29 70.7%	2 4.9%
	60～69歳	43 100.0%	3 7.0%	7 16.3%	0 0.0%	1 2.3%	0 0.0%	3 7.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 7.0%	25 58.1%	5 11.6%
	70歳以上	52 100.0%	5 9.6%	4 7.7%	1 1.9%	1 1.9%	1 1.9%	1 1.9%	1 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	34 65.4%	8 15.4%
在住の小学校区	芦屋小学校区	50 100.0%	6 12.0%	5 10.0%	1 2.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 8.0%	1 2.0%	1 2.0%	0 0.0%	1 2.0%	29 58.0%	7 14.0%
	芦屋東小学校区	51 100.0%	6 11.8%	6 11.8%	2 3.9%	2 3.9%	2 3.9%	3 5.9%	1 2.0%	1 2.0%	0 0.0%	2 3.9%	30 58.8%	7 13.7%
	山鹿小学校区	104 100.0%	19 18.3%	17 16.3%	0 0.0%	1 1.0%	1 1.0%	7 6.7%	2 1.9%	1 1.0%	0 0.0%	6 5.8%	62 59.6%	6 5.8%

(6) 自殺願望またはそれに近いことを思いとどまった理由

問 25 で「1. 考えたことがある」と回答した方におうかがいします。

問 25-4 自殺したい、またはそれに近いことを考えた時に、どのようにして自殺を思いとどまりましたか。(あてはまるものすべてに○)

自殺願望またはそれに近いことを思いとどまった理由については、「我慢した」が 26.8%と最も高く、次いで「家族や恋人など身近な人が悲しむことを考えた」が 17.8%、「趣味や仕事など他のことで気を紛らわせるように努めた」が 16.9%となっています。



○その他

- ・ 親族を看取った時
- ・ 他人に迷惑かけるから、面倒臭かったから。
- ・ 働き場所、生活の基盤が出来た。
- ・ 死ぬ事はかんたんで、いつでも死ねると思った。
- ・ 子供のねがお見て思いとどまった。
- ・ 精神的な病気になるものと自身で理解し、わりきれたので。
- ・ 転職した など

【自殺願望またはそれに近いことを思いとどまった理由（性別／年齢階級別／在住の小学校区別）】

性別にみると、「自殺を試みたが、死にきれなかった」の割合は男性(17.0%)が女性(8.8%)より8.2ポイント高くなっています。

年齢階級別にみると、18～29歳では「趣味や仕事など他のことで気を紛らわせるように努めた」が55.6%と最も高くなっています。

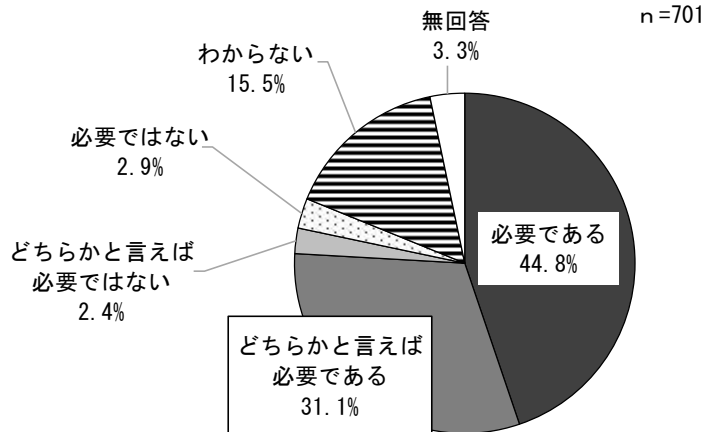
		全体	家族や友人、職場の同僚など身近な人に悩みを聞いてもらった	医師やカウンセラーなど心の健康に関する専門家、弁護士や司法書士、公的機関の相談員等、悩みの元となる分野の専門家に相談した	家族や恋人など身近な人が悲しむことを考えた	できるだけ休養を取るようになった	趣味や仕事など他のことで気を紛らわせるように努めた	将来を楽観的に考えるようにした	我慢した	自殺を試みたが、死にきれなかった	まだ「思いとどまされた」とは言えない	その他	特に何もしなかった	無回答
上段：人 下段：%														
全体		213 100.0%	30 14.1%	16 7.5%	38 17.8%	24 11.3%	36 16.9%	35 16.4%	57 26.8%	26 12.2%	6 2.8%	14 6.6%	27 12.7%	21 9.9%
性別	男性	88 100.0%	13 14.8%	8 9.1%	15 17.0%	9 10.2%	14 15.9%	13 14.8%	26 29.5%	15 17.0%	4 4.5%	5 5.7%	14 15.9%	2 2.3%
	女性	125 100.0%	17 13.6%	8 6.4%	23 18.4%	15 12.0%	22 17.6%	22 17.6%	31 24.8%	11 8.8%	2 1.6%	9 7.2%	13 10.4%	19 15.2%
年齢階級	18～29歳	18 100.0%	4 22.2%	4 22.2%	3 16.7%	1 5.6%	10 55.6%	7 38.9%	8 44.4%	3 16.7%	1 5.6%	1 5.6%	0 0.0%	0 0.0%
	30～39歳	23 100.0%	5 21.7%	1 4.3%	4 17.4%	6 26.1%	4 17.4%	2 8.7%	8 34.8%	3 13.0%	1 4.3%	2 8.7%	2 8.7%	0 0.0%
	40～49歳	35 100.0%	4 11.4%	2 5.7%	5 14.3%	3 8.6%	6 17.1%	3 8.6%	8 22.9%	6 17.1%	1 2.9%	3 8.6%	7 20.0%	4 11.4%
	50～59歳	41 100.0%	7 17.1%	4 9.8%	8 19.5%	5 12.2%	4 9.8%	5 12.2%	9 22.0%	4 9.8%	3 7.3%	2 4.9%	7 17.1%	3 7.3%
	60～69歳	43 100.0%	7 16.3%	3 7.0%	7 16.3%	7 16.3%	7 16.3%	12 27.9%	10 23.3%	6 14.0%	0 0.0%	4 9.3%	4 9.3%	5 11.6%
	70歳以上	52 100.0%	3 5.8%	2 3.8%	11 21.2%	2 3.8%	5 9.6%	6 11.5%	14 26.9%	4 7.7%	0 0.0%	2 3.8%	6 11.5%	9 17.3%
在住の小学校区	芦屋小学校区	50 100.0%	10 20.0%	4 8.0%	7 14.0%	8 16.0%	10 20.0%	10 20.0%	13 26.0%	6 12.0%	3 6.0%	3 6.0%	4 8.0%	4 8.0%
	芦屋東小学校区	51 100.0%	6 11.8%	4 7.8%	10 19.6%	5 9.8%	9 17.6%	8 15.7%	14 27.5%	4 7.8%	1 2.0%	4 7.8%	4 7.8%	6 11.8%
	山鹿小学校区	104 100.0%	13 12.5%	8 7.7%	19 18.3%	10 9.6%	15 14.4%	15 14.4%	29 27.9%	13 12.5%	2 1.9%	7 6.7%	16 15.4%	10 9.6%

10 再犯防止について

(1) 過去に罪を犯した人の立ち直り支援についてどう思うか

**問 26 あなたは、過去に罪を犯した人の立ち直り支援について、どのように思いますか。
(いずれか1つに○)**

過去に罪を犯した人の立ち直り支援についてどう思うかについては、「必要である」が44.8%と最も高く、次いで「どちらかと言えば必要である」が31.1%、「わからない」が15.5%、「必要ではない」が2.9%、「どちらかと言えば必要ではない」が2.4%となっています。



【過去に罪を犯した人の立ち直り支援についてどう思うか（性別／年齢階級別／在住の小学校区別）】

すべての属性において、「必要である」の割合が最も高くなっています。

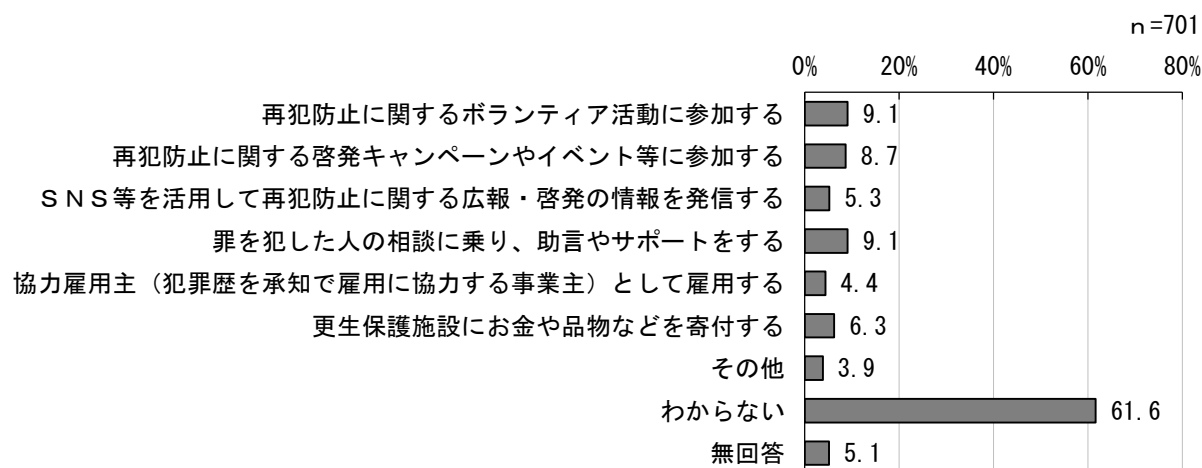
年齢階級別にみると、「必要である」の割合は50～59歳で50.9%と最も高くなっています。

上段：人 下段：%		全体	必要である	どちらか と言えば 必要である	どちらか と言えば 必要では ない	必要では ない	わから ない	無回答
全体		701 100.0%	314 44.8%	218 31.1%	17 2.4%	20 2.9%	109 15.5%	23 3.3%
性別	男性	311 100.0%	144 46.3%	91 29.3%	11 3.5%	13 4.2%	43 13.8%	9 2.9%
	女性	388 100.0%	170 43.8%	127 32.7%	6 1.5%	7 1.8%	66 17.0%	12 3.1%
年齢階級	18～29歳	63 100.0%	28 44.4%	24 38.1%	0 0.0%	2 3.2%	9 14.3%	0 0.0%
	30～39歳	83 100.0%	35 42.2%	30 36.1%	2 2.4%	6 7.2%	9 10.8%	1 1.2%
	40～49歳	83 100.0%	37 44.6%	28 33.7%	4 4.8%	0 0.0%	14 16.9%	0 0.0%
	50～59歳	108 100.0%	55 50.9%	31 28.7%	2 1.9%	6 5.6%	11 10.2%	3 2.8%
	60～69歳	129 100.0%	51 39.5%	48 37.2%	4 3.1%	3 2.3%	18 14.0%	5 3.9%
	70歳以上	228 100.0%	105 46.1%	55 24.1%	5 2.2%	3 1.3%	48 21.1%	12 5.3%
在住の小学校区	芦屋小学校区	192 100.0%	89 46.4%	50 26.0%	7 3.6%	7 3.6%	37 19.3%	2 1.0%
	芦屋東小学校区	176 100.0%	73 41.5%	64 36.4%	4 2.3%	1 0.6%	28 15.9%	6 3.4%
	山鹿小学校区	303 100.0%	142 46.9%	92 30.4%	6 2.0%	12 4.0%	41 13.5%	10 3.3%

(2) 再犯防止を進めるためにできる支援

問 27 再犯防止を進めるために、あなたはどのような協力ができると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

再犯防止を進めるためにできる支援については、「わからない」が61.6%と最も高く、次いで「再犯防止に関するボランティア活動に参加する」「罪を犯した人の相談に乗り、助言やサポートをする」が同率で9.1%、「再犯防止に関する啓発キャンペーンやイベント等に参加する」が8.7%となっています。



○その他

- ・再犯防止の観点も大切だが、学校教育等基礎的な部分での充実が必要だ。社会で働くことができる力、税金を納められる力、最低限度の学力の保障や人とつながる力を身に付けさせることが必要だと思う。町で団塊ジュニア世代の雇用を充実させる。力はあるが雇用がなかったせいで仕事がない人がたくさん居るはずです。
- ・そもそも再犯する人はするし、やるだけ無駄だと思う。
- ・病気による再犯のくり返しについて、病気への理解。
- ・特に性犯罪については、再犯率が高いので、SNSなどでスピードもって知らせることで予防する。
- ・その人の育てて来た環境や性格など中々むつかしい事と安易なかかわりはしないほうが良いと思う。中途半端なかかわりはその人自身を傷つけてしまうと思う。
- ・再犯防止は、国や警察が行うもので、個人としては関らなくてよいと思う
- ・私自身が直接協力は出来ないが、再犯防止（生活の安定）の為に手に職をつける訓練などが大切だと思う。
- ・再犯の原因がわからない。 など

【再犯防止を進めるためにできる支援（性別／年齢階級別／在住の小学校区別）】

すべての属性において、「わからない」の割合が最も高くなっています。

年齢階級別にみると、「協力雇用主（犯罪歴を承知で雇用し協力する事業主）として雇う」の割合は50～59歳で0.9%と、他の年齢階級より低い割合を示しています。

在住の小学校区別にみると、「罪を犯した人の相談に乗り、助言やサポートをする」の割合は芦屋小学校区が14.1%で最も高く、最も低い山鹿小学校区（6.6%）よりも7.5ポイント高くなっています。

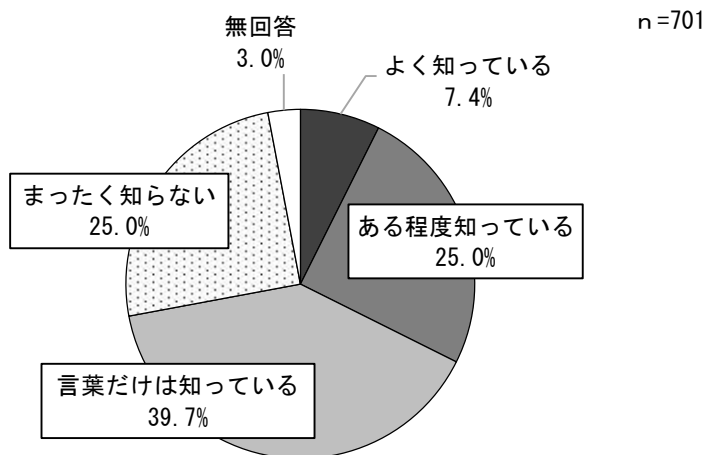
上段：人 下段：%		全体	再犯防止に関するボランティア活動に参加する	再犯防止に関する啓発キャンペーンやイベント等に参加する	SNS等を活用して再犯防止に関する広報・啓発の情報を発信する	罪を犯した人の相談に乗り、助言やサポートをする	協力雇用主（犯罪歴を承知で雇用し協力する事業主）として雇う	更生保護施設にお金や品物などを寄付する	その他	わからない	無回答
全体		701 100.0%	64 9.1%	61 8.7%	37 5.3%	64 9.1%	31 4.4%	44 6.3%	27 3.9%	432 61.6%	36 5.1%
性別	男性	311 100.0%	31 10.0%	31 10.0%	17 5.5%	36 11.6%	14 4.5%	13 4.2%	15 4.8%	187 60.1%	14 4.5%
	女性	388 100.0%	33 8.5%	30 7.7%	20 5.2%	28 7.2%	17 4.4%	31 8.0%	12 3.1%	245 63.1%	20 5.2%
年齢階級	18～29歳	63 100.0%	7 11.1%	7 11.1%	8 12.7%	7 11.1%	2 3.2%	5 7.9%	3 4.8%	38 60.3%	0 0.0%
	30～39歳	83 100.0%	4 4.8%	6 7.2%	8 9.6%	8 9.6%	8 9.6%	5 6.0%	2 2.4%	53 63.9%	1 1.2%
	40～49歳	83 100.0%	6 7.2%	5 6.0%	4 4.8%	8 9.6%	5 6.0%	5 6.0%	4 4.8%	57 68.7%	0 0.0%
	50～59歳	108 100.0%	11 10.2%	9 8.3%	5 4.6%	8 7.4%	1 0.9%	4 3.7%	4 3.7%	72 66.7%	2 1.9%
	60～69歳	129 100.0%	19 14.7%	11 8.5%	5 3.9%	12 9.3%	6 4.7%	12 9.3%	7 5.4%	76 58.9%	4 3.1%
	70歳以上	228 100.0%	17 7.5%	22 9.6%	7 3.1%	21 9.2%	9 3.9%	11 4.8%	7 3.1%	134 58.8%	27 11.8%
	在住の小学校区	芦屋小学校区	192 100.0%	19 9.9%	13 6.8%	10 5.2%	27 14.1%	13 6.8%	15 7.8%	10 5.2%	110 57.3%
芦屋東小学校区		176 100.0%	15 8.5%	20 11.4%	12 6.8%	14 8.0%	8 4.5%	8 4.5%	4 2.3%	115 65.3%	10 5.7%
山鹿小学校区		303 100.0%	29 9.6%	27 8.9%	14 4.6%	20 6.6%	8 2.6%	20 6.6%	9 3.0%	193 63.7%	16 5.3%

11 成年後見制度について

(1) 成年後見制度の認知

問 28 あなたは、成年後見制度を知っていますか。(いずれか1つに○)

成年後見制度の認知については、「言葉だけは知っている」が39.7%と最も高く、次いで「ある程度知っている」「まったく知らない」が共に25.0%、「よく知っている」が7.4%となっています。



【成年後見制度の認知（性別／年齢階級別／在住の小学校区別）】

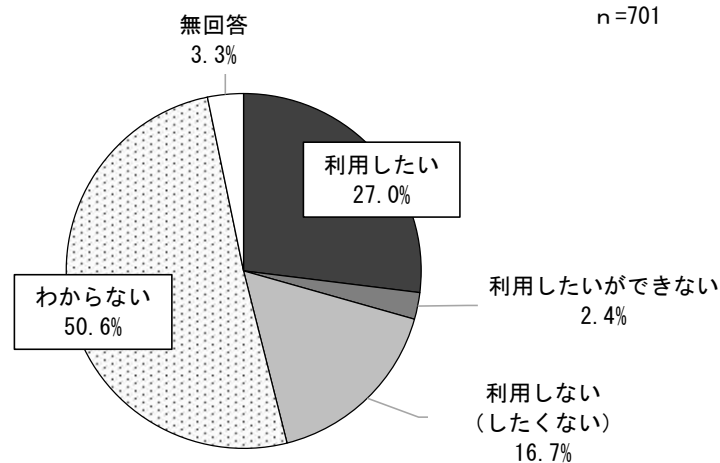
年齢階級別にみると、18～29歳と30～39歳まででは「まったく知らない」の割合が最も高くなっています。

上段：人 下段：%		全体	よく知 ている	ある程度 知ってい る	言葉だけ は知って いる	まったく 知らない	無回答
全体		701 100.0%	52 7.4%	175 25.0%	278 39.7%	175 25.0%	21 3.0%
性別	男性	311 100.0%	24 7.7%	74 23.8%	120 38.6%	83 26.7%	10 3.2%
	女性	388 100.0%	28 7.2%	101 26.0%	158 40.7%	92 23.7%	9 2.3%
年齢階級	18～29歳	63 100.0%	4 6.3%	9 14.3%	21 33.3%	29 46.0%	0 0.0%
	30～39歳	83 100.0%	4 4.8%	17 20.5%	27 32.5%	35 42.2%	0 0.0%
	40～49歳	83 100.0%	7 8.4%	16 19.3%	44 53.0%	15 18.1%	1 1.2%
	50～59歳	108 100.0%	5 4.6%	36 33.3%	39 36.1%	25 23.1%	3 2.8%
	60～69歳	129 100.0%	12 9.3%	32 24.8%	55 42.6%	29 22.5%	1 0.8%
	70歳以上	228 100.0%	20 8.8%	65 28.5%	91 39.9%	38 16.7%	14 6.1%
在住の小学校区	芦屋小学校区	192 100.0%	11 5.7%	54 28.1%	75 39.1%	47 24.5%	5 2.6%
	芦屋東小学校区	176 100.0%	9 5.1%	34 19.3%	75 42.6%	52 29.5%	6 3.4%
	山鹿小学校区	303 100.0%	29 9.6%	80 26.4%	117 38.6%	71 23.4%	6 2.0%

(2) 成年後見制度を利用したいか

問 29 あなた自身やご家族が、認知症などにより判断が十分にできなくなった場合、「成年後見制度」を利用したいと思いますか。(いずれか1つに○)

成年後見制度を利用したいかについては、「わからない」が50.6%と最も高く、次いで「利用したい」が27.0%、「利用したくない」が16.7%、「利用したいができない」が2.4%となっています。



【成年後見制度を利用したいか（性別／年齢階級別／在住の小学校区別）】

すべての属性において「わからない」の割合が最も高くなっています。

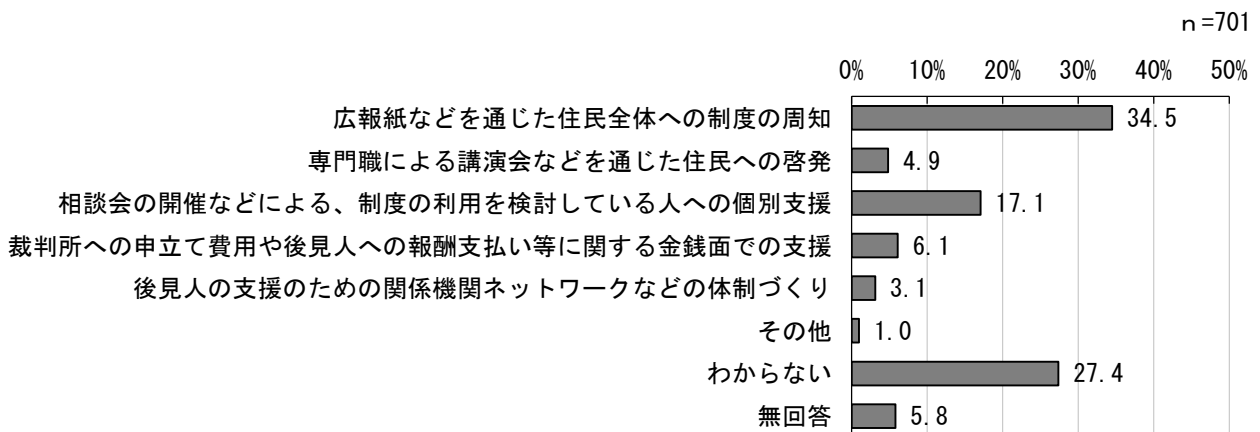
年齢階級別にみると、「利用しない（したくない）」の割合は70歳以上が27.2%と最も高く、他の年齢階級より高い割合を示しています。

上段：人 下段：%		全体	利用したい	利用したいができない	利用しない（したくない）	わからない	無回答
全体		701 100.0%	189 27.0%	17 2.4%	117 16.7%	355 50.6%	23 3.3%
性別	男性	311 100.0%	86 27.7%	10 3.2%	46 14.8%	158 50.8%	11 3.5%
	女性	388 100.0%	103 26.5%	7 1.8%	71 18.3%	197 50.8%	10 2.6%
年齢階級	18～29歳	63 100.0%	19 30.2%	1 1.6%	6 9.5%	36 57.1%	1 1.6%
	30～39歳	83 100.0%	33 39.8%	1 1.2%	7 8.4%	42 50.6%	0 0.0%
	40～49歳	83 100.0%	27 32.5%	3 3.6%	4 4.8%	49 59.0%	0 0.0%
	50～59歳	108 100.0%	34 31.5%	1 0.9%	11 10.2%	58 53.7%	4 3.7%
	60～69歳	129 100.0%	37 28.7%	4 3.1%	27 20.9%	60 46.5%	1 0.8%
	70歳以上	228 100.0%	38 16.7%	7 3.1%	62 27.2%	106 46.5%	15 6.6%
在住の小学校区	芦屋小学校区	192 100.0%	49 25.5%	6 3.1%	30 15.6%	101 52.6%	6 3.1%
	芦屋東小学校区	176 100.0%	48 27.3%	4 2.3%	33 18.8%	85 48.3%	6 3.4%
	山鹿小学校区	303 100.0%	85 28.1%	7 2.3%	48 15.8%	157 51.8%	6 2.0%

(3) 成年後見制度の利用促進のために効果的と思われる取り組み

**問 30 成年後見制度の利用促進を行う場合、最も効果的と思われる取り組みは何ですか。
(いずれか1つに○)**

成年後見制度の利用促進のために効果的と思われる取り組みについては、「広報紙などを通じた住民全体への制度の周知」が34.5%と最も高く、次いで「わからない」が27.4%、「相談会の開催などによる、制度の利用を検討している人への個別支援」が17.1%となっています。



○その他

- ・病院と協力して、必要な人及び後見人になりたい人に直接アクションをとる。
- ・自分になるかもしれないということをもっと実感しない限り、知ることをしないかも。
- ・システムの簡素化、内容が複雑で利用しにくい。 など

【成年後見制度の利用促進のために効果的と思われる取り組み（性別／年齢階級別／在住の小中学校別）】

年齢階級別にみると、「わからない」の割合は70歳以上が33.3%と最も高く、他の年齢階級より高い割合を示しています。また、「相談会の開催などによる、制度の利用を検討している人への個別支援」の割合は50～59歳が28.7%で最も高くなっています。

上段：人 下段：%		全体	広報紙などを通じた住民全体への制度の周知	専門職による講演会などを通じた住民への啓発	相談会の開催などによる、制度の利用を検討している人への個別支援	裁判所への申立て費用や後見人への報酬支払い等に関する金銭面での支援	後見人の支援のための関係機関ネットワークなどの体制づくり	その他	わからない	無回答
全体		701 100.0%	242 34.5%	34 4.9%	120 17.1%	43 6.1%	22 3.1%	7 1.0%	192 27.4%	41 5.8%
性別	男性	311 100.0%	117 37.6%	15 4.8%	39 12.5%	23 7.4%	10 3.2%	4 1.3%	87 28.0%	16 5.1%
	女性	388 100.0%	125 32.2%	19 4.9%	81 20.9%	20 5.2%	12 3.1%	3 0.8%	105 27.1%	23 5.9%
年齢階級	18～29歳	63 100.0%	25 39.7%	4 6.3%	9 14.3%	2 3.2%	1 1.6%	1 1.6%	21 33.3%	0 0.0%
	30～39歳	83 100.0%	27 32.5%	0 0.0%	18 21.7%	7 8.4%	6 7.2%	1 1.2%	24 28.9%	0 0.0%
	40～49歳	83 100.0%	36 43.4%	5 6.0%	17 20.5%	7 8.4%	3 3.6%	0 0.0%	14 16.9%	1 1.2%
	50～59歳	108 100.0%	38 35.2%	4 3.7%	31 28.7%	7 6.5%	3 2.8%	1 0.9%	20 18.5%	4 3.7%
	60～69歳	129 100.0%	49 38.0%	8 6.2%	24 18.6%	7 5.4%	2 1.6%	3 2.3%	35 27.1%	1 0.8%
	70歳以上	228 100.0%	66 28.9%	13 5.7%	21 9.2%	11 4.8%	7 3.1%	1 0.4%	76 33.3%	33 14.5%
在住の小学校区	芦屋小学校区	192 100.0%	70 36.5%	7 3.6%	40 20.8%	11 5.7%	8 4.2%	1 0.5%	46 24.0%	9 4.7%
	芦屋東小学校区	176 100.0%	61 34.7%	5 2.8%	24 13.6%	10 5.7%	5 2.8%	4 2.3%	54 30.7%	13 7.4%
	山鹿小学校区	303 100.0%	103 34.0%	22 7.3%	54 17.8%	20 6.6%	7 2.3%	2 0.7%	82 27.1%	13 4.3%

12 これからの福祉のあり方について

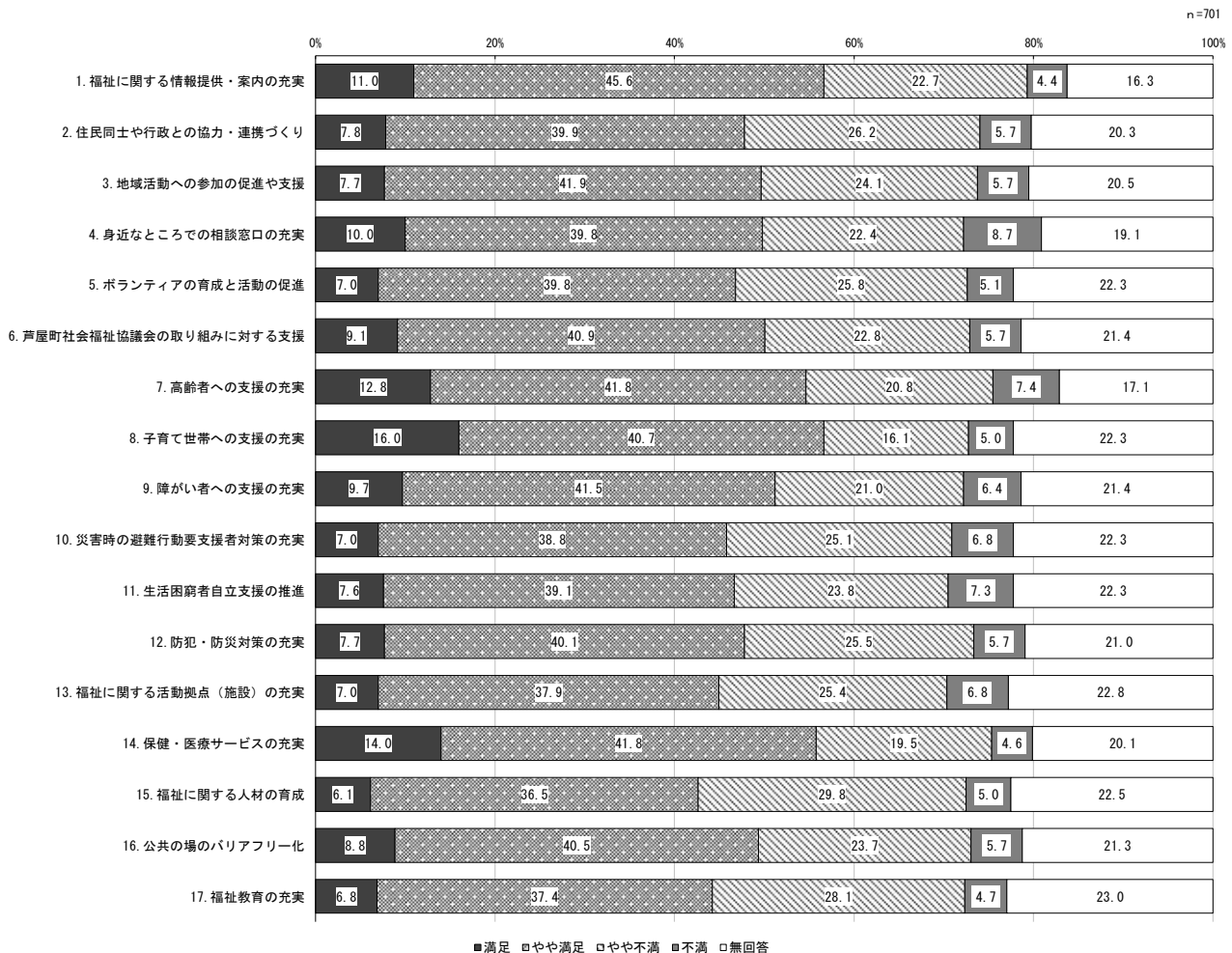
(1) 地域福祉推進のために重要なこと（現在の満足度・今後の重要度）

問 31 今後、芦屋町が地域福祉を推進するうえで、どのようなことが重要だと思いますか。以下の項目について、今後の重要度と現在の満足度を教えてください。（項目ごとに、いずれか1つに○）

地域福祉推進のために重要なことのうち、現在の満足度については、「1. 福祉に関する情報提供・案内の充実」、「6. 芦屋町社会福祉協議会の取り組みに対する支援」、「7. 高齢者への支援の充実」、「8. 子育て世帯への支援の充実」、「9. 障がい者への支援の充実」、「14. 保健・医療サービスの充実」で、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』がそれぞれ5割を超えています。

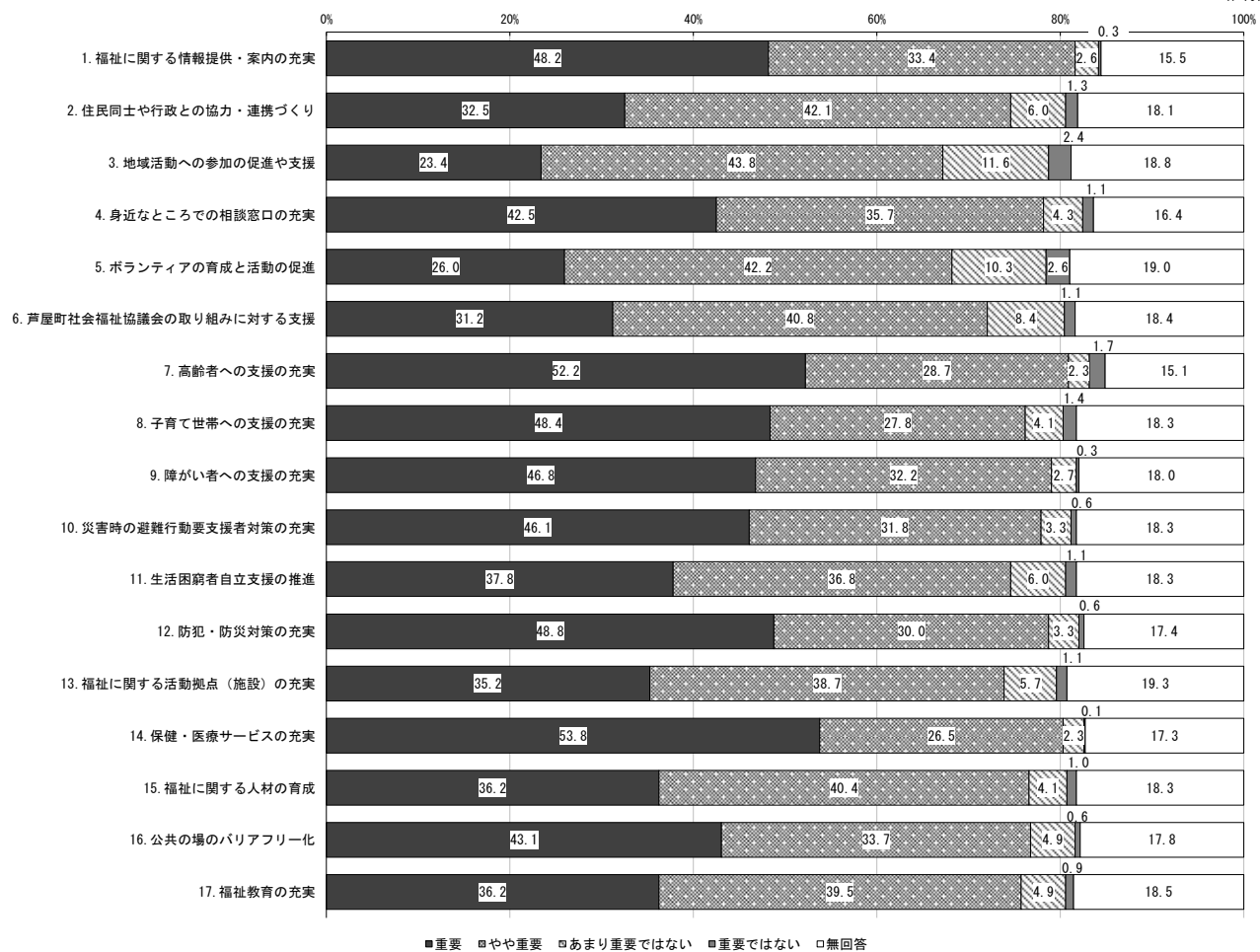
今後の重要度については、「1. 福祉に関する情報提供・案内の充実」、「7. 高齢者への支援の充実」、「14. 保健・医療サービスの充実」で、「重要」と「やや重要」を合わせた『重要』がそれぞれ8割を超えています。

<現在の満足度>



＜今後の重要度＞

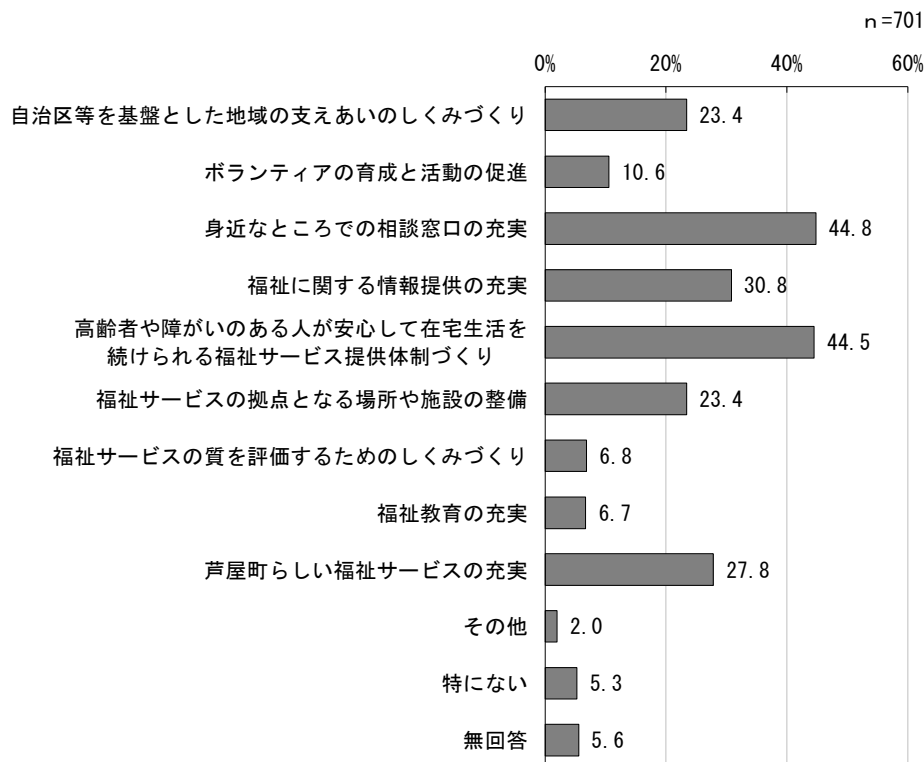
n=701



(2) 地域福祉推進のためにどのようなことに力を入れるべきか

問 32 今後、地域福祉の推進のためにどのようなことに特に力を入れて取り組む必要があると思いますか。(あてはまるもの3つまでに○)

地域福祉推進のためにどのようなことに力を入れるべきかについては、「身近なところでの相談窓口の充実」が 44.8%と最も高く、次いで「高齢者や障がいのある人が安心して在宅生活を続けられる福祉サービス提供体制づくり」が 44.5%、「福祉に関する情報提供の充実」が 30.8%となっています。



○その他

- ・個人でホームページ（町の）を見れない人が多いと思います。
- ・ボランティア（無償）に頼らない方法の確立。
- ・福祉を必要としない者に、どうしたら興味を持たせられるか？
- ・自治区への加入の促進 など

【地域福祉推進のためにどのようなことに力を入れるべきか（性別／年齢階級別／在住の小学校区別）】

性別にみると、「高齢者や障がいのある人が安心して在宅生活を続けられる福祉サービス提供体制づくり」の割合は女性が 48.7%で男性（39.5%）より 9.2 ポイント高くなっています。

年齢階級別にみると、「福祉教育の充実」の割合は 18～29 歳が 27.0%と最も高く、他の年齢階級より高い割合を示しています。

上段：人 下段：%		全体	自治区等を基盤とした地域の支えあいのしくみづくり	ボランティアの育成と活動の促進	身近なところでの相談窓口の充実	福祉に関する情報の提供の充実	高齢者や障がいのある人が安心して在宅生活を続けられる福祉サービス提供体制づくり	福祉サービスの拠点となる場所や施設の整備	福祉サービスの質を評価するためのしくみづくり	福祉教育の充実	芦屋町らしい福祉サービスの充実	その他	特になし	無回答
全体		701 100.0%	164 23.4%	74 10.6%	314 44.8%	216 30.8%	312 44.5%	164 23.4%	48 6.8%	47 6.7%	195 27.8%	14 2.0%	37 5.3%	39 5.6%
性別	男性	311 100.0%	80 25.7%	33 10.6%	131 42.1%	106 34.1%	123 39.5%	77 24.8%	23 7.4%	22 7.1%	85 27.3%	9 2.9%	23 7.4%	15 4.8%
	女性	388 100.0%	84 21.6%	41 10.6%	183 47.2%	110 28.4%	189 48.7%	87 22.4%	25 6.4%	25 6.4%	110 28.4%	5 1.3%	14 3.6%	22 5.7%
年齢階級	18～29歳	63 100.0%	11 17.5%	11 17.5%	27 42.9%	14 22.2%	22 34.9%	18 28.6%	7 11.1%	17 27.0%	10 15.9%	1 1.6%	6 9.5%	1 1.6%
	30～39歳	83 100.0%	28 33.7%	8 9.6%	32 38.6%	25 30.1%	26 31.3%	16 19.3%	1 1.2%	11 13.3%	29 34.9%	0 0.0%	6 7.2%	4 4.8%
	40～49歳	83 100.0%	15 18.1%	6 7.2%	33 39.8%	32 38.6%	37 44.6%	17 20.5%	6 7.2%	4 4.8%	24 28.9%	5 6.0%	5 6.0%	2 2.4%
	50～59歳	108 100.0%	18 16.7%	14 13.0%	55 50.9%	35 32.4%	51 47.2%	29 26.9%	8 7.4%	7 6.5%	35 32.4%	2 1.9%	4 3.7%	4 3.7%
	60～69歳	129 100.0%	31 24.0%	13 10.1%	64 49.6%	43 33.3%	61 47.3%	32 24.8%	11 8.5%	2 1.6%	38 29.5%	3 2.3%	7 5.4%	6 4.7%
	70歳以上	228 100.0%	59 25.9%	22 9.6%	102 44.7%	65 28.5%	112 49.1%	51 22.4%	14 6.1%	5 2.2%	59 25.9%	3 1.3%	9 3.9%	20 8.8%
	在住の小学校区	芦屋小学校区	192 100.0%	43 22.4%	16 8.3%	85 44.3%	65 33.9%	80 41.7%	43 22.4%	15 7.8%	10 5.2%	52 27.1%	4 2.1%	12 6.3%
芦屋東小学校区		176 100.0%	45 25.6%	19 10.8%	80 45.5%	46 26.1%	85 48.3%	39 22.2%	12 6.8%	10 5.7%	54 30.7%	6 3.4%	5 2.8%	11 6.3%
山鹿小学校区		303 100.0%	70 23.1%	35 11.6%	138 45.5%	99 32.7%	137 45.2%	75 24.8%	20 6.6%	27 8.9%	80 26.4%	3 1.0%	19 6.3%	11 3.6%

(3)「芦屋町らしさ」や「芦屋町らしい福祉サービス」について（自由記入）

問 32 で「9. 芦屋町らしい福祉サービスの充実」と回答した方におうかがいします。

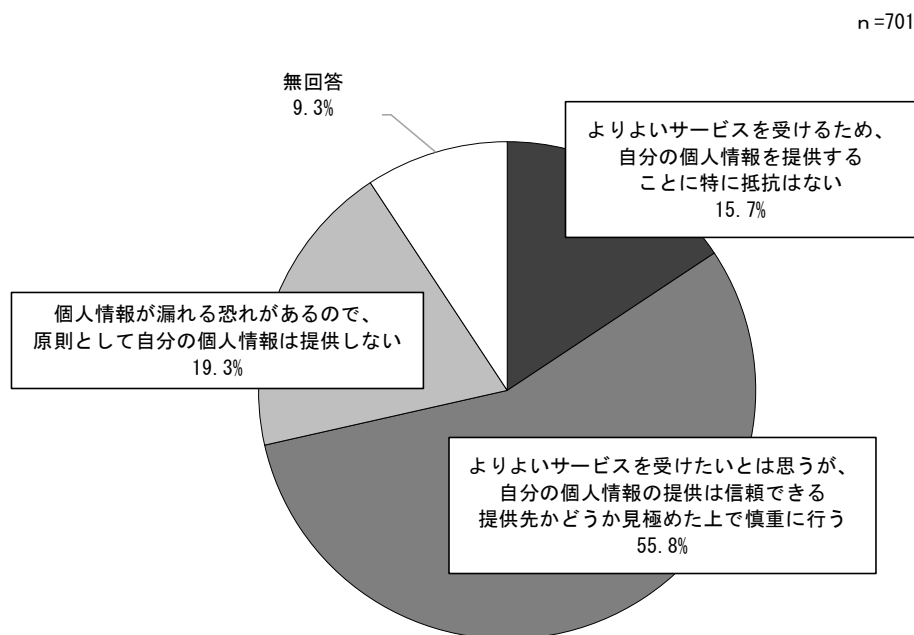
問 32-1 「芦屋町らしさ」や「芦屋町らしい福祉サービス」について、ご意見・ご要望等がございましたら、自由にお書きください。

※自由記入については、別冊にてまとめています。

(4) 個人情報を提供してサービスを受けることに対する考え

問 33 福祉を推進する上で、個人情報の利活用はサービスの向上につながる一方、個人情報の流出の恐れもありますが、自分の個人情報を提供してサービスを受けることについて、あなたのお考えに近いものをお選びください。

個人情報を提供してサービスを受けることに対する考えについては、「よりよいサービスを受けたいと思うが、自分の個人情報の提供は信頼できる提供先かどうか見極めた上で慎重に行う」が 55.8%と最も高く、次いで「個人情報が漏れる恐れがあるので、原則として自分の個人情報は提供しない」が 19.3%、「よりよいサービスを受けるため、自分の個人情報を提供することに特に抵抗はない」が 15.7%となっています。



【個人情報を提供してサービスを受けることに対する考え（性別／年齢階級別／在住の小学校区別）】

すべての属性において「よりよいサービスを受けたいと思うが、自分の個人情報の提供は信頼できる提供先かどうか見極めた上で慎重に行う」の割合が最も高くなっています。

「よりよいサービスを受けるため、自分の個人情報を提供することに特に抵抗はない」をみると、女性が 10.1%に対して男性は 22.8%で、12.7ポイント高くなっています。年齢階級別にみると、18～29 歳が 20.6%と最も高く、他の年齢階級より高い割合を示しています。

上段：人 下段：%		全体	よりよいサービスを受けるため、自分の個人情報を提供することに特に抵抗はない	よりよいサービスを受けたとは思いますが、自分の個人情報の提供は信頼できる提供先かどうか見極めた上で慎重に行う	個人情報が漏れる恐れがあるので、原則として自分の個人情報は提供しない	無回答
全体		701 100.0%	110 15.7%	391 55.8%	135 19.3%	65 9.3%
性別	男性	311 100.0%	71 22.8%	158 50.8%	57 18.3%	25 8.0%
	女性	388 100.0%	39 10.1%	233 60.1%	78 20.1%	38 9.8%
年齢階級	18～29歳	63 100.0%	13 20.6%	36 57.1%	10 15.9%	4 6.3%
	30～39歳	83 100.0%	15 18.1%	46 55.4%	14 16.9%	8 9.6%
	40～49歳	83 100.0%	9 10.8%	48 57.8%	22 26.5%	4 4.8%
	50～59歳	108 100.0%	17 15.7%	69 63.9%	15 13.9%	7 6.5%
	60～69歳	129 100.0%	20 15.5%	75 58.1%	25 19.4%	9 7.0%
	70歳以上	228 100.0%	36 15.8%	112 49.1%	49 21.5%	31 13.6%
在住の小学校区	芦屋小学校区	192 100.0%	30 15.6%	108 56.3%	32 16.7%	22 11.5%
	芦屋東小学校区	176 100.0%	31 17.6%	101 57.4%	27 15.3%	17 9.7%
	山鹿小学校区	303 100.0%	45 14.9%	173 57.1%	66 21.8%	19 6.3%

(5) 芦屋町に対する意見・要望（自由記入）

問 34 誰もが住みやすい「地域づくり」を進めていくため、芦屋町に対するご意見やご要望がございましたら、自由にお書きください。

※自由記入については、別冊にてまとめています。

III 参考資料（調査票）

芦屋町の地域福祉に関する住民意識調査

～調査ご協力のお願い～

芦屋町では、令和5年度に「芦屋町地域福祉計画」を策定することとし、現在その準備作業を進めております。

この計画は、住民と行政とが協働して、住民一人ひとりが助け合い、地域住民の立場から地域福祉の推進を目指すものです。

計画策定にあたりまして、皆様のお考えやご意見をお寄せいただくため、アンケート調査をお願いすることといたしました。貴重な資料とさせていただきますので、ご協力をお願い申し上げます。15分程度ですべての設問にお答えいただけます。

今回の調査では、本町在住の20歳以上の方の中から2,000名を無作為（ランダム）で調査対象に選ばせていただきました。

回答していただいた内容に関しては、統計データとしてのみ使用し、個々の調査票を公表したり、個人名や個人的な内容などが外部に漏れることは一切ありません。

大変お忙しい中恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いいたします。

令和5年2月

芦屋町長 波多野 茂丸

【 ご記入にあたって 】

1. この調査は、氏名を書く必要はありません。
2. この調査の回答は、ご本人が回答してください。ご本人の記入が難しい場合は、ご家族の方などがご本人の意見を十分に聞きながらご記入ください。
3. 回答は設問ごとに「いずれか1つに○」、「あてはまるものすべてに○」など、それぞれ指定されていますので、ご注意ください。
4. ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて**令和5年2月28日（火）**までに郵便ポストにご投函ください。（差出人の氏名を書く必要はありません。）
5. その他、本調査についてご不明の点がございましたら、下記までお問い合わせください。

【 調査に関するお問い合わせ先 】

芦屋町役場 福祉課 高齢支援係

電話：093-223-3536 FAX：093-222-2010

地域福祉とは？



地域福祉とは、地域で困っていることなどの様々な課題に対して、地域の中でお互いに助けたり助けられたりする関係を作り、子どもから高齢者まで、誰もが住み慣れた地域の中で自分らしく安心して暮らせるよう取り組むことです。

例えば、地域の方とあいさつすることや、子どもや高齢者の安全を地域で見守ることも地域福祉の活動と言えます。

地域社会とは？

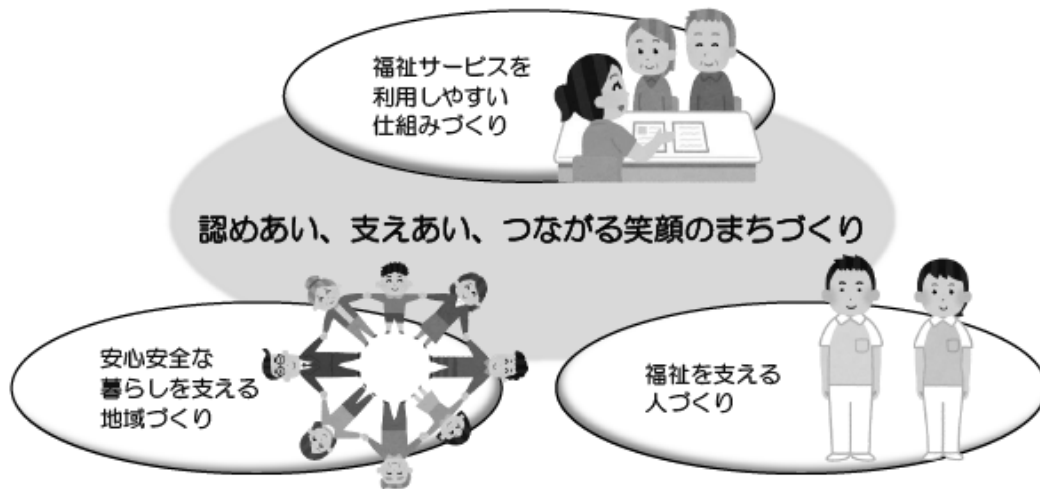


制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が『我が事』として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて『丸ごと』つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会を言います。

これまでの取り組み



これまで芦屋町では、「認めあい、支えあい、つながる笑顔のまちづくり」を目指し、取り組みを進めてきました。



地域共生社会を目指すこれからの芦屋町に必要な取り組みを検討するためには、地域のことや、日ごろ感じる課題などを一番よく知っている地域の皆様のご意見が必要不可欠です。

より暮らしやすいまちづくりのために、アンケート調査へのご協力をよろしくお願いします。

「福祉」について

問1 あなたは、「福祉」に関心をお持ちですか。(いずれか1つに○)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. とても関心がある | 3. あまり関心がない |
| 2. ある程度関心がある | 4. まったく関心がない |

問2 「福祉」のあり方は、どのようであるべきだと思いますか。(いずれか1つに○)

1. 福祉を必要とする人は、家族や親戚が面倒をみればよい
2. 福祉は、国や市町村といった行政の責任で行うべき
3. 福祉は、すべてを行政に頼らず、住民同士で助け合うべき
4. 福祉は、行政と住民が協力しながら、地域で支え合う組織づくりをすべき
5. その他 ()

問3 あなたは、住民が福祉について理解を深めるためには、どのような機会が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 福祉の制度、サービス、理念や考え方などについて学ぶこと
2. 介護体験や介護を必要とする人の疑似体験など、体験学習をすること
3. 介護を必要とする人やその家族介護者などの話を聞いたり、交流したりすること
4. 手話や点字、介護方法などの技術を習得すること
5. 住民が地域の福祉についての課題を気軽に話し合える場をつくること
6. その他 ()
7. 特に必要なことはない

問4 あなたは、地域の一人ひとりが抱える生活課題に対する、住民同士の助け合いや支えあいの必要性についてどう思いますか。(いずれか1つに○)

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. とても必要だと思う | 4. あまり必要だと思わない |
| 2. ある程度必要だと思う | 5. まったく必要だと思わない |
| 3. どちらとも言えない | |



地域での生活について

問5 あなたは、ふだんの程度、人と会話や世間話をしますか。(家族との会話や電話でのあいさつ程度の会話を含みます。)(いずれか1つに○)

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1. 毎日 | 4. 2週間に1回 |
| 2. 2～3日に1回 | 5. 1か月に1回 |
| 3. 4～7日(1週間)に1回 | 6. ほとんど話をしない |

問6 あなたは、ふだん近所の人とどの程度のつきあいをされていますか。(いずれか1つに○)

1. 困っている時(病気、悩み、事故など)に、相談をしたり、助け合ったりするなど、親しくおつきあいしているお宅がある
2. 校区や区、隣近所の行事の時だけつきあう
3. たまに立ち話をする程度
4. 会えばあいさつはするが、それ以上の話はしない
5. つきあいがほとんどない

→ 問6で「4. 会えばあいさつはするが、それ以上の話はしない」「5. つきあいがほとんどない」と回答した方におうかがいします。

問6-1 つきあいがほとんどないのはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|---------------------------|
| 1. あまり知らないから | 6. 時間をさくのが惜しいから |
| 2. 関わる機会や時間がないから | 7. 人とのつきあいが苦手だから |
| 3. 家族にまかせているから | 8. つきあいをしたいがどうしたらよいかわからない |
| 4. 特に必要を感じないから | 9. その他() |
| 5. わずらわしいから | |

全員におうかがいします。

問7 地域での人と人との関わりについて、あなたのお考えに近いものをお選びください。(あてはまるものすべてに○)

1. 心から打ち解け合える関係を築きたい
2. 隣近所の人とはつきあいを大切にしたい
3. 地域を良くする活動をみんなで協力し合って行いたい
4. 他人の協力は期待していない(自分のことは自分です)
5. 地域の人や隣近所の人とは関わりを持ちたくない
6. 興味がない
7. その他()

問8 あなた自身やご家族に日常生活上の支援が必要になったとき、地域の人にどのような支援をしてほしいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------|----------------------|
| 1. 安否確認の声かけ | 8. 急病になったときの看病 |
| 2. 心配ごとなどの相談相手 | 9. 介護を必要とする人の短時間の預かり |
| 3. 子どもの短時間の預かり | 10. 災害時の手助け |
| 4. 買い物の手伝い | 11. 日常的な話し相手 |
| 5. 家事の手伝い | 12. その他() |
| 6. 外出の手伝い | 13. 特にない |
| 7. ごみ出しの手伝い | |

問9 あなたの身近なところで、日常生活上困っている人がいた場合、あなた自身はどのような支援ができると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------|----------------------|
| 1. 安否確認の声かけ | 8. 急病になったときの看病 |
| 2. 心配ごとなどの相談相手 | 9. 介護を必要とする人の短時間の預かり |
| 3. 子どもの短時間の預かり | 10. 災害時の手助け |
| 4. 買い物の手伝い | 11. 日常的な話し相手 |
| 5. 家事の手伝い | 12. その他() |
| 6. 外出の手伝い | 13. 特にない |
| 7. ごみ出しの手伝い | |

地域活動や福祉に関するボランティアについて

問10 あなたは、現在、自治区や子ども会、老人クラブなどの地域活動やボランティア活動に参加していますか。(いずれか1つに○)

- | |
|----------------------------|
| 1. 現在活動している |
| 2. 過去に活動したことがあるが、現在活動していない |
| 3. 活動したことがない |

→ 問10で「1. 現在活動している」と回答した方におうかがいします。

問10-1 どんな活動をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 校区の活動(校区育成会など) | 5. ボランティア活動(高齢者支援) |
| 2. 自治区の活動 | 6. ボランティア活動(障がい者支援) |
| 3. 子ども会・PTAの活動 | 7. ボランティア活動(子育て支援) |
| 4. 老人クラブの活動 | 8. その他() |

問10へ
↓

→問 10 で「2. 過去に活動したことがあるが、現在活動していない」「3. 活動したことがない」と回答した方におうかがいします。

問 10-2 現在活動していない理由は何ですか。(あてはまるもの3つまでに○)

- | | |
|------------------|----------------|
| 1. 勤務などの都合で機会がない | 7. 体調がすぐれない |
| 2. 引越して間もない | 8. 知り合いが少ない |
| 3. 参加方法がわからない | 9. いやな思いをしたくない |
| 4. 時間がない | 10. 役が回ってこない |
| 5. 興味がない | 11. 自治区に入っていない |
| 6. 家の人が気にする | 12. その他() |

全員におうかがいします。

問 11 あなたは、今後、自治区や子ども会、老人クラブなどの地域活動や福祉ボランティア活動に参加したいと思いませんか。(いずれか1つに○)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 今も参加しており今後も続ける | 4. 参加したいと思わない |
| 2. 参加したい | 5. 今まで参加していたがやめたい |
| 3. 機会があれば参加したい | 6. わからない |

問 12 今後、地域における支え合い、助け合い活動を活発化することが重要になってきます。そのためには、どのようなことが重要だと思いますか。(あてはまるもの3つまでに○)

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 地域における福祉活動の意義と重要性をもっとPRする |
| 2. 地域でボランティアなどの活動拠点となる場所を整備する |
| 3. 地域における福祉活動の活動費・運営費などの資金的な援助を行う |
| 4. リーダーや福祉活動に携わる人を養成する |
| 5. 福祉活動の相談・指導を担当する専門職員の充実を図る |
| 6. 困っている人と助けることのできる人をつなぐ人材を育成する |
| 7. 困っている人や、助け合いの場や組織の情報を得やすくする |
| 8. 介護やボランティア活動の方法などに関する研修を行う |
| 9. 学校教育や社会教育での福祉教育を充実する |
| 10. その他() |
| 11. 特にない |

福祉サービスについて

問 13 あなたは、現在「福祉サービス」に関する情報をどこから(どのようにして)入手していますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------|-----------------------|
| 1. 芦屋町役場(地域包括支援センター含む)の窓口 | 12. 広報あしや |
| 2. 芦屋町社会福祉協議会の窓口 | 13. 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ |
| 3. 県の保健福祉環境事務所などの窓口 | 14. インターネット |
| 4. 民生委員・児童委員 | 15. 町ホームページ |
| 5. ボランティア(ボランティア活動センター含む) | 16. 子育て支援センター |
| 6. ケアマネジャーやホームヘルパー | 17. 保育所(園)・幼稚園・認定こども園 |
| 7. 家族や親戚 | 18. 病院や施設 |
| 8. 近所の人や知人 | 19. 公民館 |
| 9. 自治区の役員 | 20. 情報を得る方法がわからない |
| 10. 自治区の回覧板 | 21. 情報を得る必要がない |
| 11. 学校や会社の人 | 22. その他() |

地域福祉に関わる機関や団体について

芦屋町には、地域福祉を推進するために、ボランティア活動の組織化や支援、福祉に関する広報活動、福祉に関する学習機会の提供などを行う「芦屋町社会福祉協議会」があります。

問 14 あなたは、芦屋町社会福祉協議会の活動についてご存知ですか。(いずれか1つに○)

1. 聞いたこともあるし活動も知っている
2. 聞いたことはあるが活動内容はわからない
3. 聞いたことがない

芦屋町には、地域ごとに「民生委員・児童委員」がいます。民生委員・児童委員は、社会奉仕の精神をもって、誰もが安心して暮らすことができるまちづくりのために、様々な福祉活動を行っています。

問 15 あなたは、民生委員・児童委員が行う活動についてご存知ですか。(いずれか1つに○)

1. 聞いたこともあるし活動も知っている
2. 聞いたことはあるが活動内容はわからない
3. 聞いたことがない

問 16 あなたは、お住まいの地域の担当民生委員・児童委員をご存知ですか。(いずれか1つに○)

1. 知っている
2. 知らない

災害時の避難について

問 17 もし災害などの緊急事態が発生した場合、あなたは適切に避難できると思いますか。
(いずれか1つに○)

1. できると思う

2. できないと思う

問 18 地震や台風などの災害発生時に、困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 避難場所がどこかわからない

2. 避難場所(近くの小中学校など)まで、自分ひとりでは行けない

3. 災害時の緊急の連絡方法や連絡先がわからない

4. 災害時の情報入手や連絡の手段がない

5. その他()

6. 特にない

問 19 地震や台風などの災害発生時の備えとして、どのようなことが重要だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 災害対策の学習会の開催

2. 日ごろからの隣近所とのあいさつ、声かけやつきあい

3. 地域での避難訓練の実施

4. 危険箇所の把握

5. 地域における支援団体の組織づくり

6. 避難の際に手助けが必要な人の把握

7. 手助けが必要な人に対する個別の避難支援のための取り組み

8. 災害ボランティアの育成

9. その他()

10. 特にない

問 20 災害時のあなたの地区の避難場所を知っていますか。(いずれか1つに○)

1. 知っている

2. 知らない

問 21 芦屋町では、各種災害に対応したハザードマップを作成・配付していますが、日ごろから見やすいところに置き、内容を確認していますか。(いずれか1つに○)

1. 確認している

2. 確認していない

生活困窮者の自立支援について

働きたくても仕事がない、家族の介護のために仕事ができない、再就職に失敗して雇用保険が切れた、あるいは、社会に出るのが怖くなった…。このような、さまざまな困難の中で生活に困窮している人に対して、包括的な支援を行う「生活困窮者自立支援制度」が平成 27 年 4 月から始まりました。

この制度の一環として県が設置する「自立相談支援事務所(困りごと相談室)」では、経済的な問題等の解決に向け、ご本人と一緒に解決策を探すことができます。※

このように、生活困窮者の様々な課題を個別で解決するのではなく、地域社会全体の課題として解決していく仕組みを創り出していくことで、課題発生の予防を図ることが求められています。

※福岡県自立相談支援事務所(遠賀郡・鞍手郡) 電話番号:093-203-1630

問 22 自立相談支援事務所(困りごと相談室)の行う生活困窮者への支援について、あなたは知っていましたか。(いずれか1つに○)

1. 聞いたこともあり、内容も知っている
2. 聞いたことはあるが内容はよくわからない
3. 知らなかった

問 23 あなたの生活状況が急変し、生活費に困るようなことになったとき、どこ(誰)に相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1. 芦屋町役場等の公的機関 | 8. 福祉活動をしている民間団体 |
| 2. 芦屋町地域包括支援センター | 9. 家族・親戚 |
| 3. 芦屋町子育て支援センター | 10. 友人・知人 |
| 4. 芦屋町社会福祉協議会の窓口 | 11. 学校・職場 |
| 5. 民生委員・児童委員 | 12. その他 () |
| 6. 自治区の役員 | 13. 相談するところがない |
| 7. 医療機関や高齢・障がい者福祉施設等 | 14. 相談はしない |



自殺対策について

我が国の自殺者は令和元年まで10年連続で減少していましたが、令和2年には11年ぶりの増加となり、約2万1,000の方が亡くなっています。

国では、「誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現」を目指して、様々な対策を実施しており、その一環として、身近な行政機関である市町村において自殺対策計画を策定し、地域の実情に勘案した効果的な自殺対策を行うことされています。

問 24 自殺対策は自分自身に関わることだと思いますか。(いずれか1つに○)

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそうは思わない
4. そうは思わない
5. わからない

問 25 あなたは、これまでの人生の中で、自殺したい、またはそれに近いことを考えたことがありますか。(いずれか1つに○)

1. 考えたことがある
2. 考えたことがない

→ 問 25 で「1. 考えたことがある」と回答した方におうかがいします。

問 25-1 それはいつ頃ですか。(いずれか1つに○)

1. 1年以内
2. 1年～5年以内
3. 5年～10年以内
4. 10年以上前

→ 問 25 で「1. 考えたことがある」と回答した方におうかがいします。

この設問について負担に感じる方はお答えいただくなくても構いません。

問 25-2 自殺したい、またはそれに近いことを考えた理由や原因は、どのようなことでしたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家庭の問題（家族関係の不和、子育て、家族の介護・看病など）
2. 病気など健康の問題（自分の病気の悩み、身体の悩み、心の悩みなど）
3. 経済的な問題（倒産、事業不振、借金、失業、生活困窮など）
4. 勤務関係の問題（転勤、仕事の不振、職場の人間関係、長時間労働など）
5. 男女関係の問題（失恋、結婚をめぐる悩みなど）
6. 学校の問題（いじめ、学業不振、教師・クラスメイト等との人間関係など）
7. その他（ ）

問
25
-
3
・
問
25
-
4
へ

→問 25 で「1. 考えたことがある」と回答した方におうかがいします。

この設問について負担に感じる方はお答えいただかなくても構いません。

問 25-3 自殺したい、またはそれに近いことを考えた時に、誰に相談しましたか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 家族や親戚
2. 友人や同僚
3. 近所の知り合い
4. 公的機関の職員（役場、保健所など）
5. 職場の関係者（同僚、上司など）
6. カウンセラーや相談機関
7. 学校の先生
8. インターネット上だけのつながりの人
9. 電話相談員
10. その他（)
11. 相談したことはない

→問 25 で「1. 考えたことがある」と回答した方におうかがいします。

この設問について負担に感じる方はお答えいただかなくても構いません。

問 25-4 自殺したい、またはそれに近いことを考えた時に、どのようにして自殺を思いとどまりましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家族や友人、職場の同僚など身近な人に悩みを聞いてもらった
2. 医師やカウンセラーなど心の健康に関する専門家、弁護士や司法書士、公的機関の相談員等、悩みの元となる分野の専門家に相談した
3. 家族や恋人など身近な人が悲しむことを考えた
4. できるだけ休養を取るようにした
5. 趣味や仕事など他のことで気を紛らわせるように努めた
6. 将来を楽観的に考えるようにした
7. 我慢した
8. 自殺を試みたが、死にきれなかった
9. まだ「思いとどまれた」とは言えない
10. その他（)
11. 特に何もしなかった

再犯防止について

刑犯として検挙される者のうち、約半数は過去にも検挙されたことのある再犯者となっています。また、これら再犯を繰り返す人の中には、病気などの影響により、本人の意思にかかわらず法に触れる行為を繰り返してしまう人もいます。安全・安心なまちづくりをすすめるために、再犯防止対策に取り組み、犯罪の発生件数を減らす必要があります。町では、地方再犯防止推進計画を策定し、体系的に再犯防止のための施策を進めていく予定です。

全員におうかがいします。

問 26 あなたは、過去に罪を犯した人の立ち直り支援について、どのように思いますか。
(いずれか1つに○)

1. 必要である
2. どちらかと言えば必要である
3. どちらかと言えば必要ではない
4. 必要ではない
5. わからない

問 27 再犯防止を進めるために、あなたはどのような協力ができると思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 再犯防止に関するボランティア活動に参加する
2. 再犯防止に関する啓発キャンペーンやイベント等に参加する
3. SNS等を活用して再犯防止に関する広報・啓発の情報を発信する
4. 罪を犯した人の相談に乗り、助言やサポートをする
5. 協力雇用主（犯罪歴を承知で雇用に協力する事業主）として雇用する
6. 更生保護施設にお金や品物などを寄付する
7. その他（)
8. わからない



成年後見制度について

成年後見制度とは、認知症や知的障がい・精神障がいにより財産管理や日常生活に支障がある人の法律行為を支える制度です。

問 28 あなたは、成年後見制度を知っていますか。(いずれか1つに○)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. よく知っている | 3. 言葉だけは知っている |
| 2. ある程度知っている | 4. まったく知らない |

問 29 あなた自身やご家族が、認知症などにより判断が十分にできなくなった場合、「成年後見制度」を利用したいと思いませんか。(いずれか1つに○)

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. 利用したい | 3. 利用しない(したくない) |
| 2. 利用したいができない | 4. わからない |

問 30 成年後見制度の利用促進を行う場合、最も効果的と思われる取り組みは何ですか。(いずれか1つに○)

1. 広報紙などを通じた住民全体への制度の周知
2. 専門職による講演会などを通じた住民への啓発
3. 相談会の開催などによる、制度の利用を検討している人への個別支援
4. 裁判所への申立て費用や後見人への報酬支払い等に関する金銭面での支援
5. 後見人の支援のための関係機関ネットワークなどの体制づくり
6. その他()
7. わからない



これからの福祉のあり方について

問 31 今後、芦屋町が地域福祉を推進するうえで、どのようなことが重要だと思いますか。以下の項目について、今後の重要度と現在の満足度を教えてください。(項目ごとに、いずれか1つに○)

項目ごとの満足度・重要度にそれぞれ 1つずつ○をしてください。	現在の満足度 各項目に対し、どの程度満足と感じているか				今後の重要度 各項目に対し、どの程度重要と感じているか			
	満足	やや満足	やや不満	不満	重要	やや重要	あまり重要ではない	重要ではない
1. 福祉に関する情報提供・案内の充実	1	2	3	4	1	2	3	4
2. 住民同士や行政との協力・連携づくり	1	2	3	4	1	2	3	4
3. 地域活動への参加の促進や支援	1	2	3	4	1	2	3	4
4. 身近なところでの相談窓口の充実	1	2	3	4	1	2	3	4
5. ボランティアの育成と活動の促進	1	2	3	4	1	2	3	4
6. 芦屋町社会福祉協議会の取り組みに対する支援	1	2	3	4	1	2	3	4
7. 高齢者への支援の充実	1	2	3	4	1	2	3	4
8. 子育て世帯への支援の充実	1	2	3	4	1	2	3	4
9. 障がい者への支援の充実	1	2	3	4	1	2	3	4
10. 災害時の避難行動要支援者対策の充実	1	2	3	4	1	2	3	4
11. 生活困窮者自立支援の推進	1	2	3	4	1	2	3	4
12. 防犯・防災対策の充実	1	2	3	4	1	2	3	4
13. 福祉に関する活動拠点（施設）の充実	1	2	3	4	1	2	3	4
14. 保健・医療サービスの充実	1	2	3	4	1	2	3	4
15. 福祉に関する人材の育成	1	2	3	4	1	2	3	4
16. 公共の場のバリアフリー化	1	2	3	4	1	2	3	4
17. 福祉教育の充実	1	2	3	4	1	2	3	4



問 32 今後、地域福祉の推進のためにどのようなことに特に力を入れて取り組む必要があると思いますか。(あてはまるもの3つまでに○)

1. 自治区等を基盤とした地域の支えあいのしくみづくり
2. ボランティアの育成と活動の促進
3. 身近なところでの相談窓口の充実
4. 福祉に関する情報提供の充実
5. 高齢者や障がいのある人が安心して在宅生活を続けられる福祉サービス提供体制づくり
6. 福祉サービスの拠点となる場所や施設の整備
7. 福祉サービスの質を評価するためのしくみづくり
8. 福祉教育の充実
9. 芦屋町らしい福祉サービスの充実
10. その他 ()
11. 特にない

→ 問 32 で「9. 芦屋町らしい福祉サービスの充実」と回答した方におうかがいします。

問 32-1 「芦屋町らしさ」や「芦屋町らしい福祉サービス」について、ご意見・ご要望等がございましたら、自由にお書きください。

全員におうかがいします。

問 33 福祉を推進する上で、個人情報の利活用はサービスの向上につながる一方、個人情報の流出の恐れもありますが、自分の個人情報を提供してサービスを受けることについて、あなたのお考えに近いものをお選びください。

1. よりよいサービスを受けるため、自分の個人情報を提供することに特に抵抗はない
2. よりよいサービスを受けたいと思うが、自分の個人情報の提供は信頼できる提供先かどうか見極めた上で慎重に行う
3. 個人情報が漏れる恐れがあるので、原則として自分の個人情報は提供しない

問 34 誰もが住みやすい「地域づくり」を進めていくため、芦屋町に対するご意見やご要望がございましたら、自由にお書きください。

以上で調査は終わりです。ご協力ありがとうございました。

芦屋町の地域福祉に関する住民意識調査

集計結果報告書

発行年月日：令和5年7月

発行：芦屋町

編集：芦屋町役場 福祉課 高齢支援係

住所：〒807-0198

福岡県遠賀郡芦屋町幸町2番20号

電話：093-223-3536（直通）

F A X：093-222-2010